

男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和4年3月

市長公室 市民協働課 男女共同参画係

目次

I.調査概要.....	1
1.調査の目的	1
2. 調査の結果	1
3.回収結果	1
4.報告書の見方	1
II.調査結果.....	2
1.ご自身のことについて.....	2
2.男女共同参画社会に関する意識について	8
3.ワーク・ライフ・バランスについて	25
4.就業関係について.....	32
5. 学校教育について	43
6. DV、セクシュアル・ハラスメント等について	45
7. 旧姓使用に関する意識について	61
8. 防災・避難について.....	63
9. 男女共同参画社会について	69
10.自由記述.....	75

1.調査概要

1.調査の目的

下妻市では、平成 29 年に「第 3 次下妻市男女共同参画推進プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。本調査は、このプランに続く次期計画に向けて、現状と課題を把握して、今後の計画策定の参考にするためアンケート調査を実施しました。

2.調査の結果

項目	内容
調査期間	令和 3 年 9 月 15 日(水) ~9 月 30 日(木)
調査対象	市内在住 18 歳以上の市民 1,500 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収／スマートフォンやパソコンでのオンライン回答

3.回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
1,500	705 (うちオンライン 163)	705 (うちオンライン 163)	47.0% (うちオンライン 10.9%)

4.報告書の見方

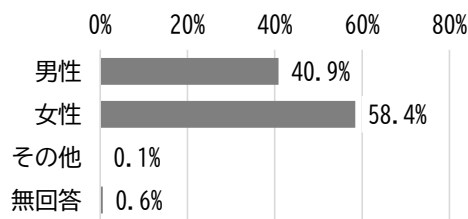
- ・単数回答の設問では、当該設問の回答者数(該当者数)を基数として、各選択肢の回答者数の割合を百分率(%)で算出し、構成比としています。算出にあたり、小数点以下第二位を四捨五入しているため、構成比の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問では、当該設問の回答者数(該当者数)を基数として、各選択肢の回答者数の割合を百分率(%)で算出し、比率としています。一人の回答者が複数回答することにより、比率の合計は 100%を超えることとなります。
- ・グラフの中に記載された「n」は回答者数を示しています。

II.調査結果

1.ご自身のことについて

F1.あなたの性別について、次の中から1つ選んでください。

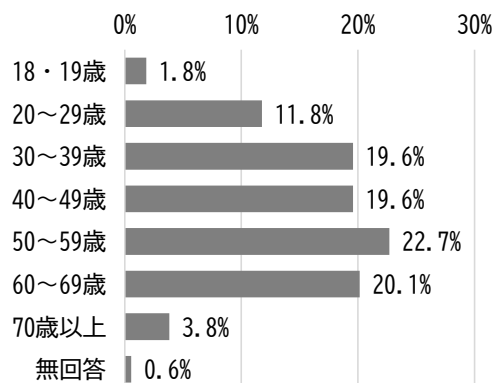
性別では、「男性」が40.9%、「女性」が58.4%となっています。



項目	票数	構成比
男性	288	40.9%
女性	412	58.4%
その他	1	0.1%
無回答	4	0.6%
合計	705	100.0%

F2.あなたの年齢について、次の中から1つ選んでください。(今年4月2日時点)

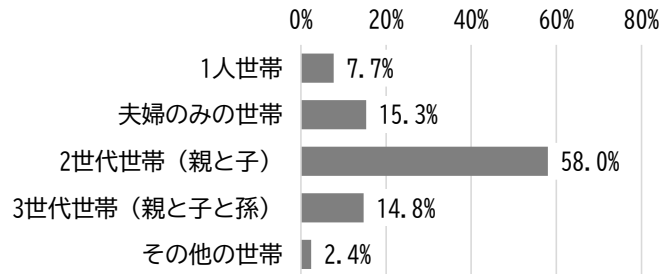
年齢では、「50～59歳」が22.7%と最も多く、次いで「60～69歳」が20.1%、「30～39歳」「40～49歳」が19.6%となっています。



項目	票数	構成比
18・19歳	13	1.8%
20～29歳	83	11.8%
30～39歳	138	19.6%
40～49歳	138	19.6%
50～59歳	160	22.7%
60～69歳	142	20.1%
70歳以上	27	3.8%
無回答	4	0.6%
合計	705	100.0%

F3.あなたの世帯は、次のように分類した場合どれにあたりますか。

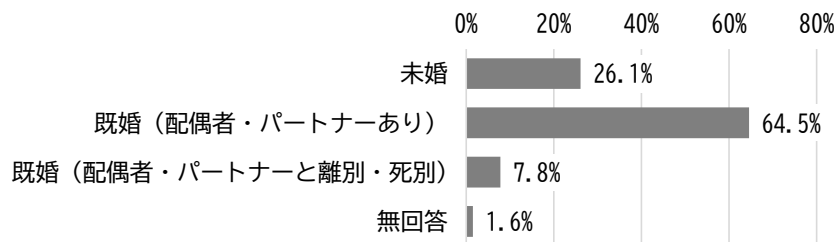
世帯では、「2世代世帯(親と子)」が58.0%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が15.3%、「3世代世帯(親と子と孫)」が14.8%となっています。



項目	票数	構成比
1人世帯	54	7.7%
夫婦のみの世帯	108	15.3%
2世代世帯(親と子)	409	58.0%
3世代世帯(親と子と孫)	104	14.8%
その他の世帯	17	2.4%
無回答	13	1.8%
合計	705	100.0%

F4.あなたは、結婚されていますか。次の中から1つ選んでください。

結婚について、「未婚」が26.1%、「既婚(配偶者・パートナーあり)」が64.5%、「既婚(配偶者・パートナーと離別・死別)」が7.8%となっています。

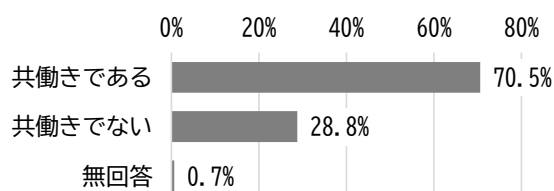


項目	票数	構成比
未婚	184	26.1%
既婚(配偶者・パートナーあり)	455	64.5%
既婚(配偶者・パートナーと離別・死別)	55	7.8%
無回答	11	1.6%
合計	705	100.0%

F4で「既婚（配偶者・パートナーあり）」と回答をした方

F4-1 あなたとあなたの配偶者またはパートナーは共働きですか。次の中から1つ選んでください。

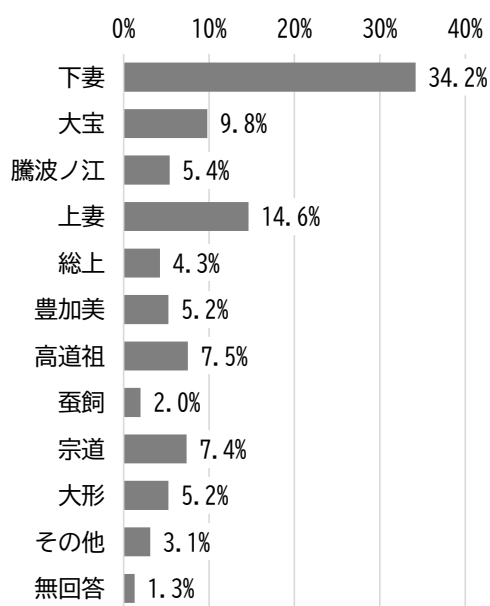
配偶者またはパートナーとの働き方では、「共働きである」が70.5%、「共働きでない」が28.8%となっています。



項目	票数	構成比
共働きである	321	70.5%
共働きでない	131	28.8%
無回答	3	0.7%
回答数	455	100.0%
非該当	250	
合計	705	

F5.あなたのお住まいの地区はどこですか。

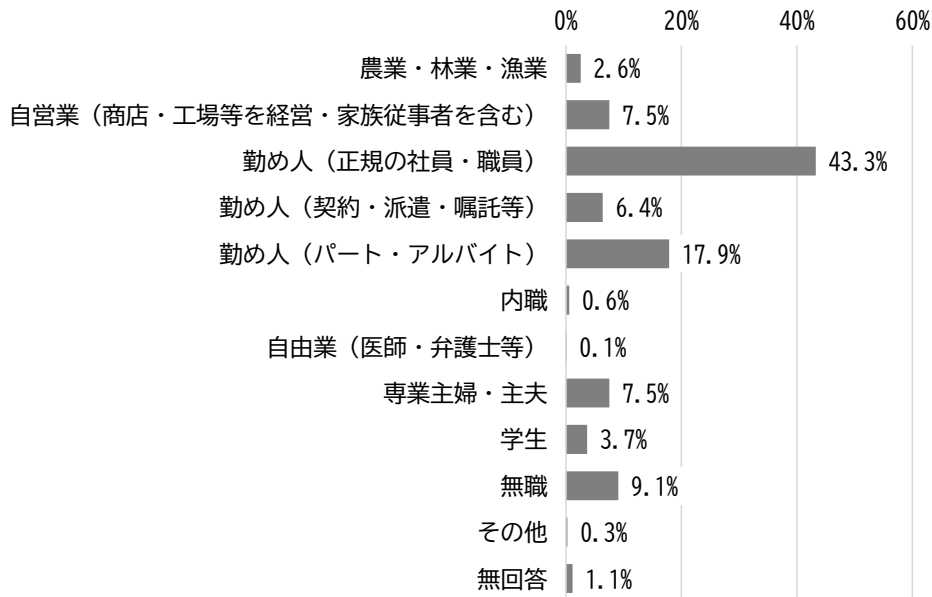
お住まいの地区では、「下妻」が34.2%と最も多く、「上妻」が14.6%、「大宝」が9.8%となっています。



項目	票数	構成比
下妻	241	34.2%
大宝	69	9.8%
騰波ノ江	38	5.4%
上妻	103	14.6%
総上	30	4.3%
豊加美	37	5.2%
高道祖	53	7.5%
蚕飼	14	2.0%
宗道	52	7.4%
大形	37	5.2%
その他	22	3.1%
無回答	9	1.3%
合計	705	100.0%

F6.あなたの主たる職業は次のどれにあたりますか。最も近いものを1つ選んでください。

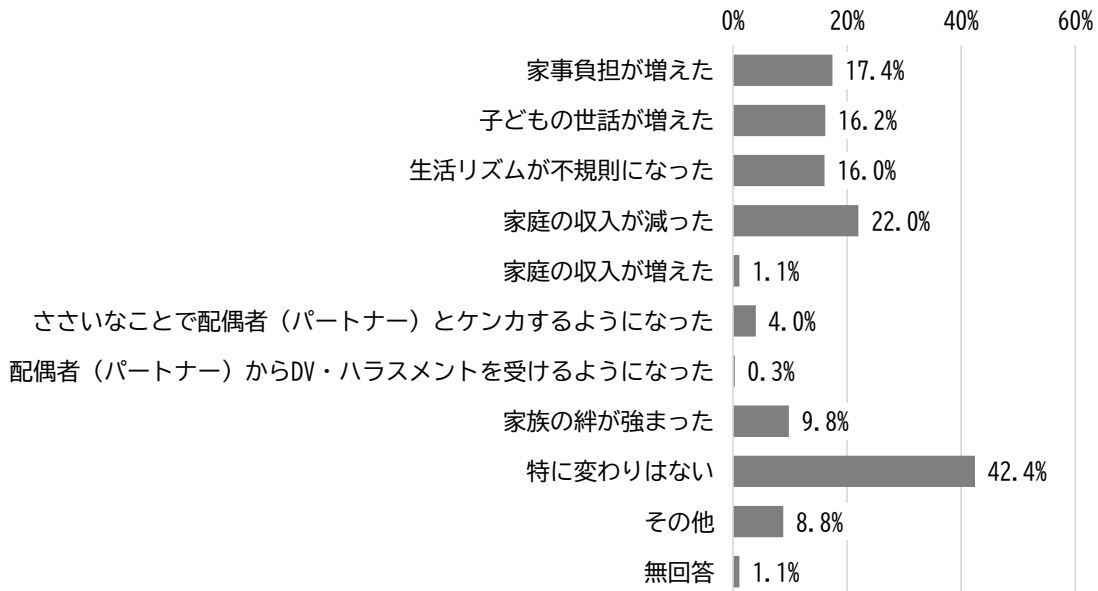
職業では、「勤め人(正規の社員・職員)」が 43.3%と最も多く、「勤め人(パート・アルバイト)」が 17.9%となっています。



項目	票数	構成比
農業・林業・漁業	18	2.6%
自営業 (商店・工場等を経営・家族従事者を含む)	53	7.5%
勤め人 (正規の社員・職員)	305	43.3%
勤め人 (契約・派遣・嘱託等)	45	6.4%
勤め人 (パート・アルバイト)	126	17.9%
内職	4	0.6%
自由業 (医師・弁護士等)	1	0.1%
専業主婦・主夫	53	7.5%
学生	26	3.7%
無職	64	9.1%
その他	2	0.3%
無回答	8	1.1%
合計	705	100.0%

F7.新型コロナウイルスの感染拡大により、生活に関して変化はありましたか。次の中からいつでも選んでください。

新型コロナウイルスの感染拡大による生活での変化では、「家庭の収入が減った」が 22.0%と最も多く、「家事負担が増えた」が 17.4%、「子どもの世話が増えた」が 16.2%となっています。また、「特に変わりはない」が 42.4%となっています。



項目	票数	比率
家事負担が増えた	123	17.4%
子どもの世話が増えた	114	16.2%
生活リズムが不規則になった	113	16.0%
家庭の収入が減った	155	22.0%
家庭の収入が増えた	8	1.1%
ささいなことで配偶者（パートナー）とケンカするようになった	28	4.0%
配偶者（パートナー）からDV【※1】・ハラスメント【※2】を受けるようになった	2	0.3%
家族の絆が強まった	69	9.8%
特に変わりはない	299	42.4%
その他	62	8.8%
無回答	8	1.1%
回答数	705	

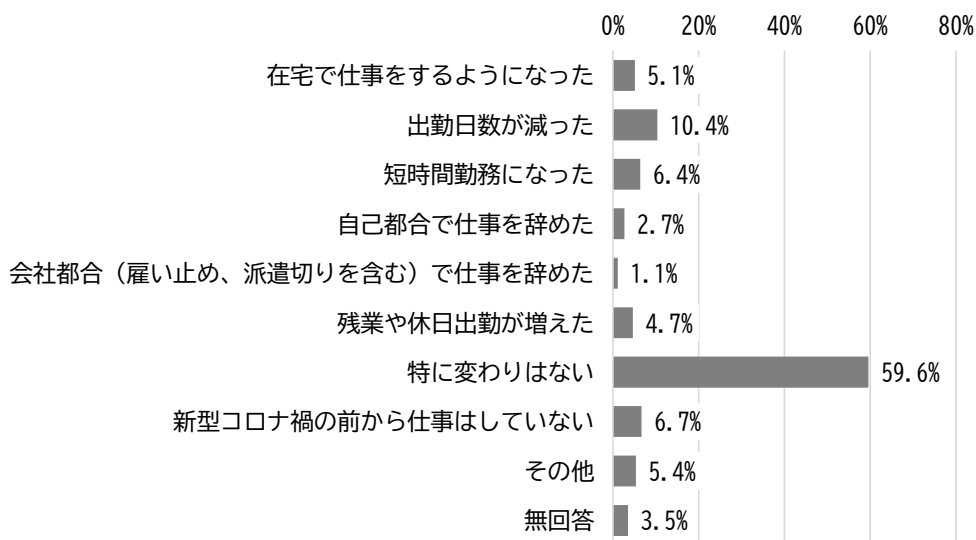
※1 DV（ドメスティック・バイオレンス）：一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」を意味しています。暴力には、身体的なものだけでなく、「誰に食わせてもらっているんだ」などの暴言を浴びせる精神的な暴力や性的暴力も含まれます。

※2 ハラスメント：いやがらせやいじめのこと。職場においては、セクハラ（セクシュアル・ハラスメント：性的いやがらせ）、パワハラ（パワー・ハラスメント：職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景として、業務上の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させる行為）、マタハラ（マタニティ・ハラスメント：妊娠している、または出産した女性に対する精神的・肉体的いやがらせ）、パタハラ（パタニティ・ハラスメント：男性従業員の育児休業制度等の利用に関して、上司・同僚からのいやがらせ）、モラハラ（モラル・ハラスメント：肉体的ではなく、言葉や態度等による精神的いやがらせ）が問題となることがある。

F8.新型コロナウイルスの感染拡大により、あなたの働き方に変化はありましたか。次の中からいくつか選んでください。

新型コロナウイルスの感染拡大による働き方での変化では、「出勤日数が減った」が 10.4%と最も多く、「短時間勤務になった」が 6.4%、「在宅で仕事をするようになった」が 5.1%となっています。

また、「特に変わりはない」が 59.6%、「新型コロナ禍の前から仕事はしていない」が 6.7%となっています。



項目	票数	比率
在宅で仕事をするようになった	36	5.1%
出勤日数が減った	73	10.4%
短時間勤務になった	45	6.4%
自己都合で仕事を辞めた	19	2.7%
会社都合（雇い止め、派遣切りを含む）で仕事を辞めた	8	1.1%
残業や休日出勤が増えた	33	4.7%
特に変わりはない	420	59.6%
新型コロナ禍の前から仕事はしていない	47	6.7%
その他	38	5.4%
無回答	25	3.5%
回答数	705	

2.男女共同参画社会に関する意識について

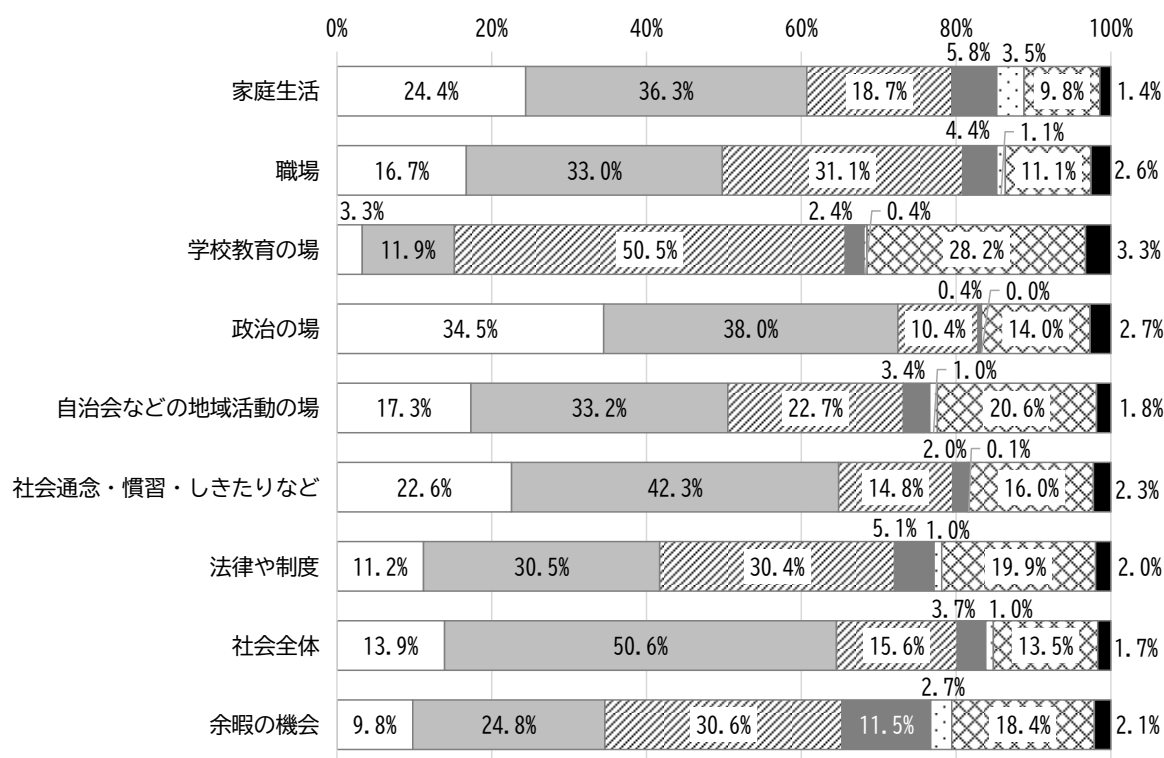
問 1.あなたは次にあげる分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(家庭生活)から(余暇の機会)について、それぞれ1つ選んでください。

男女の地位では、「男性の方が、優遇されている」「どちらかといえば男性の方が、優遇されている」を合わせた『男性の方が、優遇されている』という回答では、「政治の場」が最も多く、次いで「社会通念・慣習・しきたりなど」、「社会全体」となっています。

また、「女性の方が、優遇されている」「どちらかといえば女性の方が、優遇されている」を合わせた『女性の方が、優遇されている』という回答の項目では、「余暇の機会」が最も多く、次いで「家庭生活」、「法律や制度」となっています。

『男性の方が、優遇されている』という回答は全ての分野で女性の回答が男性よりも多く、特に「家庭生活」(18.9ポイント差)、「余暇の機会」(15.3ポイント差)、「法律や制度」(15.2ポイント差)、「社会全体」(13.8ポイント差)などで違いが大きく、「学校教育の場」(5.4ポイント差)や「職場」(5.5ポイント差)では小さくなっています。

年齢別では、「政治の場」を除き、いずれの分野でも若い年代が『男性の方が、優遇されている』との回答は少なくなっています。



男性の方が、優遇されている
 どちらかといえば男性の方が、優遇されている
 平等
 どちらかといえば女性の方が、優遇されている
 女性の方が、優遇されている
 わからない
 無回答

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
家庭生活 (家事・育児・介護など)	172 24.4%	256 36.3%	132 18.7%	41 5.8%	25 3.5%	69 9.8%	10 1.4%	705 100.0%
職場	118 16.7%	233 33.0%	219 31.1%	31 4.4%	8 1.1%	78 11.1%	18 2.6%	705 100.0%
学校教育の場	23 3.3%	84 11.9%	356 50.5%	17 2.4%	3 0.4%	199 28.2%	23 3.3%	705 100.0%
政治の場	243 34.5%	268 38.0%	73 10.4%	3 0.4%	0 0.0%	99 14.0%	19 2.7%	705 100.0%
自治会などの地域活動の場	122 17.3%	234 33.2%	160 22.7%	24 3.4%	7 1.0%	145 20.6%	13 1.8%	705 100.0%
社会通念・慣習・しきたりなど	159 22.6%	298 42.3%	104 14.8%	14 2.0%	1 0.1%	113 16.0%	16 2.3%	705 100.0%
法律や制度	79 11.2%	215 30.5%	214 30.4%	36 5.1%	7 1.0%	140 19.9%	14 2.0%	705 100.0%
社会全体	98 13.9%	357 50.6%	110 15.6%	26 3.7%	7 1.0%	95 13.5%	12 1.7%	705 100.0%
余暇の機会	69 9.8%	175 24.8%	216 30.6%	81 11.5%	19 2.7%	130 18.4%	15 2.1%	705 100.0%

【性・年齢別クロス集計】

■家庭生活(家事・育児・介護など)

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	172 24.4%	256 36.3%	132 18.7%	41 5.8%	25 3.5%	69 9.8%	10 1.4%	705 100.0%
【性別】								
男性	39 13.5%	103 35.8%	84 29.2%	21 7.3%	8 2.8%	30 10.4%	3 1.0%	288 100.0%
女性	131 31.8%	150 36.4%	48 11.7%	20 4.9%	17 4.1%	39 9.5%	7 1.7%	412 100.0%
その他	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	3 23.1%	0 0.0%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	13 15.7%	27 32.5%	20 24.1%	6 7.2%	5 6.0%	12 14.5%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	30 21.7%	45 32.6%	22 15.9%	15 10.9%	8 5.8%	18 13.0%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	35 25.4%	55 39.9%	25 18.1%	9 6.5%	5 3.6%	9 6.5%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	49 30.6%	60 37.5%	31 19.4%	3 1.9%	5 3.1%	11 6.9%	1 0.6%	160 100.0%
60～69歳	34 23.9%	64 45.1%	19 13.4%	6 4.2%	2 1.4%	12 8.5%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	6 22.2%	3 11.1%	9 33.3%	1 3.7%	0 0.0%	4 14.8%	4 14.8%	27 100.0%

■ 職場

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	118 16.7%	233 33.0%	219 31.1%	31 4.4%	8 1.1%	78 11.1%	18 2.6%	705 100.0%
【性別】								
男性	38 13.2%	95 33.0%	98 34.0%	15 5.2%	4 1.4%	31 10.8%	7 2.4%	288 100.0%
女性	78 18.9%	135 32.8%	121 29.4%	16 3.9%	4 1.0%	47 11.4%	11 2.7%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	0 0.0%	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	14 16.9%	21 25.3%	32 38.6%	3 3.6%	1 1.2%	12 14.5%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	26 18.8%	52 37.7%	39 28.3%	5 3.6%	3 2.2%	13 9.4%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	26 18.8%	43 31.2%	49 35.5%	9 6.5%	2 1.4%	9 6.5%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	31 19.4%	59 36.9%	45 28.1%	8 5.0%	1 0.6%	14 8.8%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	17 12.0%	47 33.1%	41 28.9%	5 3.5%	1 0.7%	22 15.5%	9 6.3%	142 100.0%
70歳以上	3 11.1%	6 22.2%	7 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 18.5%	6 22.2%	27 100.0%

■ 学校教育の場

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	23 3.3%	84 11.9%	356 50.5%	17 2.4%	3 0.4%	199 28.2%	23 3.3%	705 100.0%
【性別】								
男性	7 2.4%	27 9.4%	160 55.6%	8 2.8%	2 0.7%	75 26.0%	9 3.1%	288 100.0%
女性	15 3.6%	56 13.6%	193 46.8%	9 2.2%	1 0.2%	124 30.1%	14 3.4%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	0 0.0%	0 0.0%	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	3 3.6%	9 10.8%	43 51.8%	3 3.6%	2 2.4%	21 25.3%	2 2.4%	83 100.0%
30～39歳	7 5.1%	15 10.9%	72 52.2%	6 4.3%	0 0.0%	38 27.5%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	5 3.6%	19 13.8%	69 50.0%	3 2.2%	0 0.0%	41 29.7%	1 0.7%	138 100.0%
50～59歳	2 1.3%	26 16.3%	74 46.3%	1 0.6%	1 0.6%	52 32.5%	4 2.5%	160 100.0%
60～69歳	5 3.5%	12 8.5%	75 52.8%	4 2.8%	0 0.0%	36 25.4%	10 7.0%	142 100.0%
70歳以上	1 3.7%	2 7.4%	9 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	9 33.3%	6 22.2%	27 100.0%

■政治の場

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	243 34.5%	268 38.0%	73 10.4%	3 0.4%	0 0.0%	99 14.0%	19 2.7%	705 100.0%
【性別】								
男性	81 28.1%	113 39.2%	45 15.6%	1 0.3%	0 0.0%	41 14.2%	7 2.4%	288 100.0%
女性	159 38.6%	153 37.1%	28 6.8%	2 0.5%	0 0.0%	58 14.1%	12 2.9%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	34 41.0%	27 32.5%	6 7.2%	0 0.0%	0 0.0%	15 18.1%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	54 39.1%	43 31.2%	17 12.3%	1 0.7%	0 0.0%	20 14.5%	3 2.2%	138 100.0%
40～49歳	51 37.0%	54 39.1%	14 10.1%	2 1.4%	0 0.0%	17 12.3%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	56 35.0%	66 41.3%	15 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	21 13.1%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	38 26.8%	60 42.3%	19 13.4%	0 0.0%	0 0.0%	18 12.7%	7 4.9%	142 100.0%
70歳以上	6 22.2%	10 37.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.8%	6 22.2%	27 100.0%

■自治会などの地域活動の場

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	122 17.3%	234 33.2%	160 22.7%	24 3.4%	7 1.0%	145 20.6%	13 1.8%	705 100.0%
【性別】								
男性	33 11.5%	101 35.1%	85 29.5%	12 4.2%	4 1.4%	49 17.0%	4 1.4%	288 100.0%
女性	87 21.1%	131 31.8%	74 18.0%	12 2.9%	3 0.7%	96 23.3%	9 2.2%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	1 7.7%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	11 13.3%	21 25.3%	21 25.3%	0 0.0%	0 0.0%	29 34.9%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	25 18.1%	41 29.7%	31 22.5%	7 5.1%	1 0.7%	32 23.2%	1 0.7%	138 100.0%
40～49歳	39 28.3%	36 26.1%	23 16.7%	6 4.3%	0 0.0%	34 24.6%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	29 18.1%	63 39.4%	35 21.9%	8 5.0%	2 1.3%	22 13.8%	1 0.6%	160 100.0%
60～69歳	16 11.3%	54 38.0%	41 28.9%	3 2.1%	3 2.1%	20 14.1%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	0 0.0%	12 44.4%	6 22.2%	0 0.0%	1 3.7%	3 11.1%	5 18.5%	27 100.0%

■ 社会通念・慣習・しきたりなど

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	159 22.6%	298 42.3%	104 14.8%	14 2.0%	1 0.1%	113 16.0%	16 2.3%	705 100.0%
【性別】								
男性	46 16.0%	127 44.1%	64 22.2%	8 2.8%	0 0.0%	39 13.5%	4 1.4%	288 100.0%
女性	110 26.7%	170 41.3%	40 9.7%	6 1.5%	1 0.2%	73 17.7%	12 2.9%	412 100.0%
その他	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	1 7.7%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	15 18.1%	25 30.1%	13 15.7%	5 6.0%	0 0.0%	24 28.9%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	34 24.6%	57 41.3%	22 15.9%	1 0.7%	1 0.7%	23 16.7%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	38 27.5%	57 41.3%	18 13.0%	2 1.4%	0 0.0%	23 16.7%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	38 23.8%	75 46.9%	25 15.6%	3 1.9%	0 0.0%	17 10.6%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	28 19.7%	66 46.5%	22 15.5%	3 2.1%	0 0.0%	16 11.3%	7 4.9%	142 100.0%
70歳以上	2 7.4%	13 48.1%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 18.5%	5 18.5%	27 100.0%

■ 法律や制度

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	79 11.2%	215 30.5%	214 30.4%	36 5.1%	7 1.0%	140 19.9%	14 2.0%	705 100.0%
【性別】								
男性	19 6.6%	75 26.0%	120 41.7%	18 6.3%	7 2.4%	46 16.0%	3 1.0%	288 100.0%
女性	58 14.1%	139 33.7%	93 22.6%	18 4.4%	0 0.0%	93 22.6%	11 2.7%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	1 7.7%	2 15.4%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	6 7.2%	22 26.5%	26 31.3%	2 2.4%	2 2.4%	24 28.9%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	17 12.3%	41 29.7%	35 25.4%	13 9.4%	1 0.7%	31 22.5%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	22 15.9%	29 21.0%	43 31.2%	14 10.1%	2 1.4%	28 20.3%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	18 11.3%	59 36.9%	52 32.5%	5 3.1%	2 1.3%	22 13.8%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	12 8.5%	53 37.3%	47 33.1%	2 1.4%	0 0.0%	22 15.5%	6 4.2%	142 100.0%
70歳以上	2 7.4%	8 29.6%	5 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	7 25.9%	5 18.5%	27 100.0%

■社会全体

項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	98 13.9%	357 50.6%	110 15.6%	26 3.7%	7 1.0%	95 13.5%	12 1.7%	705 100.0%
【性別】								
男性	31 10.8%	131 45.5%	67 23.3%	14 4.9%	6 2.1%	36 12.5%	3 1.0%	288 100.0%
女性	66 16.0%	223 54.1%	43 10.4%	12 2.9%	1 0.2%	58 14.1%	9 2.2%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	0 0.0%	8 61.5%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	11 13.3%	34 41.0%	14 16.9%	5 6.0%	2 2.4%	17 20.5%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	23 16.7%	64 46.4%	19 13.8%	6 4.3%	2 1.4%	24 17.4%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	23 16.7%	67 48.6%	21 15.2%	13 9.4%	1 0.7%	13 9.4%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	17 10.6%	97 60.6%	27 16.9%	0 0.0%	2 1.3%	15 9.4%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	21 14.8%	71 50.0%	24 16.9%	2 1.4%	0 0.0%	19 13.4%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	3 11.1%	13 48.1%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.8%	5 18.5%	27 100.0%

■余暇の機会

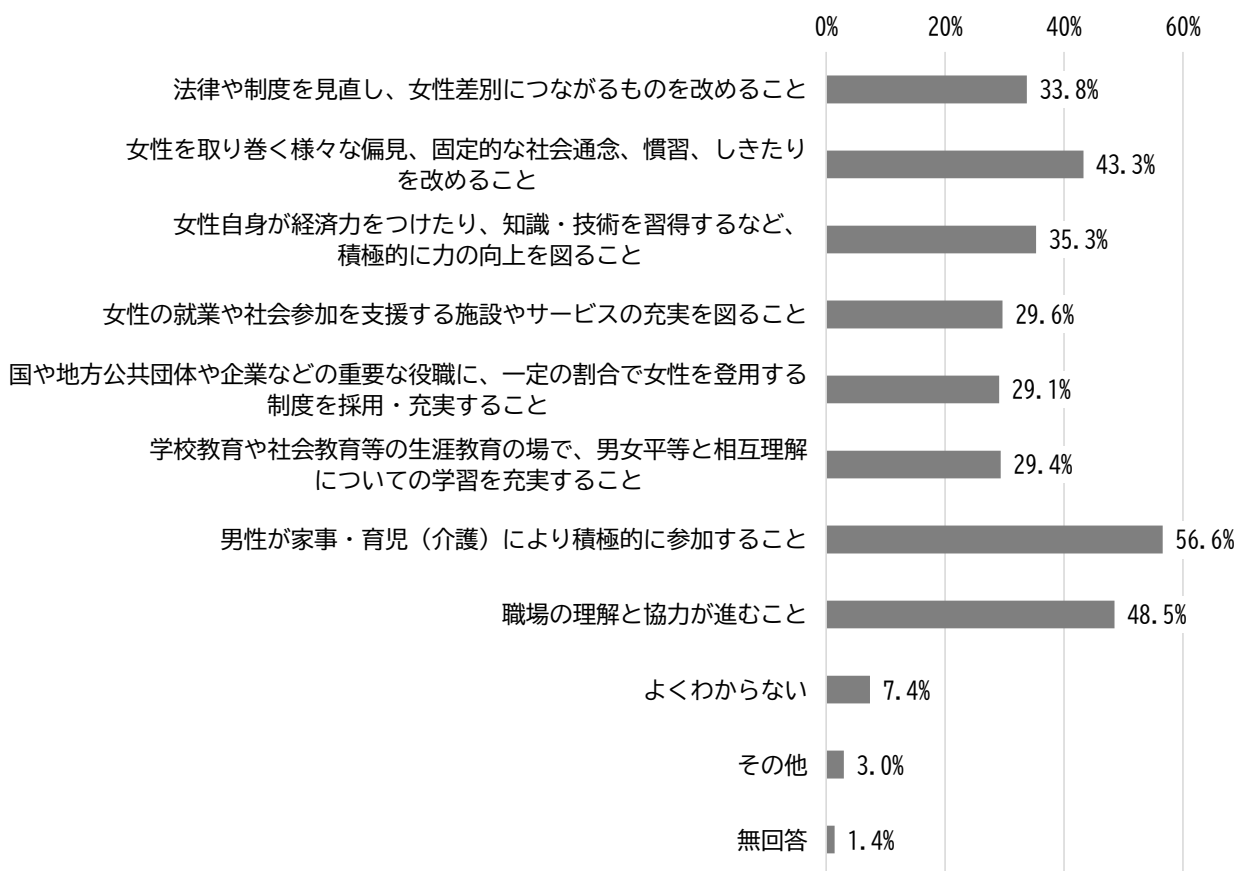
項目	男性の方が、優遇されている	どちらかといえば男性の方が、優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が、優遇されている	女性の方が、優遇されている	わからない	無回答	合計
全体	69 9.8%	175 24.8%	216 30.6%	81 11.5%	19 2.7%	130 18.4%	15 2.1%	705 100.0%
【性別】								
男性	14 4.9%	59 20.5%	121 42.0%	32 11.1%	9 3.1%	49 17.0%	4 1.4%	288 100.0%
女性	55 13.3%	113 27.4%	95 23.1%	48 11.7%	10 2.4%	80 19.4%	11 2.7%	412 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	1 7.7%	1 7.7%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	6 7.2%	12 14.5%	27 32.5%	13 15.7%	2 2.4%	21 25.3%	2 2.4%	83 100.0%
30～39歳	18 13.0%	28 20.3%	35 25.4%	19 13.8%	3 2.2%	35 25.4%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	16 11.6%	30 21.7%	43 31.2%	19 13.8%	4 2.9%	26 18.8%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	20 12.5%	47 29.4%	50 31.3%	15 9.4%	6 3.8%	19 11.9%	3 1.9%	160 100.0%
60～69歳	7 4.9%	48 33.8%	50 35.2%	9 6.3%	2 1.4%	20 14.1%	6 4.2%	142 100.0%
70歳以上	1 3.7%	6 22.2%	7 25.9%	4 14.8%	2 7.4%	3 11.1%	4 14.8%	27 100.0%

問 2. 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要だと思うことでは、「男性が家事・育児（介護）により積極的に参加すること」が 56.6%と最も多く、「職場の理解と協力が進むこと」が 48.5%、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」が 43.3%となっています。

性別で見ると、男女とも3位までの回答は同じですが、男性の回答がいずれも 40%台であるのに対し、女性の「男性が家事・育児（介護）により積極的に参加すること」が 65.3%と突出して多くなっています。

年齢別では、39 歳までの年代で「男性が家事・育児（介護）により積極的に参加すること」が 60%台を超えて多くなっています。



項目	票数	構成比
法律や制度を見直し、女性差別につながるものを改めること	238	33.8%
女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること	305	43.3%
女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	249	35.3%
女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	209	29.6%
国や地方公共団体や企業などの重要な役職に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	205	29.1%
学校教育や社会教育等の生涯教育の場で、男女平等と相互理解についての学習を充実すること	207	29.4%
男性が家事・育児（介護）により積極的に参加すること	399	56.6%
職場の理解と協力が進むこと	342	48.5%
よくわからない	52	7.4%
その他	21	3.0%
無回答	10	1.4%
回答数	705	

【性・年齢別クロス集計】

項目	法律や制度を見直し、女性差別につながるものを改めること	女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	女性の就業や社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	国や地方公共団体や企業などの重要な役職に、一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	学校教育や社会教育等の生涯教育の場で、男女平等と相互理解についての学習を充実すること	男性が家事・育児（介護）により積極的に参加すること	職場の理解と協力が進むこと	よくわからない	その他	無回答	回答数
全体	238 33.8%	305 43.3%	249 35.3%	209 29.6%	205 29.1%	207 29.4%	399 56.6%	342 48.5%	52 7.4%	21 3.0%	10 1.4%	705
【性別】												
男性	92 31.9%	119 41.3%	88 30.6%	65 22.6%	87 30.2%	76 26.4%	127 44.1%	122 42.4%	34 11.8%	15 5.2%	3 1.0%	288
女性	145 35.2%	182 44.2%	159 38.6%	142 34.5%	116 28.2%	129 31.3%	269 65.3%	215 52.2%	18 4.4%	5 1.2%	7 1.7%	412
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1
【年齢別】												
18・19歳	5 38.5%	6 46.2%	3 23.1%	5 38.5%	4 30.8%	4 30.8%	10 76.9%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	13
20～29歳	25 30.1%	28 33.7%	30 36.1%	29 34.9%	20 24.1%	26 31.3%	52 62.7%	39 47.0%	7 8.4%	4 4.8%	1 1.2%	83
30～39歳	48 34.8%	63 45.7%	51 37.0%	44 31.9%	40 29.0%	41 29.7%	95 68.8%	75 54.3%	13 9.4%	5 3.6%	0 0.0%	138
40～49歳	36 26.1%	50 36.2%	44 31.9%	36 26.1%	31 22.5%	39 28.3%	80 58.0%	69 50.0%	7 5.1%	6 4.3%	1 0.7%	138
50～59歳	54 33.8%	73 45.6%	63 39.4%	50 31.3%	48 30.0%	46 28.8%	83 51.9%	82 51.3%	10 6.3%	3 1.9%	2 1.3%	160
60～69歳	60 42.3%	76 53.5%	49 34.5%	38 26.8%	52 36.6%	42 29.6%	64 45.1%	59 41.5%	10 7.0%	3 2.1%	3 2.1%	142
70歳以上	10 37.0%	6 22.2%	8 29.6%	6 22.2%	9 33.3%	8 29.6%	13 48.1%	8 29.6%	3 11.1%	0 0.0%	3 11.1%	27

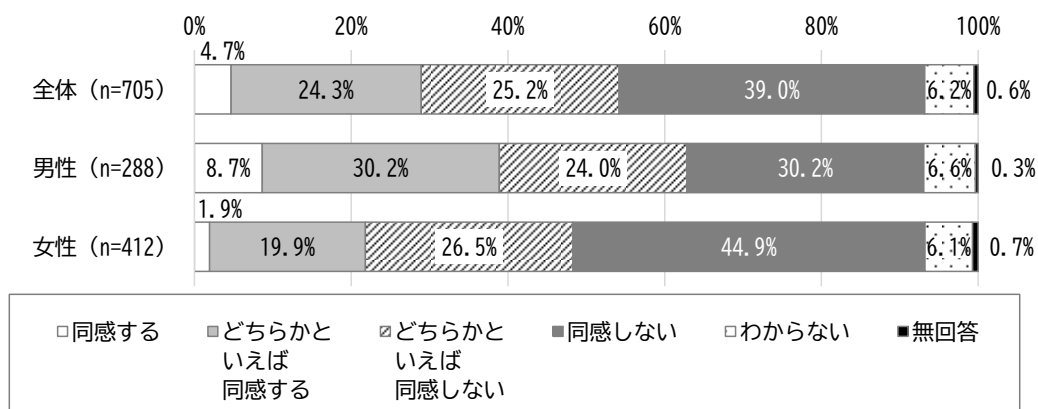
問 3.「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方で最も近いものでは、「同感する」「どちらかといえば同感する」を合わせた『同感する』が 29.0%となっています。

また、「どちらかといえば同感しない」「同感しない」を合わせた『同感しない』が 64.2%となっています。

性別でみると、『同感する』は男性 38.9%、女性 21.8%、『同感しない』は男性 54.2%、女性 71.4%となっています。

年齢別でみると、『同感する』は 20 歳代以降年代と共に多くなり、『同感しない』は年代とともに少なくなる傾向にあります。



【性・年齢別】

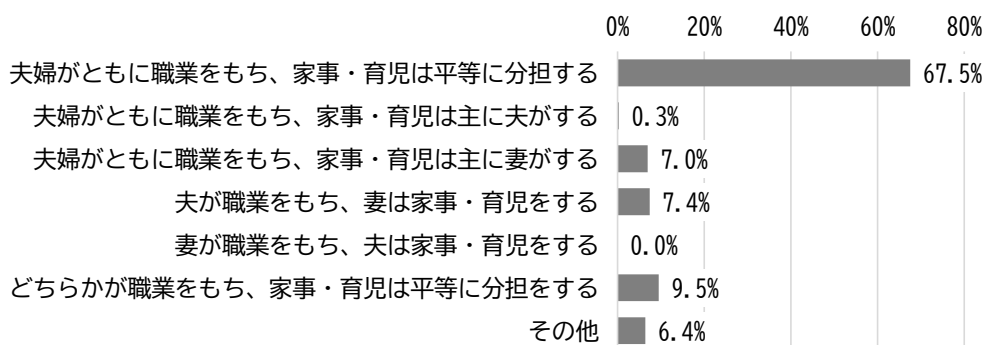
項目	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	無回答	合計
全体	33 4.7%	171 24.3%	178 25.2%	275 39.0%	44 6.2%	4 0.6%	705 100.0%
【性別】							
男性	25 8.7%	87 30.2%	69 24.0%	87 30.2%	19 6.6%	1 0.3%	288 100.0%
女性	8 1.9%	82 19.9%	109 26.5%	185 44.9%	25 6.1%	3 0.7%	412 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】							
18・19歳	0 0.0%	3 23.1%	3 23.1%	5 38.5%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	3 3.6%	9 10.8%	20 24.1%	46 55.4%	4 4.8%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	6 4.3%	34 24.6%	26 18.8%	62 44.9%	10 7.2%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	5 3.6%	32 23.2%	32 23.2%	60 43.5%	9 6.5%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	8 5.0%	40 25.0%	49 30.6%	55 34.4%	7 4.4%	1 0.6%	160 100.0%
60～69歳	8 5.6%	39 27.5%	41 28.9%	41 28.9%	12 8.5%	1 0.7%	142 100.0%
70歳以上	3 11.1%	12 44.4%	7 25.9%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%

問 4.家庭における夫婦の役割分担について、あなたはどのようにあるべきだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。

家庭における夫婦の役割分担であるべきことでは、「夫婦がともに職業をもち、家事・育児は平等に分担する」が 67.5%と最も多く、「どちらかが職業をもち、家事・育児は平等に分担をする」が 9.5%、「夫が職業をもち、妻は家事・育児をする」が 7.4%となっています。

性別でみると、男女とも「夫婦がともに職業をもち、家事・育児は平等に分担する」が1位の回答ですが、男性(61.5%)よりも女性(71.8%)が 10.3 ポイント多くなっています。

年齢別でみると、「夫婦がともに職業をもち、家事・育児は平等に分担する」は、60歳代以降で他の年代よりもやや少なくなっています。



項目	票数	構成比
夫婦がともに職業をもち、家事・育児は平等に分担する	476	67.5%
夫婦がともに職業をもち、家事・育児は主に夫がする	2	0.3%
夫婦がともに職業をもち、家事・育児は主に妻がする	49	7.0%
夫が職業をもち、妻は家事・育児をする	52	7.4%
妻が職業をもち、夫は家事・育児をする	0	0.0%
どちらかが職業をもち、家事・育児は平等に分担をする	67	9.5%
その他	45	6.4%
無回答	14	2.0%
合計	705	100.0%

【性・年齢別】

項目	る は 平 等 に 分 担 す	夫 婦 が と も に 家 事 ・ 職 業 を も ち 、	夫 婦 が と も に 家 事 ・ 職 業 を も ち 、	夫 婦 が と も に 家 事 ・ 職 業 を も ち 、	妻 が 家 事 ・ 職 業 を も ち 、	妻 が 家 事 ・ 職 業 を も ち 、	ど ち ら か が 職 業 を も ち 、	そ の 他	無 回 答	合 計
全体	476 67.5%	2 0.3%	49 7.0%	52 7.4%	0 0.0%	67 9.5%	45 6.4%	14 2.0%	705 100.0%	
【性別】										
男性	177 61.5%	2 0.7%	30 10.4%	31 10.8%	0 0.0%	30 10.4%	13 4.5%	5 1.7%	288 100.0%	
女性	296 71.8%	0 0.0%	19 4.6%	21 5.1%	0 0.0%	36 8.7%	31 7.5%	9 2.2%	412 100.0%	
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
【年齢別】										
18・19歳	9 69.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%	
20～29歳	67 80.7%	0 0.0%	1 1.2%	3 3.6%	0 0.0%	4 4.8%	7 8.4%	1 1.2%	83 100.0%	
30～39歳	98 71.0%	0 0.0%	12 8.7%	7 5.1%	0 0.0%	11 8.0%	9 6.5%	1 0.7%	138 100.0%	
40～49歳	81 58.7%	1 0.7%	14 10.1%	8 5.8%	0 0.0%	19 13.8%	13 9.4%	2 1.4%	138 100.0%	
50～59歳	117 73.1%	0 0.0%	10 6.3%	9 5.6%	0 0.0%	13 8.1%	8 5.0%	3 1.9%	160 100.0%	
60～69歳	86 60.6%	1 0.7%	7 4.9%	23 16.2%	0 0.0%	15 10.6%	6 4.2%	4 2.8%	142 100.0%	
70歳以上	16 59.3%	0 0.0%	5 18.5%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%	27 100.0%	

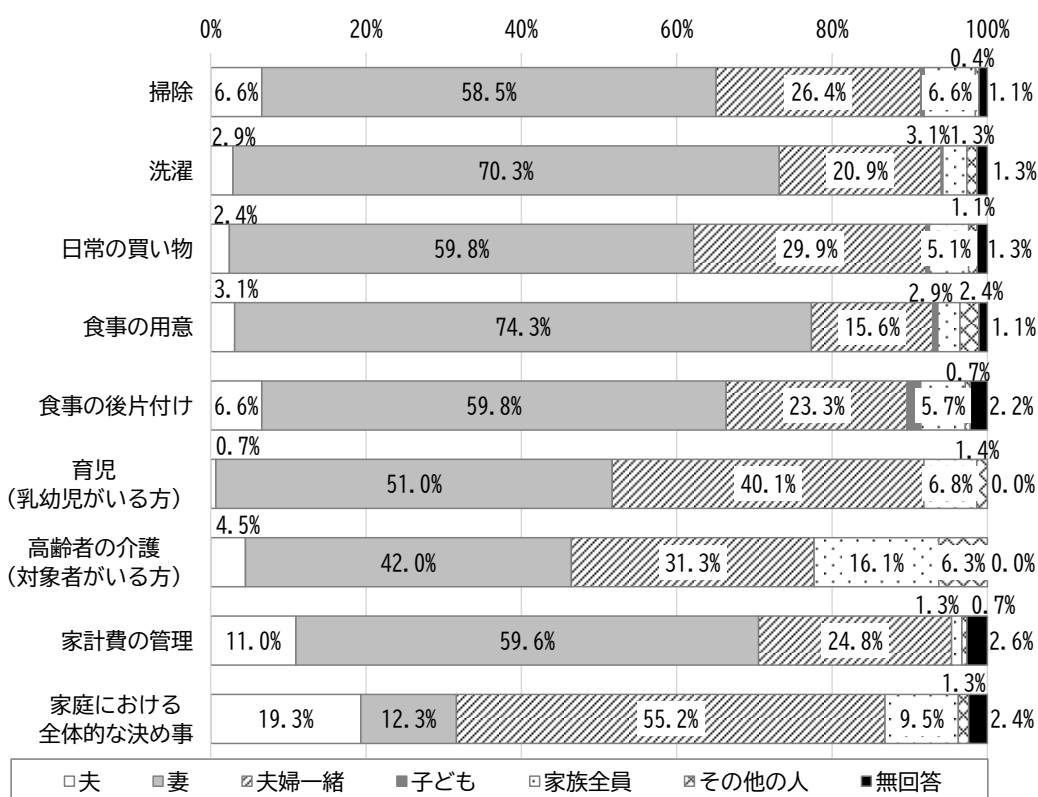
現在、配偶者のいる方

問 5.次にあげるような家庭内の仕事は、主にどなたが担当されていますか。「掃除」から「家庭における全体的な決め事」について、それぞれ1つ選んでください。

家庭内の仕事の担当について、「家庭における全体的な決め事」は夫婦一緒が半数を超えて最も多くなっていますが、それ以外の家庭内の仕事は全て妻が最も多くなっています。

性別でみると、「掃除」、「洗濯」、「日常の買い物」、「食事の用意」、「食事の後片付け」、「育児」について、「夫婦一緒」との回答は男性が女性よりも多く、「妻」との回答は女性が男性よりも多くなっています。また「家計費の管理」について男女の回答はほぼ同様となっています。

年齢別でみると、「家計費の管理」を除く全ての仕事で、「夫婦一緒」の回答が20歳代で最も多くなっています。



項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
掃除	30	266	120	2	30	2	5	455	250	705
	6.6%	58.5%	26.4%	0.4%	6.6%	0.4%	1.1%	100.0%		
洗濯	13	320	95	1	14	6	6	455	250	705
	2.9%	70.3%	20.9%	0.2%	3.1%	1.3%	1.3%	100.0%		
日常の買い物	11	272	136	2	23	5	6	455	250	705
	2.4%	59.8%	29.9%	0.4%	5.1%	1.1%	1.3%	100.0%		
食事の用意	14	338	71	3	13	11	5	455	250	705
	3.1%	74.3%	15.6%	0.7%	2.9%	2.4%	1.1%	100.0%		
食事の後片付け	30	272	106	8	26	3	10	455	250	705
	6.6%	59.8%	23.3%	1.8%	5.7%	0.7%	2.2%	100.0%		
育児 (乳幼児がいる方)	1	75	59	0	10	2		147	558	705
	0.7%	51.0%	40.1%	0.0%	6.8%	1.4%		100.0%		
高齢者の介護 (対象者がいる方)	5	47	35	0	18	7		112	593	705
	4.5%	42.0%	31.3%	0.0%	16.1%	6.3%		100.0%		
家計費の管理	50	271	113	0	6	3	12	455	250	705
	11.0%	59.6%	24.8%	0.0%	1.3%	0.7%	2.6%	100.0%		
家庭における 全体的な決め事	88	56	251	0	43	6	11	455	250	705
	19.3%	12.3%	55.2%	0.0%	9.5%	1.3%	2.4%	100.0%		

【性・年齢別】

■掃除

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	30	266	120	2	30	2	5	455	250	705
	6.6%	58.5%	26.4%	0.4%	6.6%	0.4%	1.1%	100.0%		
【性別】										
男性	17	88	56	0	14	1	2	178	110	288
	9.6%	49.4%	31.5%	0.0%	7.9%	0.6%	1.1%	100.0%		
女性	13	178	64	2	16	1	3	277	135	412
	4.7%	64.3%	23.1%	0.7%	5.8%	0.4%	1.1%	100.0%		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	-	-	-	-	-	-	-	-		
【年齢別】										
18・19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
	-	-	-	-	-	-	-	-		
20～29歳	2	7	6	0	0	0	0	15	68	83
	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
30～39歳	4	41	30	1	9	2	0	87	51	138
	4.6%	47.1%	34.5%	1.1%	10.3%	2.3%	0.0%	100.0%		
40～49歳	2	73	15	0	9	0	1	100	38	138
	2.0%	73.0%	15.0%	0.0%	9.0%	0.0%	1.0%	100.0%		
50～59歳	10	77	32	0	7	0	0	126	34	160
	7.9%	61.1%	25.4%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%		
60～69歳	10	58	34	1	3	0	3	109	33	142
	9.2%	53.2%	31.2%	0.9%	2.8%	0.0%	2.8%	100.0%		
70歳以上	2	10	3	0	2	0	1	18	9	27
	11.1%	55.6%	16.7%	0.0%	11.1%	0.0%	5.6%	100.0%		

■洗濯

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	13 2.9%	320 70.3%	95 20.9%	1 0.2%	14 3.1%	6 1.3%	6 1.3%	455 100.0%	250	705
【性別】										
男性	5 2.8%	116 65.2%	44 24.7%	1 0.6%	6 3.4%	3 1.7%	3 1.7%	178 100.0%	110	288
女性	8 2.9%	204 73.6%	51 18.4%	0 0.0%	8 2.9%	3 1.1%	3 1.1%	277 100.0%	135	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】										
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	0 0.0%	10 66.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	68	83
30～39歳	4 4.6%	54 62.1%	25 28.7%	0 0.0%	2 2.3%	2 2.3%	0 0.0%	87 100.0%	51	138
40～49歳	3 3.0%	73 73.0%	18 18.0%	0 0.0%	4 4.0%	0 0.0%	2 2.0%	100 100.0%	38	138
50～59歳	1 0.8%	91 72.2%	26 20.6%	1 0.8%	5 4.0%	2 1.6%	0 0.0%	126 100.0%	34	160
60～69歳	4 3.7%	80 73.4%	17 15.6%	0 0.0%	3 2.8%	2 1.8%	3 2.8%	109 100.0%	33	142
70歳以上	1 5.6%	12 66.7%	4 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%	9	27

■日常の買い物

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	11 2.4%	272 59.8%	136 29.9%	2 0.4%	23 5.1%	5 1.1%	6 1.3%	455 100.0%	250	705
【性別】										
男性	8 4.5%	86 48.3%	62 34.8%	2 1.1%	13 7.3%	3 1.7%	4 2.2%	178 100.0%	110	288
女性	3 1.1%	186 67.1%	74 26.7%	0 0.0%	10 3.6%	2 0.7%	2 0.7%	277 100.0%	135	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】										
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	0 0.0%	7 46.7%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	68	83
30～39歳	0 0.0%	51 58.6%	25 28.7%	0 0.0%	8 9.2%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%	51	138
40～49歳	4 4.0%	63 63.0%	26 26.0%	1 1.0%	5 5.0%	1 1.0%	0 0.0%	100 100.0%	38	138
50～59歳	3 2.4%	80 63.5%	36 28.6%	0 0.0%	7 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	126 100.0%	34	160
60～69歳	3 2.8%	63 57.8%	35 32.1%	1 0.9%	2 1.8%	1 0.9%	4 3.7%	109 100.0%	33	142
70歳以上	1 5.6%	8 44.4%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 11.1%	18 100.0%	9	27

■ 食事の用意

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	14 3.1%	338 74.3%	71 15.6%	3 0.7%	13 2.9%	11 2.4%	5 1.1%	455 100.0%	250	705
【性別】										
男性	6 3.4%	119 66.9%	32 18.0%	2 1.1%	9 5.1%	8 4.5%	2 1.1%	178 100.0%	110	288
女性	8 2.9%	219 79.1%	39 14.1%	1 0.4%	4 1.4%	3 1.1%	3 1.1%	277 100.0%	135	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】										
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	1 6.7%	8 53.3%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	68	83
30～39歳	2 2.3%	66 75.9%	13 14.9%	0 0.0%	3 3.4%	3 3.4%	0 0.0%	87 100.0%	51	138
40～49歳	5 5.0%	68 68.0%	17 17.0%	1 1.0%	3 3.0%	5 5.0%	1 1.0%	100 100.0%	38	138
50～59歳	3 2.4%	94 74.6%	21 16.7%	1 0.8%	5 4.0%	2 1.6%	0 0.0%	126 100.0%	34	160
60～69歳	1 0.9%	90 82.6%	12 11.0%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.8%	109 100.0%	33	142
70歳以上	2 11.1%	12 66.7%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%	9	27

■ 食事の後片付け

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	30 6.6%	272 59.8%	106 23.3%	8 1.8%	26 5.7%	3 0.7%	10 2.2%	455 100.0%	250	705
【性別】										
男性	14 7.9%	90 50.6%	55 30.9%	1 0.6%	14 7.9%	2 1.1%	2 1.1%	178 100.0%	110	288
女性	16 5.8%	182 65.7%	51 18.4%	7 2.5%	12 4.3%	1 0.4%	8 2.9%	277 100.0%	135	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】										
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	0 0.0%	5 33.3%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	68	83
30～39歳	9 10.3%	53 60.9%	19 21.8%	0 0.0%	6 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	87 100.0%	51	138
40～49歳	9 9.0%	63 63.0%	18 18.0%	1 1.0%	7 7.0%	1 1.0%	1 1.0%	100 100.0%	38	138
50～59歳	3 2.4%	82 65.1%	27 21.4%	3 2.4%	9 7.1%	1 0.8%	1 0.8%	126 100.0%	34	160
60～69歳	6 5.5%	62 56.9%	26 23.9%	4 3.7%	3 2.8%	1 0.9%	7 6.4%	109 100.0%	33	142
70歳以上	3 16.7%	7 38.9%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	18 100.0%	9	27

■ 育児(乳幼児がいる方)

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	回答数	非該当	合計
全体	1 0.7%	75 51.0%	59 40.1%	0 0.0%	10 6.8%	2 1.4%	147 100.0%	558	705
【性別】									
男性	1 1.9%	22 42.3%	22 42.3%	0 0.0%	6 11.5%	1 1.9%	52 100.0%	236	288
女性	0 0.0%	53 55.8%	37 38.9%	0 0.0%	4 4.2%	1 1.1%	95 100.0%	317	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】									
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	0 0.0%	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	73	83
30～39歳	0 0.0%	28 44.4%	31 49.2%	0 0.0%	4 6.3%	0 0.0%	63 100.0%	75	138
40～49歳	1 2.7%	20 54.1%	12 32.4%	0 0.0%	3 8.1%	1 2.7%	37 100.0%	101	138
50～59歳	0 0.0%	14 63.6%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	22 100.0%	138	160
60～69歳	0 0.0%	9 64.3%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	128	142
70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	26	27

■ 高齢者の介護(対象者がいる方)

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	回答数	非該当	合計
全体	5 4.5%	47 42.0%	35 31.3%	0 0.0%	18 16.1%	7 6.3%	112 100.0%	593	705
【性別】									
男性	4 9.1%	14 31.8%	14 31.8%	0 0.0%	9 20.5%	3 6.8%	44 100.0%	244	288
女性	1 1.5%	33 48.5%	21 30.9%	0 0.0%	9 13.2%	4 5.9%	68 100.0%	344	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】									
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	81	83
30～39歳	1 7.7%	2 15.4%	4 30.8%	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%	13 100.0%	125	138
40～49歳	0 0.0%	11 50.0%	6 27.3%	0 0.0%	3 13.6%	2 9.1%	22 100.0%	116	138
50～59歳	2 4.3%	21 44.7%	16 34.0%	0 0.0%	6 12.8%	2 4.3%	47 100.0%	113	160
60～69歳	2 7.7%	13 50.0%	8 30.8%	0 0.0%	2 7.7%	1 3.8%	26 100.0%	116	142
70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	25	27

■家計費の管理

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	50 11.0%	271 59.6%	113 24.8%	0 0.0%	6 1.3%	3 0.7%	12 2.6%	455 100.0%	250	705
【性別】										
男性	20 11.2%	104 58.4%	45 25.3%	0 0.0%	2 1.1%	1 0.6%	6 3.4%	178 100.0%	110	288
女性	30 10.8%	167 60.3%	68 24.5%	0 0.0%	4 1.4%	2 0.7%	6 2.2%	277 100.0%	135	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】										
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	2 13.3%	8 53.3%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%	68	83
30～39歳	11 12.6%	50 57.5%	22 25.3%	0 0.0%	2 2.3%	1 1.1%	1 1.1%	87 100.0%	51	138
40～49歳	9 9.0%	60 60.0%	28 28.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	2 2.0%	100 100.0%	38	138
50～59歳	14 11.1%	83 65.9%	26 20.6%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	126 100.0%	34	160
60～69歳	12 11.0%	62 56.9%	28 25.7%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	5 4.6%	109 100.0%	33	142
70歳以上	2 11.1%	8 44.4%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	18 100.0%	9	27

■家庭における全体的な決め事

項目	夫	妻	夫婦 一緒	子ども	家族 全員	その他 の人	無回答	回答数	非該当	合計
全体	88 19.3%	56 12.3%	251 55.2%	0 0.0%	43 9.5%	6 1.3%	11 2.4%	455 100.0%	250	705
【性別】										
男性	26 14.6%	23 12.9%	105 59.0%	0 0.0%	16 9.0%	3 1.7%	5 2.8%	178 100.0%	110	288
女性	62 22.4%	33 11.9%	146 52.7%	0 0.0%	27 9.7%	3 1.1%	6 2.2%	277 100.0%	135	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
【年齢別】										
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	13	13
20～29歳	2 13.3%	3 20.0%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	68	83
30～39歳	11 12.6%	12 13.8%	49 56.3%	0 0.0%	14 16.1%	1 1.1%	0 0.0%	87 100.0%	51	138
40～49歳	23 23.0%	12 12.0%	56 56.0%	0 0.0%	7 7.0%	1 1.0%	1 1.0%	100 100.0%	38	138
50～59歳	26 20.6%	18 14.3%	71 56.3%	0 0.0%	8 6.3%	3 2.4%	0 0.0%	126 100.0%	34	160
60～69歳	21 19.3%	10 9.2%	58 53.2%	0 0.0%	12 11.0%	1 0.9%	7 6.4%	109 100.0%	33	142
70歳以上	5 27.8%	1 5.6%	7 38.9%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	3 16.7%	18 100.0%	9	27

3.ワーク・ライフ・バランスについて

問 6.生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度についてうかがいます。

(1) 希望に最も近いものを1つ選んでください。

希望に最も近いものでは、「仕事」と「家庭生活」を優先が 31.8%と最も多く、次いで「家庭生活」を優先が 21.8%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先が 18.4%となっています。

性別でみると、「家庭生活」を優先は女性が男性よりも 10.6 ポイント多くなっています。

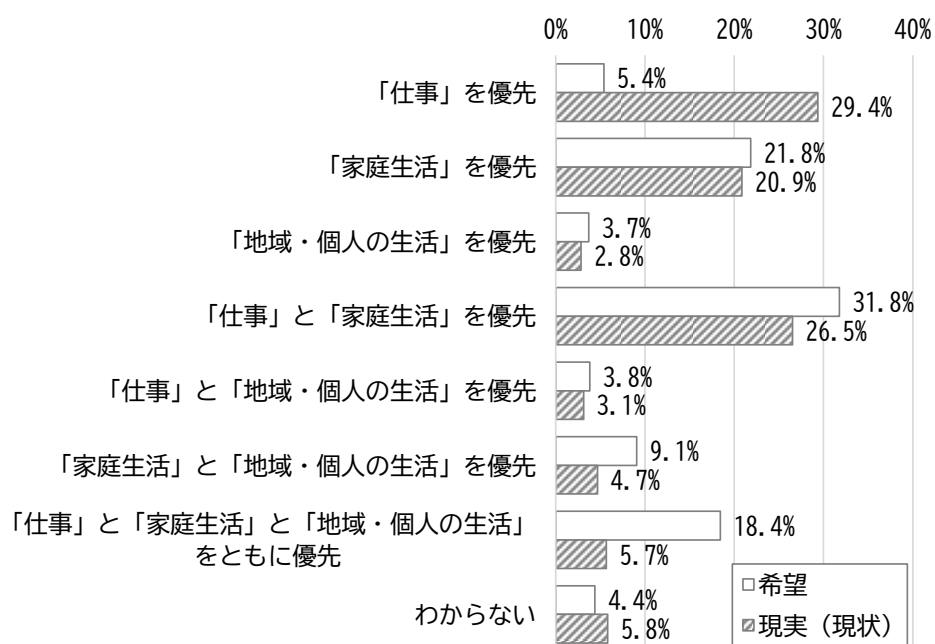
年齢別にみると、「家庭生活」を優先は 30 歳代が最も多く、「仕事」と「家庭生活」を優先は 50 歳代まで年代と共に多くなっています。

(2) 現実(現状)に最も近いものを1つ選んでください。

現実(現状)に最も近いものでは、「仕事」を優先が 29.4%と最も多く、次いで「仕事」と「家庭生活」を優先が 26.5%、「家庭生活」を優先が 20.9%となっています。

性別でみると、「仕事」を優先は男性が女性よりも 11.0 ポイント多く、「家庭生活」を優先は女性が男性よりも 17.1 ポイント多くなっています。

年齢別にみると、「仕事」を優先は 40 歳代が最も多く、「仕事」と「家庭生活」を優先は 50 歳代まで年代と共に多くなっています。



項目	希望		現実 (現状)	
	票数	構成比	票数	構成比
「仕事」を優先	38	5.4%	207	29.4%
「家庭生活」を優先	154	21.8%	147	20.9%
「地域・個人の生活」を優先	26	3.7%	20	2.8%
「仕事」と「家庭生活」を優先	224	31.8%	187	26.5%
「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	27	3.8%	22	3.1%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先	64	9.1%	33	4.7%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	130	18.4%	40	5.7%
わからない	31	4.4%	41	5.8%
無回答	11	1.6%	8	1.1%
合計	705	100.0%	705	100.0%

【性・年齢別】

(1) 希望

項目	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」を優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	無回答	合計
全体	38 5.4%	154 21.8%	26 3.7%	224 31.8%	27 3.8%	64 9.1%	130 18.4%	31 4.4%	11 1.6%	705 100.0%
【性別】										
男性	26 9.0%	45 15.6%	16 5.6%	92 31.9%	13 4.5%	27 9.4%	54 18.8%	12 4.2%	3 1.0%	288 100.0%
女性	12 2.9%	108 26.2%	10 2.4%	129 31.3%	14 3.4%	37 9.0%	75 18.2%	19 4.6%	8 1.9%	412 100.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】										
18・19歳	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	4 30.8%	3 23.1%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	4 4.8%	18 21.7%	8 9.6%	22 26.5%	4 4.8%	7 8.4%	13 15.7%	6 7.2%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	7 5.1%	40 29.0%	5 3.6%	45 32.6%	5 3.6%	14 10.1%	15 10.9%	7 5.1%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	7 5.1%	30 21.7%	5 3.6%	52 37.7%	6 4.3%	9 6.5%	23 16.7%	6 4.3%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	5 3.1%	30 18.8%	4 2.5%	61 38.1%	3 1.9%	14 8.8%	36 22.5%	4 2.5%	3 1.9%	160 100.0%
60～69歳	12 8.5%	28 19.7%	2 1.4%	35 24.6%	7 4.9%	15 10.6%	33 23.2%	4 2.8%	6 4.2%	142 100.0%
70歳以上	2 7.4%	7 25.9%	0 0.0%	5 18.5%	1 3.7%	4 14.8%	6 22.2%	1 3.7%	1 3.7%	27 100.0%

(2) 現実

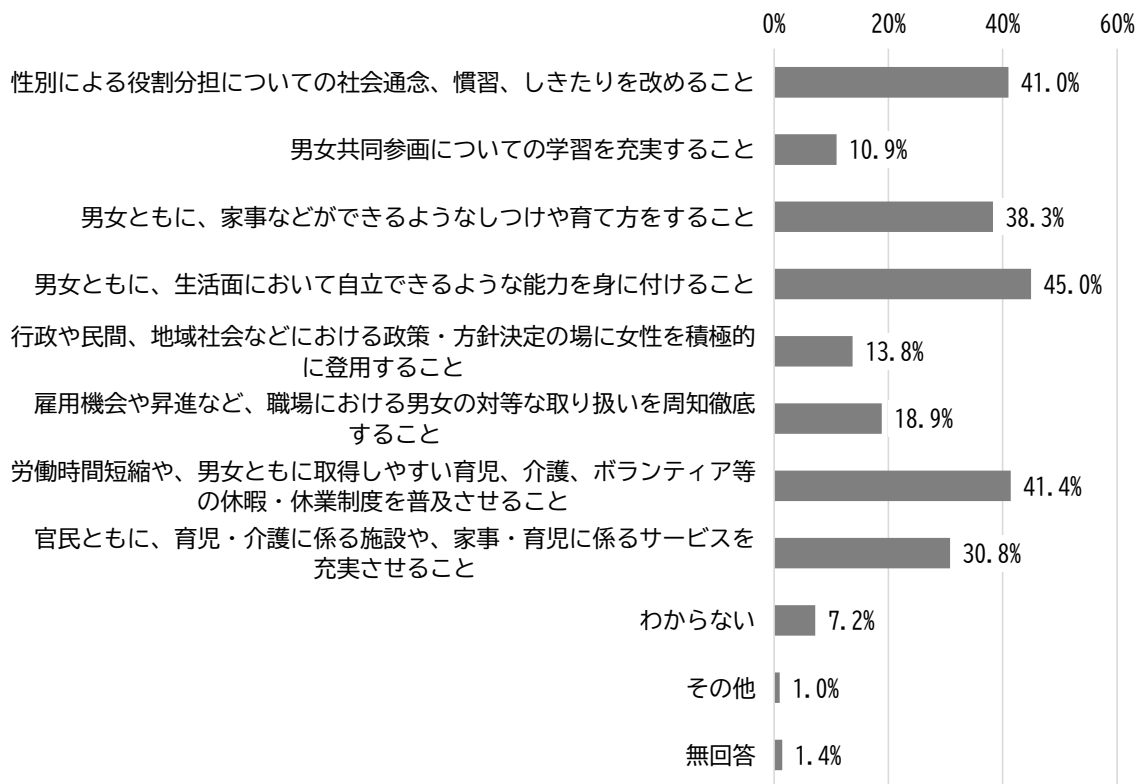
項目	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先している	わからない	無回答	合計
全体	207 29.4%	147 20.9%	20 2.8%	187 26.5%	22 3.1%	33 4.7%	40 5.7%	41 5.8%	8 1.1%	705 100.0%	
【性別】											
男性	103 35.8%	31 10.8%	13 4.5%	70 24.3%	11 3.8%	17 5.9%	19 6.6%	21 7.3%	3 1.0%	288 100.0%	
女性	102 24.8%	115 27.9%	7 1.7%	116 28.2%	11 2.7%	16 3.9%	21 5.1%	19 4.6%	5 1.2%	412 100.0%	
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
【年齢別】											
18・19歳	2 15.4%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	5 38.5%	0 0.0%	13 100.0%	
20～29歳	23 27.7%	12 14.5%	9 10.8%	12 14.5%	3 3.6%	4 4.8%	4 4.8%	16 19.3%	0 0.0%	83 100.0%	
30～39歳	44 31.9%	31 22.5%	3 2.2%	37 26.8%	8 5.8%	6 4.3%	3 2.2%	6 4.3%	0 0.0%	138 100.0%	
40～49歳	53 38.4%	28 20.3%	1 0.7%	41 29.7%	2 1.4%	2 1.4%	8 5.8%	3 2.2%	0 0.0%	138 100.0%	
50～59歳	57 35.6%	27 16.9%	2 1.3%	52 32.5%	5 3.1%	4 2.5%	9 5.6%	3 1.9%	1 0.6%	160 100.0%	
60～69歳	25 17.6%	38 26.8%	2 1.4%	38 26.8%	3 2.1%	11 7.7%	14 9.9%	6 4.2%	5 3.5%	142 100.0%	
70歳以上	2 7.4%	9 33.3%	0 0.0%	5 18.5%	1 3.7%	5 18.5%	2 7.4%	1 3.7%	2 7.4%	27 100.0%	

問7.今後、女性と男性がともに仕事、家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参加していくためには、何が重要だと思いますか。次の中から重要だと思われるものを3つまで選んでください。

今後、女性と男性がともに仕事、家事、育児、介護、地域活動等に積極的に参加していくために必要なことでは、「男女ともに、生活面において自立できるような能力を身に付けること」が45.0%と最も多く、次いで「労働時間短縮や、男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させること」が41.4%、「性別による役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が41.0%となっています。

性別で見ると、男性の1位が「性別による役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」(42.0%)であるのに対し、女性の1位は「男女ともに、生活面において自立できるような能力を身に付けること」(48.5%)となっています。また、女性の3位の「男女ともに、家事などができるようなしつけや育て方をすること」(43.7%)は、男性では30.2%と13.5ポイントと大きな差があります。

年齢別にみると、「労働時間短縮や、男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させること」が30歳代と40歳代で50%を超えて多くなっています。



項目	票数	比率
性別による役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	289	41.0%
男女共同参画についての学習を充実すること	77	10.9%
男女ともに、家事などができるようなしつけや育て方をすること	270	38.3%
男女ともに、生活面において自立できるような能力を身に付けること	317	45.0%
行政や民間、地域社会などにおける政策・方針決定の場に女性を積極的に登用すること	97	13.8%
雇用機会や昇進など、職場における男女の対等な取り扱いを周知徹底すること	133	18.9%
労働時間短縮や、男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させること	292	41.4%
官民ともに、育児・介護に係る施設や、家事・育児に係るサービスを充実させること	217	30.8%
わからない	51	7.2%
その他	7	1.0%
無回答	10	1.4%
回答数	705	

【性・年齢別】

項目	性別による役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	男女共同参画についての学習を充実すること	男女ともに、家事などができるようなしつけや育て方をすること	男女ともに、生活面において自立できるような能力を身に付けること	行政や民間、地域社会などにおける政策・方針決定の場に女性を積極的に登用すること	雇用機会や昇進など、職場における男女の対等な取り扱いを周知徹底すること	労働時間短縮や、男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させること	官民ともに、育児・介護に係る施設や、家事・育児に係るサービスを充実させること	わからない	その他	無回答	回答数
全体	289 41.0%	77 10.9%	270 38.3%	317 45.0%	97 13.8%	133 18.9%	292 41.4%	217 30.8%	51 7.2%	7 1.0%	10 1.4%	705
【性別】												
男性	121 42.0%	39 13.5%	87 30.2%	115 39.9%	52 18.1%	52 18.1%	102 35.4%	91 31.6%	24 8.3%	4 1.4%	5 1.7%	288
女性	163 39.6%	38 9.2%	180 43.7%	200 48.5%	44 10.7%	78 18.9%	189 45.9%	126 30.6%	27 6.6%	3 0.7%	5 1.2%	412
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
【年齢別】												
18・19歳	4 30.8%	1 7.7%	3 23.1%	4 30.8%	3 23.1%	4 30.8%	5 38.5%	1 7.7%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	13
20～29歳	27 32.5%	8 9.6%	30 36.1%	33 39.8%	11 13.3%	17 20.5%	47 56.6%	27 32.5%	8 9.6%	0 0.0%	0 0.0%	83
30～39歳	62 44.9%	10 7.2%	61 44.2%	62 44.9%	10 7.2%	30 21.7%	74 53.6%	43 31.2%	7 5.1%	2 1.4%	2 1.4%	138
40～49歳	51 37.0%	13 9.4%	67 48.6%	62 44.9%	21 15.2%	24 17.4%	52 37.7%	30 21.7%	10 7.2%	1 0.7%	1 0.7%	138
50～59歳	77 48.1%	24 15.0%	54 33.8%	69 43.1%	22 13.8%	30 18.8%	62 38.8%	50 31.3%	11 6.9%	1 0.6%	1 0.6%	160
60～69歳	57 40.1%	17 12.0%	43 30.3%	72 50.7%	25 17.6%	20 14.1%	43 30.3%	55 38.7%	9 6.3%	2 1.4%	5 3.5%	142
70歳以上	7 25.9%	4 14.8%	10 37.0%	14 51.9%	4 14.8%	5 18.5%	8 29.6%	11 40.7%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	27

問 8. 育児や家族介護を行うために、条例に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を利用して、男性が育児休業や介護休暇を取得することについてどう思いますか。「(1)育児休業」「(2)介護休業」について、それぞれ1つ選んでください。

(1) 育児休業

男性が育児休業を取得することでは、「積極的に取得した方がよい」「どちらかといえば取得した方がよい」を合わせた『取得した方がよい』が85.2%となっています。また、「どちらかといえば取得しない方がよい」「取得しない方がよい」を合わせた『取得しない方がよい』が5.5%となっています。

性別でみると、『取得した方がよい』は男性が83.0%、女性が86.7%と大きな違いはありません。

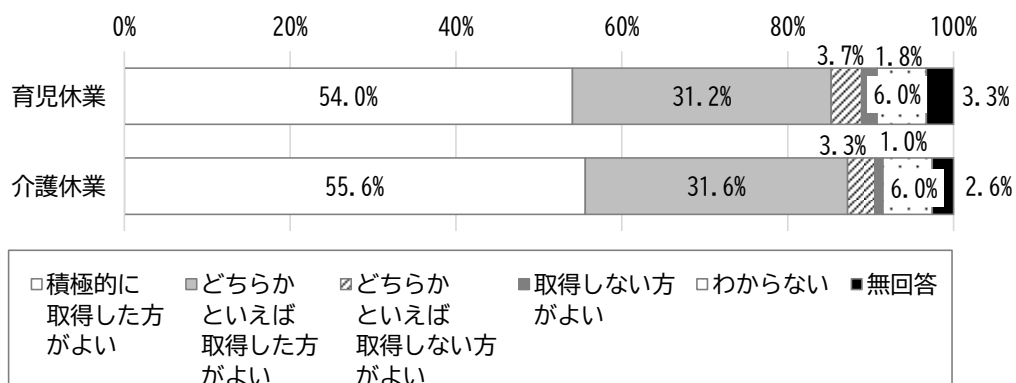
年齢別でみると、『取得した方がよい』は50歳代までは80%を超えていますが、60歳代と70歳以上では、70%台とやや少なくなっています。

(2) 介護休業

男性が介護休業を取得することでは、「積極的に取得した方がよい」「どちらかといえば取得した方がよい」を合わせた『取得した方がよい』が87.2%となっています。また、「どちらかといえば取得しない方がよい」「取得しない方がよい」を合わせた『取得しない方がよい』が4.3%となっています。

性別でみると、『取得した方がよい』は男性が86.5%、女性が87.6%と大きな違いはありません。

年齢別でみると、『取得した方がよい』は20歳代で90%を超えていますが、その他の年代でも80%台となっており、年齢による明らかな傾向はみられません。



項目	積極的に取得した方がよい	どちらかといえば取得した方がよい	どちらかといえば取得しない方がよい	取得しない方がよい	わからない	無回答	合計
育児休業	381	220	26	13	42	23	705
	54.0%	31.2%	3.7%	1.8%	6.0%	3.3%	100.0%
介護休業	392	223	23	7	42	18	705
	55.6%	31.6%	3.3%	1.0%	6.0%	2.6%	100.0%

【性・年齢別】

(1) 育児休業

項目	積極的に 取得した 方がよい	どちらか といえば 取得した 方がよい	どちらか といえば 取得しない 方がよい	取得しない 方がよい	わからない	無回答	合計
全体	381 54.0%	220 31.2%	26 3.7%	13 1.8%	42 6.0%	23 3.3%	705 100.0%
【性別】							
男性	144 50.0%	95 33.0%	11 3.8%	5 1.7%	22 7.6%	11 3.8%	288 100.0%
女性	234 56.8%	123 29.9%	15 3.6%	8 1.9%	20 4.9%	12 2.9%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】							
18・19歳	10 76.9%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	60 72.3%	16 19.3%	0 0.0%	2 2.4%	5 6.0%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	86 62.3%	35 25.4%	9 6.5%	2 1.4%	3 2.2%	3 2.2%	138 100.0%
40～49歳	79 57.2%	42 30.4%	4 2.9%	3 2.2%	9 6.5%	1 0.7%	138 100.0%
50～59歳	76 47.5%	60 37.5%	6 3.8%	2 1.3%	12 7.5%	4 2.5%	160 100.0%
60～69歳	59 41.5%	53 37.3%	7 4.9%	3 2.1%	10 7.0%	10 7.0%	142 100.0%
70歳以上	9 33.3%	11 40.7%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	5 18.5%	27 100.0%

(2) 介護休業

項目	積極的に 取得した 方がよい	どちらか といえば 取得した 方がよい	どちらか といえば 取得しない 方がよい	取得しない 方がよい	わからない	無回答	合計
全体	392 55.6%	223 31.6%	23 3.3%	7 1.0%	42 6.0%	18 2.6%	705 100.0%
【性別】							
男性	150 52.1%	99 34.4%	10 3.5%	4 1.4%	16 5.6%	9 3.1%	288 100.0%
女性	238 57.8%	123 29.9%	13 3.2%	3 0.7%	26 6.3%	9 2.2%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】							
18・19歳	9 69.2%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	54 65.1%	21 25.3%	1 1.2%	1 1.2%	6 7.2%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	80 58.0%	42 30.4%	7 5.1%	2 1.4%	4 2.9%	3 2.2%	138 100.0%
40～49歳	78 56.5%	43 31.2%	4 2.9%	2 1.4%	11 8.0%	0 0.0%	138 100.0%
50～59歳	89 55.6%	51 31.9%	7 4.4%	1 0.6%	10 6.3%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	68 47.9%	51 35.9%	4 2.8%	1 0.7%	8 5.6%	10 7.0%	142 100.0%
70歳以上	11 40.7%	12 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	3 11.1%	27 100.0%

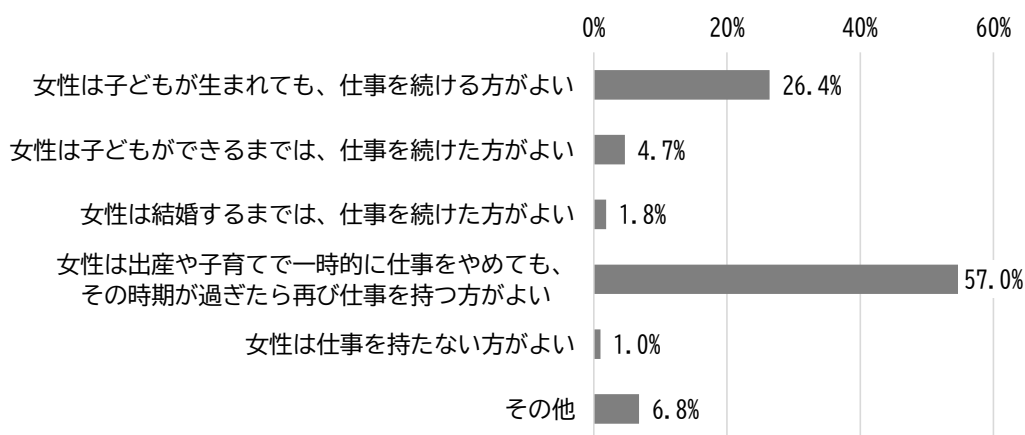
4.就業関係について

問 9.あなたは、次にあげる仕事の考え方についてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。

仕事の考え方では、「女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい」が57.0%と最も多く、次いで「女性は子どもが生まれても、仕事を続ける方がよい」が26.4%となっています。

性別でみると、男女とも「女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい」が最も多く、その差もほとんどありません。一方、「女性は子どもが生まれても、仕事を続ける方がよい」は、男性が23.6%に対し女性は28.4%と、女性の回答がやや多くなっています。

年齢別でみると、全ての年代で「女性は出産や子育てで一時的に仕事をやめても、その時期が過ぎたら再び仕事を持つ方がよい」が最も多く、年代による傾向はみられません。



項目	票数	構成比
女性はやむを得ない限り、仕事を続けた方がよい	186	26.4%
女性はやむを得ない限り、仕事を続けた方がよい	33	4.7%
女性はやむを得ない限り、仕事を続けた方がよい	13	1.8%
女性はやむを得ない限り、仕事を続けた方がよい	402	57.0%
女性はやむを得ない限り、仕事を続けた方がよい	7	1.0%
その他	48	6.8%
無回答	16	2.3%
合計	705	100.0%

【性・年齢別】

項目	女性 は子どもが よい	女性 は子どもが よい	女性 は結婚する までは、 仕事を続 けた方が よい	女性 は出産や 子育てで 一時的に 仕事を 辞めても、 その時期 が過ぎた ら再び 仕事を 持つ方が よい	女性 は仕事を 持たない 方がよい	その他	無 回 答	合 計
全体	186 26.4%	33 4.7%	13 1.8%	402 57.0%	7 1.0%	48 6.8%	16 2.3%	705 100.0%
【性別】								
男性	68 23.6%	19 6.6%	7 2.4%	164 56.9%	3 1.0%	20 6.9%	7 2.4%	288 100.0%
女性	117 28.4%	14 3.4%	6 1.5%	235 57.0%	4 1.0%	28 6.8%	8 1.9%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】								
18・19歳	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	8 61.5%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	23 27.7%	6 7.2%	2 2.4%	42 50.6%	0 0.0%	9 10.8%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	35 25.4%	6 4.3%	3 2.2%	76 55.1%	2 1.4%	16 11.6%	0 0.0%	138 100.0%
40～49歳	42 30.4%	3 2.2%	2 1.4%	75 54.3%	3 2.2%	11 8.0%	2 1.4%	138 100.0%
50～59歳	51 31.9%	9 5.6%	1 0.6%	87 54.4%	1 0.6%	6 3.8%	5 3.1%	160 100.0%
60～69歳	28 19.7%	7 4.9%	4 2.8%	92 64.8%	0 0.0%	5 3.5%	6 4.2%	142 100.0%
70歳以上	5 18.5%	1 3.7%	0 0.0%	19 70.4%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	27 100.0%

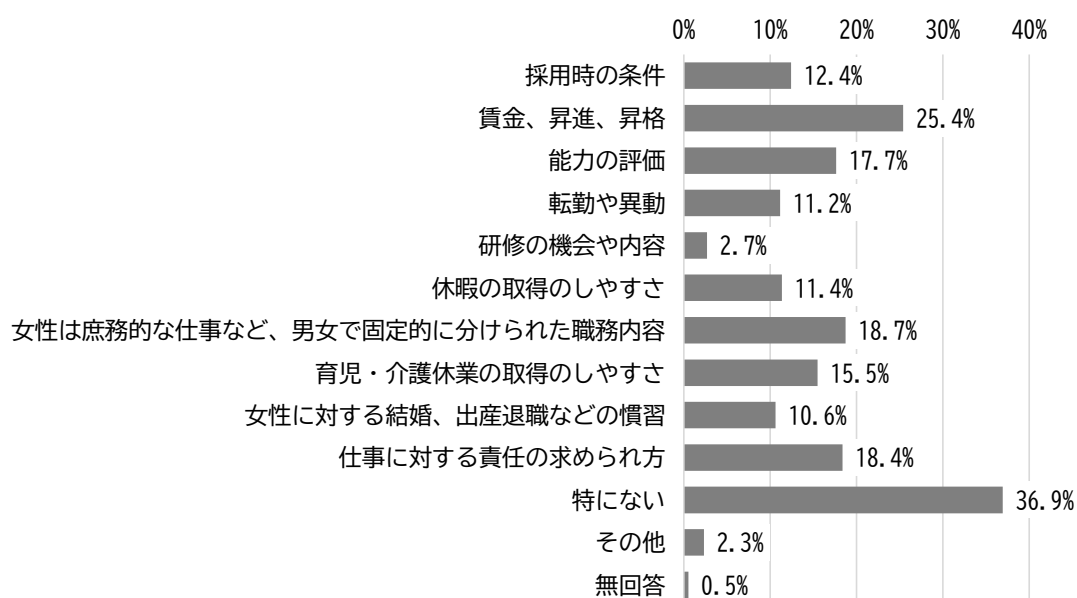
働いている方

問 10.あなたの職場で、男女の地位が平等ではないと思うことはありますか。次の中からいくつかでも選んでください。

職場で、男女の地位が平等ではないと思うことでは、「賃金、昇進、昇格」が 25.4%と最も多く、次いで「女性は庶務的な仕事など、男女で固定的に分けられた職務内容」が 18.7%、「仕事に対する責任の求められ方」が 18.4%となっています。また、「特にない」が 36.9%となっています。

性別でみると、男女の差が大きいのは、「仕事に対する責任の求められ方」(男性 26.0%、女性 12.3%)、「転勤や異動」(男性 16.1%、女性 6.8%)、「女性は庶務的な仕事など、男女で固定的に分けられた職務内容」(男性 23.6%、女性 14.9%)、「能力の評価」(男性 13.6%、女性 20.7%)などとなっています。

年齢別でみると、「育児・介護休業の取得のしやすさ」、「女性に対する結婚、出産退職などの慣習」が 20 歳代以降で年代とともに少なくなる傾向がみられています。



項目	票数	比率
採用時の条件	69	12.4%
賃金、昇進、昇格	141	25.4%
能力の評価	98	17.7%
転勤や異動	62	11.2%
研修の機会や内容	15	2.7%
休暇の取得のしやすさ	63	11.4%
女性は庶務的な仕事など、男女で固定的に分けられた職務内容	104	18.7%
育児・介護休業の取得のしやすさ	86	15.5%
女性に対する結婚、出産退職などの慣習	59	10.6%
仕事に対する責任の求められ方	102	18.4%
特にない	205	36.9%
その他	13	2.3%
無回答	3	0.5%
回答数	555	

※問 10 と問 11 のいずれか一方または両方を回答している方を回答数としています。

【性・年齢別】

項目	採用時の条件	賃金、昇進、昇格	能力の評価	転勤や異動	研修の機会や内容	休暇の取得のしやすさ	女性に固定的な仕事内容、男女で職務内容	育児・介護休業の取得のしやすさ	退職などの慣習	女性に対する結婚、出産	仕事に対する責任の求められ方	特にない	その他	無回答	回答数
全体	69 12.4%	141 25.4%	98 17.7%	62 11.2%	15 2.7%	63 11.4%	104 18.7%	86 15.5%	59 10.6%	102 18.4%	205 36.9%	13 2.3%	3 0.5%	555	
【性別】															
男性	30 12.4%	56 23.1%	33 13.6%	39 16.1%	4 1.7%	30 12.4%	57 23.6%	35 14.5%	20 8.3%	63 26.0%	80 33.1%	6 2.5%	2 0.8%	242	
女性	38 12.3%	84 27.2%	64 20.7%	21 6.8%	9 2.9%	33 10.7%	46 14.9%	50 16.2%	38 12.3%	38 12.3%	123 39.8%	7 2.3%	1 0.3%	309	
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
【年齢別】															
18・19歳	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	
20～29歳	7 10.8%	12 18.5%	6 9.2%	6 9.2%	2 3.1%	8 12.3%	15 23.1%	15 23.1%	10 15.4%	10 15.4%	25 38.5%	3 4.6%	0 0.0%	65	
30～39歳	21 17.2%	27 22.1%	22 18.0%	16 13.1%	6 4.9%	22 18.0%	24 19.7%	26 21.3%	18 14.8%	25 20.5%	35 28.7%	4 3.3%	1 0.8%	122	
40～49歳	13 10.4%	27 21.6%	20 16.0%	16 12.8%	2 1.6%	13 10.4%	20 16.0%	19 15.2%	16 12.8%	24 19.2%	50 40.0%	1 0.8%	0 0.0%	125	
50～59歳	19 13.1%	47 32.4%	35 24.1%	16 11.0%	3 2.1%	11 7.6%	32 22.1%	16 11.0%	11 7.6%	22 15.2%	53 36.6%	2 1.4%	1 0.7%	145	
60～69歳	7 8.6%	22 27.2%	12 14.8%	5 6.2%	0 0.0%	6 7.4%	11 13.6%	8 9.9%	3 3.7%	19 23.5%	34 42.0%	2 2.5%	1 1.2%	81	
70歳以上	2 22.2%	5 55.6%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	9	

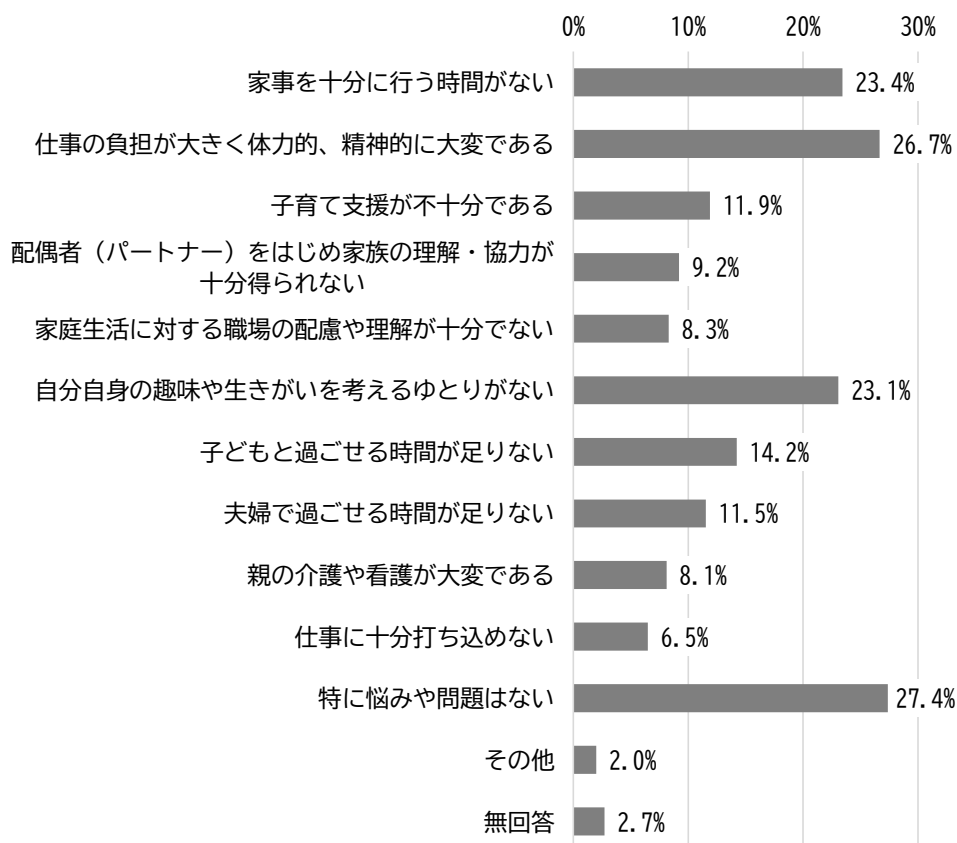
働いている方

問 11.仕事と家庭生活を両立させる上での悩み、問題は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

仕事と家庭生活を両立させる上での悩み、問題では、「仕事の負担が大きく体力的、精神的に大変である」が 26.7%と最も多く、次いで「家事を十分に行う時間がない」が 23.4%、「自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない」が 23.1%となっています。また、「特に悩みや問題はない」が 27.4%となっています。

性別でみると、男性は「仕事の負担が大きく体力的、精神的に大変である」が 31.0%と最も多く、次いで「自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない」が 21.1%、女性は「家事を十分に行う時間がない」が 28.5%、次いで「自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない」が 24.6%となっており、「仕事の負担が大きく体力的、精神的に大変である」と「家事を十分に行う時間がない」について、回答の男女差が大きくなっています。

年齢別でみると、「子育て支援が不十分である」は年代とともに低くなり、「子どもと過ごせる時間が足りない」は 30 歳代と 40 歳代で 20%を超えて多くなっています。



項目	票数	比率
家事を十分に行う時間がない	130	23.4%
仕事の負担が大きく体力的、精神的に大変である	148	26.7%
子育て支援が不十分である	66	11.9%
配偶者（パートナー）をはじめ家族の理解・協力が十分得られない	51	9.2%
家庭生活に対する職場の配慮や理解が十分でない	46	8.3%
自分自身の趣味や生きがいを考えるゆとりがない	128	23.1%
子どもと過ごせる時間が足りない	79	14.2%
夫婦で過ごせる時間が足りない	64	11.5%
親の介護や看護が大変である	45	8.1%
仕事に十分打ち込めない	36	6.5%
特に悩みや問題はない	152	27.4%
その他	11	2.0%
無回答	15	2.7%
回答数	555	

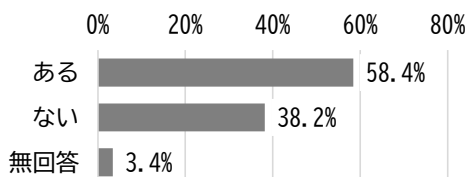
【性・年齢別】

項目	家事を十分に行う時間がない	あある力的、精神的に大変である	仕事の負担が大きく体	子育て支援が不十分である	協力を十分得られない	配偶者（パートナー）をはじめ家族の理解・協力が十分でない	家庭生活に対する職場の配慮や理解が十分でない	自分自身の趣味や生きがい考えるゆとりがない	子どもと過ごせる時間が足りない	夫婦で過ごせる時間が足りない	親の介護や看護が大変である	仕事に十分打ち込めない	特に悩みや問題はない	その他	無回答	回答数
全体	130 23.4%	148 26.7%	66 11.9%	51 9.2%	46 8.3%	128 23.1%	79 14.2%	64 11.5%	45 8.1%	36 6.5%	152 27.4%	11 2.0%	15 2.7%	555		
【性別】																
男性	40 16.5%	75 31.0%	23 9.5%	21 8.7%	19 7.9%	51 21.1%	36 14.9%	31 12.8%	21 8.7%	15 6.2%	67 27.7%	3 1.2%	7 2.9%	242		
女性	88 28.5%	72 23.3%	42 13.6%	28 9.1%	25 8.1%	76 24.6%	40 12.9%	31 10.0%	23 7.4%	19 6.1%	84 27.2%	8 2.6%	8 2.6%	309		
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
【年齢別】																
18・19歳	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	5
20～29歳	15 23.1%	19 29.2%	13 20.0%	7 10.8%	7 10.8%	15 23.1%	11 16.9%	10 15.4%	4 6.2%	5 7.7%	13 20.0%	0 0.0%	2 3.1%	65		
30～39歳	35 28.7%	37 30.3%	22 18.0%	7 5.7%	14 11.5%	26 21.3%	25 20.5%	24 19.7%	8 6.6%	10 8.2%	32 26.2%	2 1.6%	6 4.9%	122		
40～49歳	35 28.0%	24 19.2%	12 9.6%	13 10.4%	8 6.4%	37 29.6%	25 20.0%	15 12.0%	10 8.0%	10 8.0%	31 24.8%	3 2.4%	2 1.6%	125		
50～59歳	31 21.4%	39 26.9%	15 10.3%	16 11.0%	12 8.3%	30 20.7%	12 8.3%	7 4.8%	18 12.4%	7 4.8%	42 29.0%	3 2.1%	1 0.7%	145		
60～69歳	13 16.0%	26 32.1%	3 3.7%	5 6.2%	4 4.9%	16 19.8%	4 4.9%	7 8.6%	4 4.9%	3 3.7%	27 33.3%	2 2.5%	3 3.7%	81		
70歳以上	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	9		

問 12.あなたは、途中で仕事を辞めた経験がありますか。次の中から1つ選んでください。

途中で仕事を辞めた経験があるかでは、「ある」が58.4%、「ない」が38.2%となっています。
性別でみると、「ある」は男性が46.5%に対して女性は66.7%と女性が20.2ポイント多くなっています。

年齢別でみると、「ある」は30歳代から60歳代で60%前後と、20歳代の39.8%から20ポイント程度多くなっています。



項目	票数	構成比
ある	412	58.4%
ない	269	38.2%
無回答	24	3.4%
合計	705	100.0%

【性・年齢別】

項目	ある	ない	無回答	合計
全体	412 58.4%	269 38.2%	24 3.4%	705 100.0%
【性別】				
男性	134 46.5%	141 49.0%	13 4.5%	288 100.0%
女性	275 66.7%	127 30.8%	10 2.4%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】				
18・19歳	0 0.0%	12 92.3%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	33 39.8%	45 54.2%	5 6.0%	83 100.0%
30～39歳	88 63.8%	48 34.8%	2 1.4%	138 100.0%
40～49歳	90 65.2%	46 33.3%	2 1.4%	138 100.0%
50～59歳	102 63.8%	51 31.9%	7 4.4%	160 100.0%
60～69歳	84 59.2%	53 37.3%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	13 48.1%	13 48.1%	1 3.7%	27 100.0%

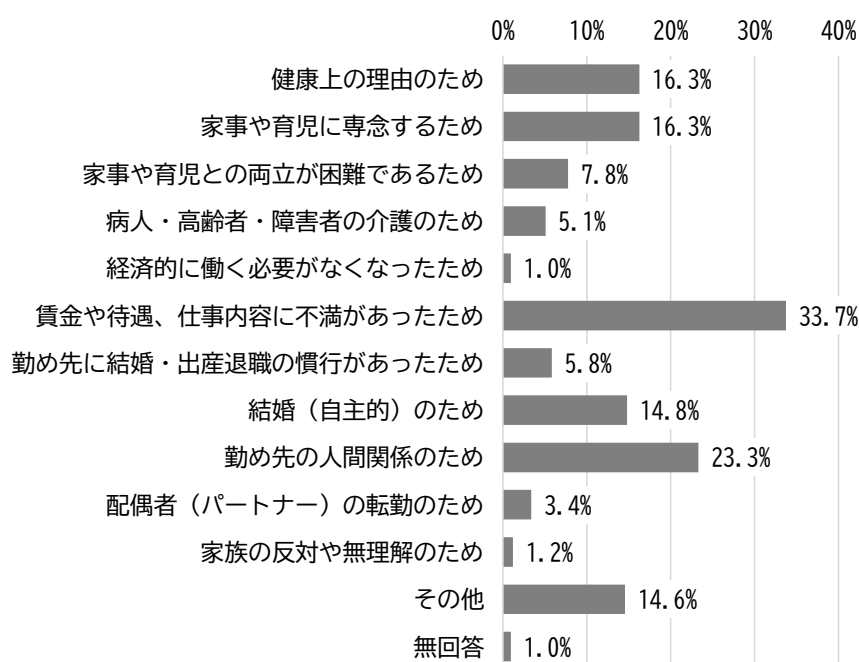
問12で「ある」と回答

問12-1.辞めることになった理由はなんでしょうか。次の中からいくつでも選んでください。

仕事を辞めることになった理由では、「賃金や待遇、仕事内容に不満があったため」が33.7%と最も多く、次いで「勤め先の人間関係のため」が23.3%、「健康上の理由のため」「家事や育児に専念するため」がともに16.3%となっています。

性別でみると、男性は「賃金や待遇、仕事内容に不満があったため」が50%を超えて突出しているのに対し、女性は「賃金や待遇、仕事内容に不満があったため」、「勤め先の人間関係のため」、「家事や育児に専念するため」、「結婚(自主的)のため」がいずれも20%台となっています。

年齢別でみると、「賃金や待遇、仕事内容に不満があったため」、「勤め先の人間関係のため」は若い年代ほど多くなっています。



項目	票数	比率
健康上の理由のため	67	16.3%
家事や育児に専念するため	67	16.3%
家事や育児との両立が困難であるため	32	7.8%
病人・高齢者・障害者の介護のため	21	5.1%
経済的に働く必要がなくなったため	4	1.0%
賃金や待遇、仕事内容に不満があったため	139	33.7%
勤め先に結婚・出産退職の慣行があったため	24	5.8%
結婚(自主的)のため	61	14.8%
勤め先の人間関係のため	96	23.3%
配偶者(パートナー)の転勤のため	14	3.4%
家族の反対や無理解のため	5	1.2%
その他	60	14.6%
無回答	4	1.0%
回答数	412	
非該当	293	
合計	705	

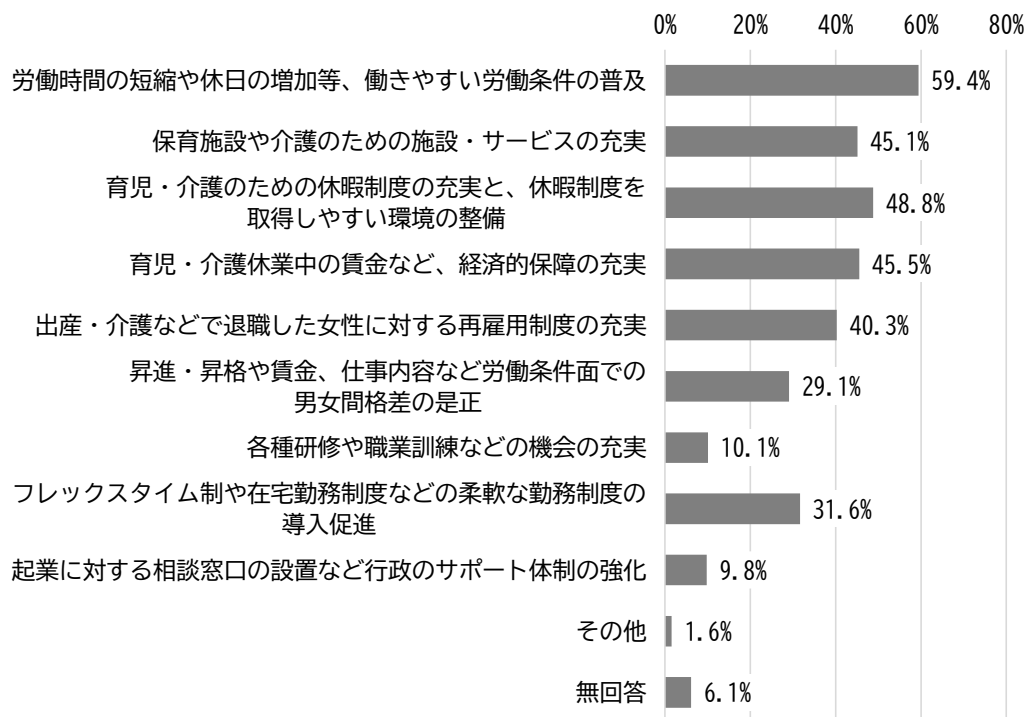
項目	健康上の理由のため	家事や育児に専念するため	家事や育児との両立が困難であるため	病人・高齢者・障害者の介護のため	経済的に働く必要がなくなったため	賃金や待遇、仕事内容に不満があったため	職の慣行があつたため	勤め先に結婚・出産退職の慣行があつたため	結婚（自主的）のため	勤め先の人間関係のため	配偶者（パートナー）の転勤のため	家族の反対や無理解のため	その他	無回答	回答数	非該当	合計
全体	67 16.3%	67 16.3%	32 7.8%	21 5.1%	4 1.0%	139 33.7%	24 5.8%	61 14.8%	96 23.3%	14 3.4%	5 1.2%	60 14.6%	4 1.0%	412	293	705	
【性別】																	
男性	27 20.1%	4 3.0%	2 1.5%	2 1.5%	2 1.5%	72 53.7%	2 1.5%	1 0.7%	31 23.1%	2 1.5%	2 1.5%	25 18.7%	3 2.2%	134	154	288	
女性	39 14.2%	62 22.5%	30 10.9%	19 6.9%	2 0.7%	66 24.0%	22 8.0%	58 21.1%	63 22.9%	12 4.4%	3 1.1%	35 12.7%	1 0.4%	275	137	412	
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	0	1	
【年齢別】																	
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0	13	13
20～29歳	4 12.1%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	15 45.5%	2 6.1%	3 9.1%	15 45.5%	1 3.0%	0 0.0%	6 18.2%	0 0.0%	33	50	83	
30～39歳	18 20.5%	17 19.3%	7 8.0%	3 3.4%	0 0.0%	34 38.6%	7 8.0%	9 10.2%	25 28.4%	2 2.3%	0 0.0%	11 12.5%	1 1.1%	88	50	138	
40～49歳	16 17.8%	12 13.3%	9 10.0%	1 1.1%	0 0.0%	32 35.6%	5 5.6%	14 15.6%	22 24.4%	5 5.6%	1 1.1%	15 16.7%	0 0.0%	90	48	138	
50～59歳	17 16.7%	20 19.6%	7 6.9%	5 4.9%	2 2.0%	36 35.3%	4 3.9%	18 17.6%	22 21.6%	3 2.9%	2 2.0%	11 10.8%	1 1.0%	102	58	160	
60～69歳	10 11.9%	12 14.3%	5 6.0%	8 9.5%	1 1.2%	18 21.4%	5 6.0%	14 16.7%	11 13.1%	3 3.6%	1 1.2%	15 17.9%	2 2.4%	84	58	142	
70歳以上	2 15.4%	3 23.1%	1 7.7%	4 30.8%	1 7.7%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	13	14	27	

問 13.あなたは、男性も女性も働きやすい社会にするためには、どんなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

男性も女性も働きやすい社会にするために必要なことでは、「労働時間の短縮や休日の増加等、働きやすい労働条件の普及」が 59.4%と最も多く、次いで「育児・介護のための休暇制度の充実と、休暇制度を取得しやすい環境の整備」が 48.8%、「育児・介護休業中の賃金など、経済的保障の充実」が 45.5%となっています。

性別でみると、「労働時間の短縮や休日の増加等、働きやすい労働条件の普及」が男性 60.8%、女性 58.7%とそれぞれ最も多く、次いで男性は「育児・介護休業中の賃金など、経済的保障の充実」が 43.1%、女性は「育児・介護のための休暇制度の充実と、休暇制度を取得しやすい環境の整備」が 54.1%となっています。

年齢別でみると、「労働時間の短縮や休日の増加等、働きやすい労働条件の普及」が 30 歳代で 73.9%、20 歳代で 65.1%と多くなっています。



項目	票数	比率
労働時間の短縮や休日の増加等、働きやすい労働条件の普及	419	59.4%
保育施設や介護のための施設・サービスの充実	318	45.1%
育児・介護のための休暇制度の充実と、休暇制度を取得しやすい環境の整備	344	48.8%
育児・介護休業中の賃金など、経済的保障の充実	321	45.5%
出産・介護などで退職した女性に対する再雇用制度の充実	284	40.3%
昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件面での男女間格差の是正	205	29.1%
各種研修や職業訓練などの機会の充実	71	10.1%
フレックスタイム制や在宅勤務制度などの柔軟な勤務制度の導入促進	223	31.6%
起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制の強化	69	9.8%
その他	11	1.6%
無回答	43	6.1%
回答数	705	

【性・年齢別】

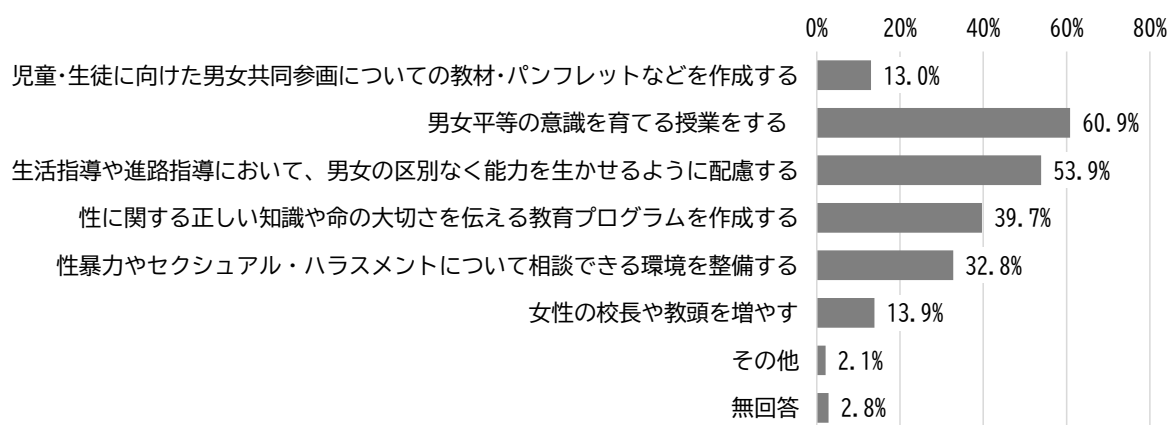
項目	等、働きやすい労働時間の短縮や休日の増加	保育施設や介護のための施設・サービスの充実	取得しやすい休暇制度の整備	育児・介護のための休暇制度の充実	経済的・介護休業中の賃金など、育児・介護の充実	出産・介護などで退職した女性に対する再雇用制度の充実	是正	昇進・昇格や賃金、仕事内容など労働条件での男女間格差の是正	各種研修や職業訓練などの機会の充実	制度などの柔軟な勤務制度の導入促進	フレックスタイム制や在宅勤務制などの柔軟な勤務制度の導入促進	起業に対する相談窓口の設置など行政のサポート体制の強化	その他	無回答	回答数
全体	419 59.4%	318 45.1%	344 48.8%	321 45.5%	284 40.3%	205 29.1%	71 10.1%	223 31.6%	69 9.8%	11 1.6%	43 6.1%	705			
【性別】															
男性	175 60.8%	111 38.5%	119 41.3%	124 43.1%	102 35.4%	84 29.2%	35 12.2%	90 31.3%	37 12.8%	4 1.4%	17 5.9%	288			
女性	242 58.7%	206 50.0%	223 54.1%	194 47.1%	179 43.4%	118 28.6%	36 8.7%	131 31.8%	32 7.8%	7 1.7%	25 6.1%	412			
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1			
【年齢別】															
18・19歳	6 46.2%	2 15.4%	6 46.2%	3 23.1%	5 38.5%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	13			
20～29歳	54 65.1%	40 48.2%	52 62.7%	43 51.8%	39 47.0%	28 33.7%	11 13.3%	35 42.2%	9 10.8%	0 0.0%	3 3.6%	83			
30～39歳	102 73.9%	57 41.3%	70 50.7%	73 52.9%	52 37.7%	53 38.4%	17 12.3%	51 37.0%	19 13.8%	2 1.4%	6 4.3%	138			
40～49歳	77 55.8%	58 42.0%	61 44.2%	58 42.0%	48 34.8%	35 25.4%	13 9.4%	45 32.6%	9 6.5%	4 2.9%	5 3.6%	138			
50～59歳	96 60.0%	70 43.8%	78 48.8%	77 48.1%	72 45.0%	41 25.6%	16 10.0%	45 28.1%	17 10.6%	1 0.6%	9 5.6%	160			
60～69歳	67 47.2%	78 54.9%	65 45.8%	51 35.9%	55 38.7%	34 23.9%	11 7.7%	39 27.5%	10 7.0%	3 2.1%	15 10.6%	142			
70歳以上	16 59.3%	12 44.4%	11 40.7%	14 51.9%	11 40.7%	8 29.6%	2 7.4%	6 22.2%	3 11.1%	0 0.0%	2 7.4%	27			

5. 学校教育について

問 14. 学校教育(小・中学校)のなかで男女平等を進めるための取組みとして、特に何に力を入れるべきだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

学校教育(小・中学校)のなかで男女平等を進めるための取組みとして、特に何に力を入れるべきことでは、「男女平等の意識を育てる授業をする」が 60.9%と最も多く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」が 53.9%、「性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する」が 39.7%となっています。

性別で見ると、男女とも「男女平等の意識を育てる授業をする」が最も多く、次いで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する」となっており、その割合もほぼ同様ですが、第3位の「性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する」については、男性が 34.7%であるのに対し、女性は 43.4%と 8.7 ポイント女性が多くなっています。



項目	票数	比率
児童・生徒に向けた男女共同参画についての教材・パンフレットなどを作成する	92	13.0%
男女平等の意識を育てる授業をする	429	60.9%
生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるように配慮する	380	53.9%
性に関する正しい知識や命の大切さを伝える教育プログラムを作成する	280	39.7%
性暴力やセクシュアル・ハラスメントについて相談できる環境を整備する	231	32.8%
女性の校長や教頭を増やす	98	13.9%
その他	15	2.1%
無回答	20	2.8%
回答数	705	

【性・年齢別】

項目	レ ッ ト な ど を 作 成 す る	児 童 ・ 生 徒 に 向 け た 男 女 共 同	男 女 平 等 の 意 識 を 育 て る 授 業	か せ る よ う に 配 慮 す る	生 活 指 導 や 進 路 指 導 に お い し	大 切 さ を 伝 え る 教 育 プ ロ グ ラ ム を 作 成 す る	性 に 関 す る 正 し い 知 識 や 命 の 重 さ を 伝 え る	環 境 を 整 備 す る	性 暴 力 や セ ク シ ユ ア ル ・ ハ ラ ス メ ン ト に つ い て 相 談 で き る	女 性 の 校 長 や 教 頭 を 増 や す	そ の 他	無 回 答	回 答 数
全体	92 13.0%	429 60.9%	380 53.9%	280 39.7%	231 32.8%	98 13.9%	15 2.1%	20 2.8%	705				
【性別】													
男性	34 11.8%	175 60.8%	155 53.8%	100 34.7%	89 30.9%	32 11.1%	5 1.7%	5 1.7%	288				
女性	56 13.6%	251 60.9%	222 53.9%	179 43.4%	141 34.2%	65 15.8%	10 2.4%	15 3.6%	412				
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1				
【年齢別】													
18・19歳	1 7.7%	8 61.5%	7 53.8%	6 46.2%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	13				
20～29歳	13 15.7%	35 42.2%	38 45.8%	44 53.0%	40 48.2%	12 14.5%	1 1.2%	0 0.0%	83				
30～39歳	19 13.8%	87 63.0%	75 54.3%	62 44.9%	49 35.5%	24 17.4%	4 2.9%	3 2.2%	138				
40～49歳	9 6.5%	87 63.0%	76 55.1%	47 34.1%	38 27.5%	18 13.0%	6 4.3%	3 2.2%	138				
50～59歳	24 15.0%	103 64.4%	82 51.3%	63 39.4%	57 35.6%	21 13.1%	2 1.3%	5 3.1%	160				
60～69歳	23 16.2%	89 62.7%	84 59.2%	52 36.6%	34 23.9%	17 12.0%	1 0.7%	5 3.5%	142				
70歳以上	2 7.4%	18 66.7%	16 59.3%	6 22.2%	8 29.6%	4 14.8%	1 3.7%	3 11.1%	27				

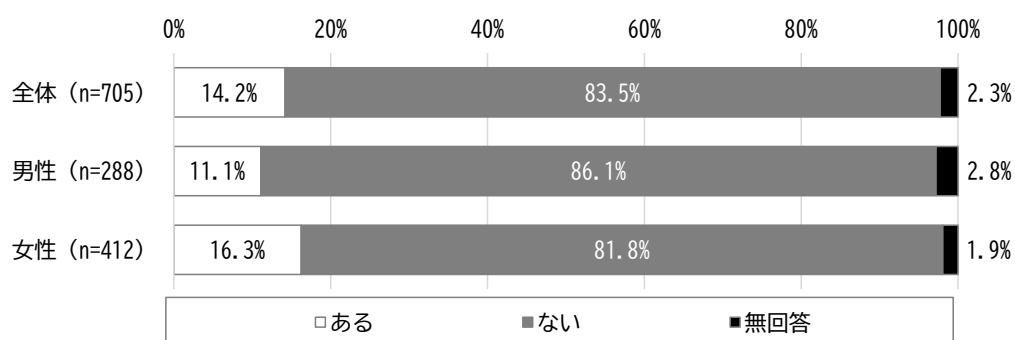
6. DV、セクシュアル・ハラスメント等について

問 15.あなたは、問 15-1 の選択肢が示す暴力的な行為を受けた経験はありますか。次の中から1つ選んでください。

暴力的な行為を受けた経験があるかでは、「ある」が 14.2%、「ない」が 83.5%となっています。

性別でみると、「ある」は男性 11.1%、女性 16.3%、「ない」は男性 86.1%、女性 81.8%となっています。

年齢別でみると、「ある」は 40 歳代(19.6%)と 50 歳代(18.1%)で多くなっています。



【性・年齢別】

項目	ある	ない	無回答	合計
全体	100	589	16	705
	14.2%	83.5%	2.3%	100.0%
【性別】				
男性	32	248	8	288
	11.1%	86.1%	2.8%	100.0%
女性	67	337	8	412
	16.3%	81.8%	1.9%	100.0%
その他	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
【年齢別】				
18・19歳	2	11	0	13
	15.4%	84.6%	0.0%	100.0%
20～29歳	11	72	0	83
	13.3%	86.7%	0.0%	100.0%
30～39歳	18	117	3	138
	13.0%	84.8%	2.2%	100.0%
40～49歳	27	111	0	138
	19.6%	80.4%	0.0%	100.0%
50～59歳	29	129	2	160
	18.1%	80.6%	1.3%	100.0%
60～69歳	11	122	9	142
	7.7%	85.9%	6.3%	100.0%
70歳以上	2	23	2	27
	7.4%	85.2%	7.4%	100.0%

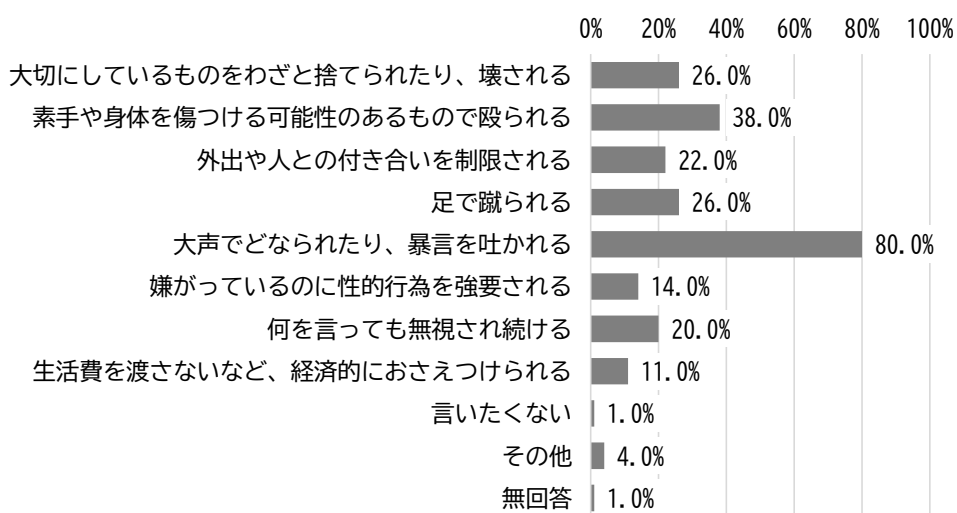
問15で「ある」と回答した方

問15-1.それはどのようなことでしたか。差し支えなければ、受けたことがあるものを次の中からいくつでも選んでください。

暴力的な行為では、「大声でどなられたり、暴言を吐かれる」が80.0%と最も多く、次いで「素手や身体を傷つける可能性のあるもので殴られる」が38.0%、「大切にしているものをわざと捨てられたり、壊される」「足で蹴られる」がともに26.0%となっています。

性別で見ると、「大声でどなられたり、暴言を吐かれる」が男性78.1%、女性80.6%でそれぞれ最も多く、次いで男性は「素手や身体を傷つける可能性のあるもので殴られる」「何を言っても無視され続ける」がともに31.3%、女性は「素手や身体を傷つける可能性のあるもので殴られる」が41.8%となっています。

年齢別で見ると、全てのことについて20歳代以上の年代の中で30歳代の回答が、1位または2位となっています。



項目	票数	比率
大切にしているものをわざと捨てられたり、壊される	26	26.0%
素手や身体を傷つける可能性のあるもので殴られる	38	38.0%
外出や人との付き合いを制限される	22	22.0%
足で蹴られる	26	26.0%
大声でどなられたり、暴言を吐かれる	80	80.0%
嫌がっているのに性的行為を強要される	14	14.0%
何を言っても無視され続ける	20	20.0%
生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	11	11.0%
言いたくない	1	1.0%
その他	4	4.0%
無回答	1	1.0%
回答数	100	
非該当	605	
合計	705	

【性・年齢別】

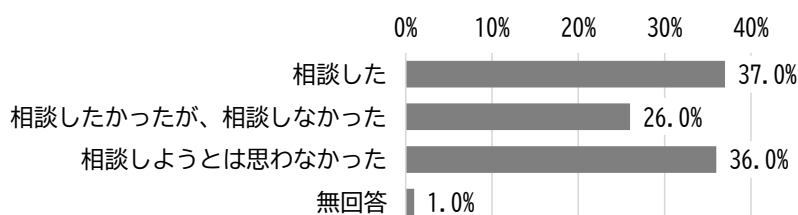
項目	捨てられたり、壊される	大切にしているものをわざと	素手や身体を傷つける可能性のあるもので殴られる	外出や人との付き合いを制限される	足で蹴られる	吐かれる	大声でどなられたり、暴言を	強要される	嫌がっているのに性的行為を	何を言っても無視され続ける	的におさえつけられる	生活費を渡さないなど、経済	言いたくない	その他	無回答	回答数	非該当	合計
全体	26	38	22	26	80	14	20	11	1	4	1	100	605	705				
	26.0%	38.0%	22.0%	26.0%	80.0%	14.0%	20.0%	11.0%	1.0%	4.0%	1.0%							
【性別】																		
男性	9	10	2	8	25	0	10	2	0	0	1	32	256	288				
	28.1%	31.3%	6.3%	25.0%	78.1%	0.0%	31.3%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%							
女性	16	28	20	18	54	13	10	9	1	4	0	67	345	412				
	23.9%	41.8%	29.9%	26.9%	80.6%	19.4%	14.9%	13.4%	1.5%	6.0%	0.0%							
その他	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1				
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
【年齢別】																		
18・19歳	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	11	13				
	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
20～29歳	1	4	1	5	9	0	1	0	0	0	1	11	72	83				
	9.1%	36.4%	9.1%	45.5%	81.8%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%							
30～39歳	8	11	5	8	18	9	4	5	0	1	0	18	120	138				
	44.4%	61.1%	27.8%	44.4%	100.0%	50.0%	22.2%	27.8%	0.0%	5.6%	0.0%							
40～49歳	8	7	8	6	21	5	5	3	0	2	0	27	111	138				
	29.6%	25.9%	29.6%	22.2%	77.8%	18.5%	18.5%	11.1%	0.0%	7.4%	0.0%							
50～59歳	5	10	5	5	21	0	9	1	1	1	0	29	131	160				
	17.2%	34.5%	17.2%	17.2%	72.4%	0.0%	31.0%	3.4%	3.4%	3.4%	0.0%							
60～69歳	3	5	2	1	9	0	0	1	0	0	0	11	131	142				
	27.3%	45.5%	18.2%	9.1%	81.8%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%							
70歳以上	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2	25	27				
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%							

問15で「ある」と回答した方

問15-2.あなたは、これまでに受けたそのような行為を誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。次の中から1つ選んでください。

これまでに受けたそのような行為を誰かに打ち明けたり相談したかでは、「相談した」が37.0%、「相談したかったが、相談しなかった」が26.0%、「相談しようとは思わなかった」が36.0%となっています。

性別で見ると、「相談した」は男性が12.5%に対して女性は49.3%、「相談しようとは思わなかった」は男性53.1%に対し女性は26.9%と、男女の差が大きくなっています。



項目	票数	構成比
相談した	37	37.0%
相談したかったが、相談しなかった	26	26.0%
相談しようとは思わなかった	36	36.0%
無回答	1	1.0%
回答数	100	100.0%
非該当	605	
合計	705	

【性・年齢別】

項目	相談した	相談したかったが、相談しなかった	相談しようとは思わなかった	無回答	回答数	非該当	合計
全体	37 37.0%	26 26.0%	36 36.0%	1 1.0%	100 100.0%	605	705
【性別】							
男性	4 12.5%	10 31.3%	17 53.1%	1 3.1%	32 100.0%	256	288
女性	33 49.3%	16 23.9%	18 26.9%	0 0.0%	67 100.0%	345	412
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0	1
【年齢別】							
18・19歳	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	11	13
20～29歳	3 27.3%	3 27.3%	5 45.5%	0 0.0%	11 100.0%	72	83
30～39歳	10 55.6%	4 22.2%	4 22.2%	0 0.0%	18 100.0%	120	138
40～49歳	9 33.3%	9 33.3%	9 33.3%	0 0.0%	27 100.0%	111	138
50～59歳	9 31.0%	8 27.6%	12 41.4%	0 0.0%	29 100.0%	131	160
60～69歳	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	11 100.0%	131	142
70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	25	27

問 15-2 で「相談した」と回答した方

問 15-3 誰(どこ)に相談しましたか。次の中からいくつでも選んでください。

誰(どこ)に相談したかでは、「友人・知人」が 37 件中 23 件と最も多く、次いで「家族」が 21 件となっています。

【性・年齢別】

項目	家族	友人・知人	警察	市の相談窓口	弁護士	医師・カウンセラー	その他	無回答	回答数	非該当	合計
全体	21 56.8%	23 62.2%	2 5.4%	1 2.7%	1 2.7%	2 5.4%	3 8.1%	2 5.4%	37	668	705
【性別】											
男性	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	4	284	288
女性	20 60.6%	21 63.6%	2 6.1%	1 3.0%	1 3.0%	2 6.1%	2 6.1%	2 6.1%	33	379	412
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	1	1
【年齢別】											
18・19歳	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	12	13
20～29歳	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	3	80	83
30～39歳	6 60.0%	6 60.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	10	128	138
40～49歳	6 66.7%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	9	129	138
50～59歳	4 44.4%	7 77.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	9	151	160
60～69歳	4 80.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	137	142
70歳以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	27	27

※回答数が少ない為、表のみ掲載

問 15-2 で「相談したかったが、相談しなかった」または「相談しようとは思わなかった」と回答した方

問 15-4.相談しなかったのはどうしてですか。あてはまるものを全て選んでください。

相談しなかった理由では、「相談しても無駄だと思ったから」が 62 件中 32 件(51.6%)と最も多く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思ったから」が 21 件(33.9%)、「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」が 18 件(29.0%)となっています。

性別で見ると、男性は「相談しても無駄だと思ったから」が 51.9%と最も多く、次いで「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」が 40.7%となっています。女性は「相談しても無駄だと思ったから」が 50.0%と最も多く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思ったから」が 32.4%となっています。

年齢別で見ると、「相談しても無駄だと思ったから」が 20 歳代で 90%近くの回答となっています。

項目	票数	比率
誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから	18	29.0%
恥ずかしいと思ったから	5	8.1%
相談しても無駄だと思ったから	32	51.6%
相談したことがわかると、仕返しやもっとひどい暴力などを受けると思ったから	12	19.4%
相談相手(担当者)の言動により不快な思いをすと思ったから	5	8.1%
自分さえ我慢すればよいと思ったから	21	33.9%
世間体が悪いから	6	9.7%
他人を巻き込みたくなかったから	5	8.1%
子どもや親族に危害が及ぶと思ったから	4	6.5%
そのことについて思い出したくなかったから	5	8.1%
自分にも悪いところがあると思ったから	14	22.6%
相談するほどのことではないと思ったから	11	17.7%
その他	3	4.8%
無回答	0	0.0%
回答数	62	
非該当	643	
合計	705	

※回答者数が少ない為、表のみ掲載

【性・年齢別】

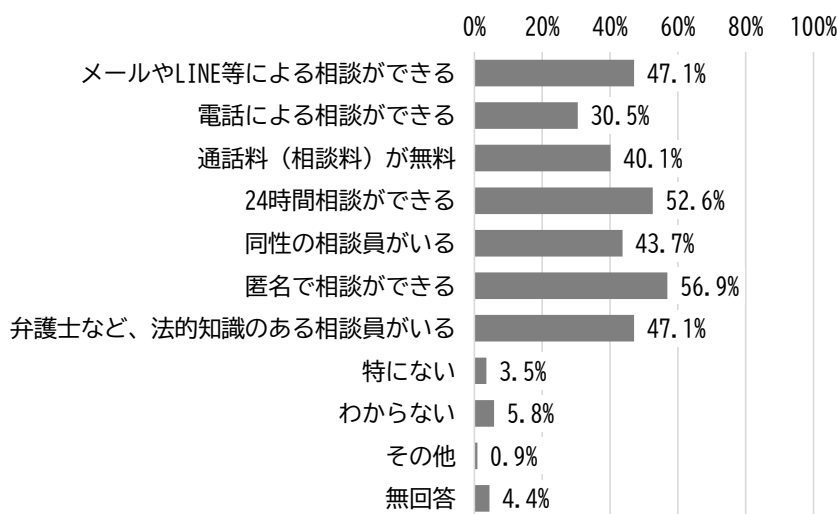
項目	誰か(どこ)に相談してよいから	恥ずかしいと思つたから	相談しても無駄だと思つたから	仕返しやもつとひどい暴力などを受けると思つたから	相談したことがわかると、相談したくないと思つたから	相談相手(担当者)の言動により不快な思いをすることを恐る	自分さえ我慢すればよいと思つたから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかつたから	子どもや親族に危害が及ぶと思つたから	そのことについて思い出しなくなつたから	自分にも悪いところがある	相談するほどのことではな	その他	無回答	回答数	非該当	合計
	全体	18 29.0%	5 8.1%	32 51.6%	12 19.4%	5 8.1%	21 33.9%	6 9.7%	5 8.1%	4 6.5%	5 8.1%	14 22.6%	11 17.7%	3 4.8%	0 0.0%	62	643	705
【性別】																		
男性	11 40.7%	3 11.1%	14 51.9%	9 33.3%	3 11.1%	10 37.0%	4 14.8%	3 11.1%	2 7.4%	1 3.7%	9 33.3%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	27	261	288	
女性	7 20.6%	2 5.9%	17 50.0%	3 8.8%	2 5.9%	11 32.4%	2 5.9%	2 5.9%	2 5.9%	4 11.8%	4 11.8%	6 17.6%	2 5.9%	0 0.0%	34	378	412	
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	0	1	
【年齢別】																		
18・19歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	1	12	13
20～29歳	1 12.5%	2 25.0%	7 87.5%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	8	75	83	
30～39歳	3 37.5%	0 0.0%	4 50.0%	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	8	130	138	
40～49歳	7 38.9%	0 0.0%	9 50.0%	4 22.2%	1 5.6%	5 27.8%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	18	120	138	
50～59歳	5 25.0%	3 15.0%	10 50.0%	4 20.0%	3 15.0%	9 45.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	4 20.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	20	140	160	
60～69歳	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5	137	142	
70歳以上	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2	25	27	

問 16.あなたは、DVに関する悩みなどの相談窓口でどのような配慮してほしいと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

DVに関する悩みなどの相談窓口で配慮してほしいことでは、「匿名で相談ができる」が56.9%と最も多く、次いで「24時間相談ができる」が52.6%、「メールやLINE等による相談ができる」「弁護士など、法的知識のある相談員がいる」がともに47.1%となっています。

性別で見ると、男性は「匿名で相談ができる」が50.3%と最も多く、次いで「24時間相談ができる」が47.6%、「メールやLINE等による相談ができる」が46.5%となっています。女性は「匿名で相談ができる」が61.2%と最も多く、次いで「24時間相談ができる」が56.1%、「弁護士など、法的知識のある相談員がいる」が50.7%となっています。

年齢別で見ると、「同性の相談員がいる」、「メールやLINE等による相談ができる」は年齢と共に少なくなる傾向にあります。



項目	票数	比率
メールやLINE等による相談ができる	332	47.1%
電話による相談ができる	215	30.5%
通話料(相談料)が無料	283	40.1%
24時間相談ができる	371	52.6%
同性の相談員がいる	308	43.7%
匿名で相談ができる	401	56.9%
弁護士など、法的知識のある相談員がいる	332	47.1%
特にない	25	3.5%
わからない	41	5.8%
その他	6	0.9%
無回答	31	4.4%
回答数	705	

【性・年齢別】

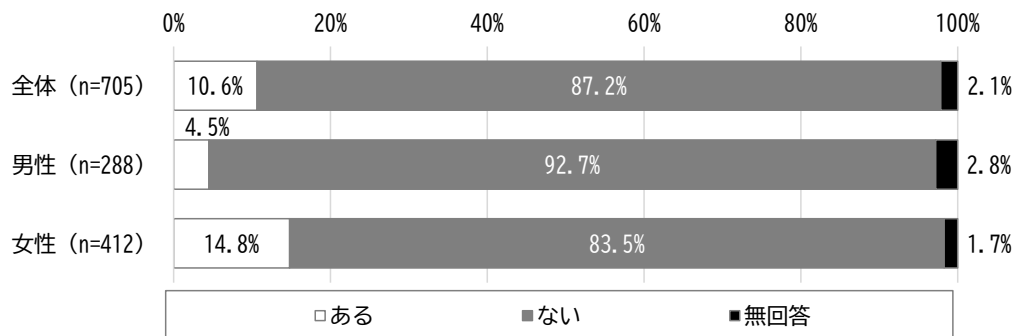
項目	メールやLINE等による相談ができる	電話による相談ができる	通話料（相談料）が無料	24時間相談ができる	同性の相談員がいる	匿名で相談ができる	弁護士など、法的知識のある相談員がいる	特にない	わからない	その他	無回答	回答数
全体	332 47.1%	215 30.5%	283 40.1%	371 52.6%	308 43.7%	401 56.9%	332 47.1%	25 3.5%	41 5.8%	6 0.9%	31 4.4%	705
【性別】												
男性	134 46.5%	93 32.3%	107 37.2%	137 47.6%	100 34.7%	145 50.3%	121 42.0%	15 5.2%	22 7.6%	0 0.0%	15 5.2%	288
女性	195 47.3%	121 29.4%	174 42.2%	231 56.1%	205 49.8%	252 61.2%	209 50.7%	10 2.4%	18 4.4%	6 1.5%	16 3.9%	412
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
【年齢別】												
18・19歳	6 46.2%	3 23.1%	6 46.2%	7 53.8%	8 61.5%	8 61.5%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	13
20～29歳	54 65.1%	23 27.7%	30 36.1%	49 59.0%	45 54.2%	46 55.4%	37 44.6%	1 1.2%	6 7.2%	2 2.4%	2 2.4%	83
30～39歳	76 55.1%	41 29.7%	62 44.9%	87 63.0%	70 50.7%	83 60.1%	71 51.4%	4 2.9%	4 2.9%	2 1.4%	9 6.5%	138
40～49歳	75 54.3%	35 25.4%	61 44.2%	69 50.0%	64 46.4%	86 62.3%	67 48.6%	1 0.7%	11 8.0%	0 0.0%	2 1.4%	138
50～59歳	79 49.4%	63 39.4%	67 41.9%	89 55.6%	67 41.9%	103 64.4%	75 46.9%	7 4.4%	3 1.9%	1 0.6%	6 3.8%	160
60～69歳	36 25.4%	45 31.7%	47 33.1%	58 40.8%	46 32.4%	61 43.0%	69 48.6%	10 7.0%	11 7.7%	0 0.0%	9 6.3%	142
70歳以上	4 14.8%	5 18.5%	9 33.3%	10 37.0%	6 22.2%	11 40.7%	8 29.6%	1 3.7%	4 14.8%	1 3.7%	2 7.4%	27

問 17.あなたは、職場・学校・地域活動(自治会、PTA など)の場で、問 17-1 の(1)から(10)のようなセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)を受けた経験はありますか。の中から1つ選んでください。

職場・学校・地域活動(自治会、PTA など)の場で、セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)を受けた経験があるかでは、「ある」が 10.6%、「ない」が 87.2%となっています。

性別でみると、「ある」は男性 4.5%、女性 14.8%、「ない」は男性 92.7%、女性 83.5%となっています。

年齢別でみると、「ある」は 40 歳代が 18.1%で最も多い年代となっています。



【性・年齢別】

項目	ある	ない	無回答	合計
全体	75 10.6%	615 87.2%	15 2.1%	705 100.0%
【性別】				
男性	13 4.5%	267 92.7%	8 2.8%	288 100.0%
女性	61 14.8%	344 83.5%	7 1.7%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】				
18・19歳	1 7.7%	12 92.3%	0 0.0%	13 100.0%
20～29歳	8 9.6%	75 90.4%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	19 13.8%	115 83.3%	4 2.9%	138 100.0%
40～49歳	25 18.1%	110 79.7%	3 2.2%	138 100.0%
50～59歳	14 8.8%	144 90.0%	2 1.3%	160 100.0%
60～69歳	6 4.2%	131 92.3%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	2 7.4%	24 88.9%	1 3.7%	27 100.0%

問17で「ある」と回答した方

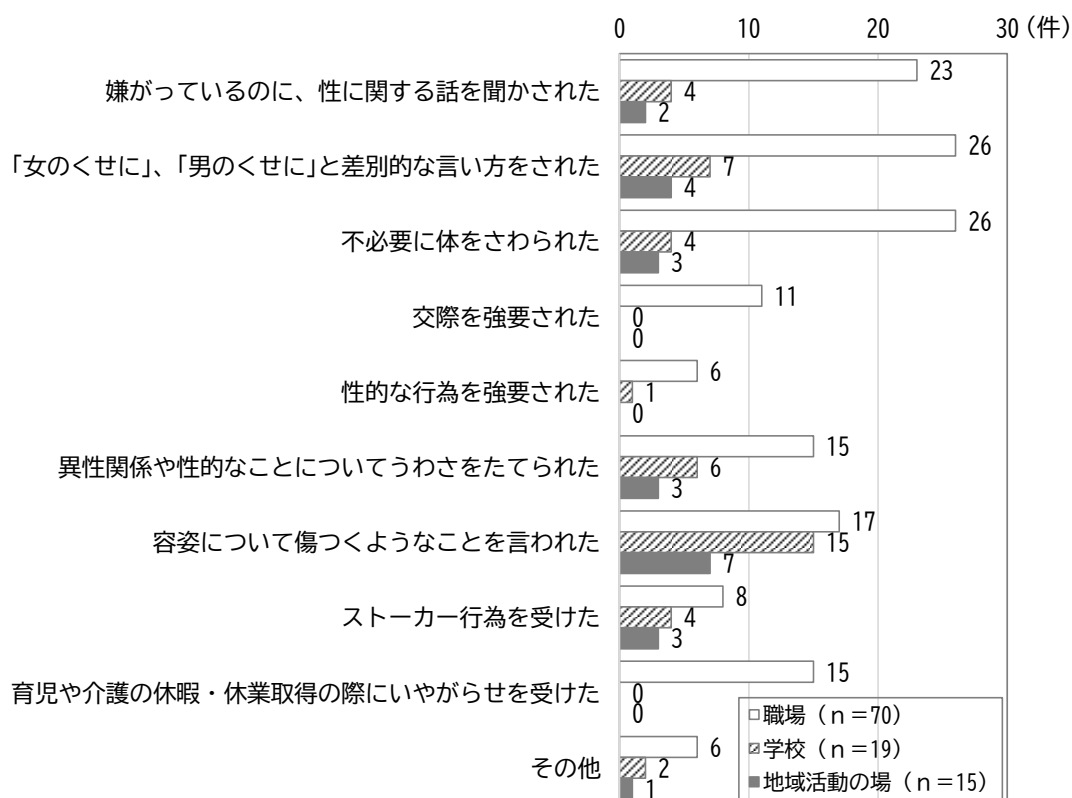
問17-1.それはどのようなことでしたか。差し支えなければ、受けたことがあるものを次の中からいくつでも選んでください。

受けたことがあることでは、「職場」では、「女のくせに」、「男のくせに」と差別的な言い方をされた」「不必要に体をさわられた」がともに70件中26件と多くなっています。

「学校」では、「容姿について傷つくようなことを言われた」が19件中15件と多く、次いで「女のくせに」、「男のくせに」と差別的な言い方をされた」が7件、「異性関係や性的なことについてうわさをたてられた」が6件となっています。

「地域活動の場」では、「容姿について傷つくようなことを言われた」が15件中7件と多く、次いで「女のくせに」、「男のくせに」と差別的な言い方をされた」が4件となっています。

性別でみると、男性について、職場では「女のくせに」、「男のくせに」と差別的な言い方をされた」、学校と地域活動の場では「容姿について傷つくようなことを言われた」が最も多くなっています。女性について、職場では「不必要に体をさわられた」、学校と地域活動の場では「容姿について傷つくようなことを言われた」が最も多くなっています。



※件数表記しています。

【性・年齢別】

■ 職場

項目	に嫌がられたか、性的に話	差別的な言い方をと	「女のくせに」「男のくせに」と	不必要に体をさわ	交際を強要された	性的な行為を強要された	さごとらいたわ	異性関係や性的な	わくようなことを言	容姿について傷つ	受けたカー行為を	けいやがらせを受	けいやがらせを受	育児や介護の休	暇やがら	その他	回答数
全体	23 32.9%	26 37.1%	26 37.1%	26 37.1%	11 15.7%	6 8.6%	15 21.4%	17 24.3%	8 11.4%	15 21.4%	6 8.6%			6 8.6%			70
【性別】																	
男性	4 36.4%	8 72.7%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	4 36.4%	4 36.4%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	11
女性	18 31.0%	18 31.0%	22 37.9%	9 15.5%	4 6.9%	11 19.0%	13 22.4%	6 10.3%	13 22.4%	4 6.9%	1 1.7%	13 22.4%	4 6.9%	13 22.4%	4 6.9%	4 6.9%	58
その他	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
【年齢別】																	
18・19歳	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
20～29歳	3 37.5%	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	8
30～39歳	9 50.0%	4 22.2%	9 50.0%	2 11.1%	0 0.0%	4 22.2%	6 33.3%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	18
40～49歳	6 27.3%	8 36.4%	7 31.8%	2 9.1%	0 0.0%	3 13.6%	5 22.7%	0 0.0%	4 18.2%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	4 18.2%	1 4.5%	1 4.5%	22
50～59歳	3 21.4%	8 57.1%	5 35.7%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	14
60～69歳	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	6
70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1

■ 学校

項目	に嫌がられたか、性的に話	差別的な言い方をと	「女のくせに」「男のくせに」と	不必要に体をさわ	交際を強要された	性的な行為を強要された	さごとらいたわ	異性関係や性的な	わくようなことを言	容姿について傷つ	受けたカー行為を	けいやがらせを受	けいやがらせを受	育児や介護の休	暇やがら	その他	回答数
全体	4 21.1%	7 36.8%	4 21.1%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	6 31.6%	15 78.9%	4 21.1%	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	2 10.5%	19
【性別】																	
男性	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5
女性	4 28.6%	4 28.6%	4 28.6%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%	5 35.7%	11 78.6%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	14
その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0
【年齢別】																	
18・19歳	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1
20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2
30～39歳	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	6 85.7%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7
40～49歳	1 12.5%	4 50.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	8
50～59歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
60～69歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0
70歳以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0

■ 地域活動の場

項目	を聞き取られた話	に嫌がられている話	差別された	「女のくせに」と言われる	「男のくせに」と言われる	不必要に体をさわられた	交際を強要された	性的な行為を強要された	異性関係や性的なことをうわさされた	容姿について傷つけられた	ストーカー行為を受けた	育児や介護の休みにいやがらせを受けた	その他	回答数
全体	2 13.3	4 26.7	3 20.0	0 0.0	0 0.0	3 20.0	7 46.7	3 20.0	0 0.0	1 6.7	15			
【性別】														
男性	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4			
女性	2 20.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	4 40.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	10			
その他	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1			
【年齢別】														
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0			
20～29歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0			
30～39歳	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	6			
40～49歳	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4			
50～59歳	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3			
60～69歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0			
70歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2			

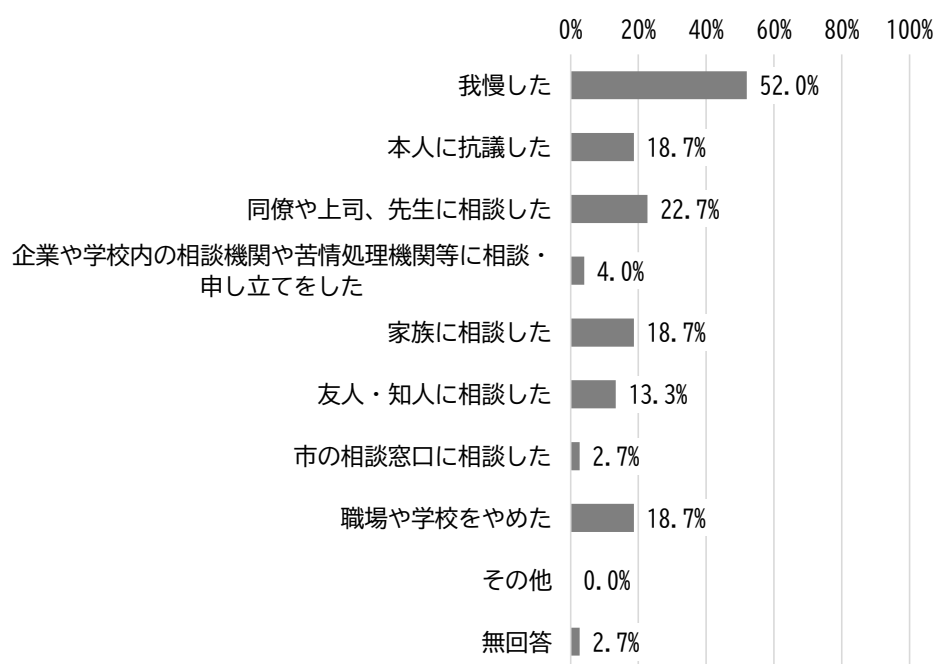
問17で「ある」と回答した方

問17-2.そのことについて、あなたはどうしましたか。あてはまるものを全て選んでください。

そのことについて、どうしたかでは、「我慢した」が52.0%と最も多く、次いで「同僚や上司、先生に相談した」が22.7%、「本人に抗議した」、「家族に相談した」、「職場や学校をやめた」がいずれも18.7%となっています。

性別で見ると、男性は「我慢した」「本人に抗議した」がともに38.5%と最も多く、女性は「我慢した」が54.1%と最も多く、次いで「同僚や上司、先生に相談した」「家族に相談した」がともに23.0%となっています。

年齢別で見ると、全体では18.7%の「職場や学校をやめた」が、20歳代では37.5%、40歳代では35.7%となっています。



項目	票数	比率
我慢した	39	52.0%
本人に抗議した	14	18.7%
同僚や上司、先生に相談した	17	22.7%
企業や学校内の相談機関や苦情処理機関等に相談・申し立てをした	3	4.0%
家族に相談した	14	18.7%
友人・知人に相談した	10	13.3%
市の相談窓口相談した	2	2.7%
職場や学校をやめた	14	18.7%
その他	0	0.0%
無回答	2	2.7%
回答数	75	
非該当	630	
合計	705	

【性・年齢別】

項目	我慢した	本人に抗議した	同僚や上司、先生に相談した	企業や学校内の相談機 関や苦情処理機 関等に 相談・申し立てをした	家族に相談した	友人・知人に相談した	市の相談窓口 に相談した	職場や学校をやめた	その他	無回答	回答数	非該当	合計
全体	39 52.0%	14 18.7%	17 22.7%	3 4.0%	14 18.7%	10 13.3%	2 2.7%	14 18.7%	0 0.0%	2 2.7%	75	630	705
【性別】													
男性	5 38.5%	5 38.5%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	13	275	288
女性	33 54.1%	9 14.8%	14 23.0%	2 3.3%	14 23.0%	9 14.8%	1 1.6%	11 18.0%	0 0.0%	1 1.6%	61	351	412
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	0	1
【年齢別】													
18・19歳	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	12	13
20～29歳	5 62.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	8	75	83
30～39歳	9 47.4%	4 21.1%	6 31.6%	0 0.0%	5 26.3%	4 21.1%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	19	119	138
40～49歳	15 60.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	5 20.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	25	113	138
50～59歳	7 50.0%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	14	146	160
60～69歳	3 50.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6	136	142
70歳以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2	25	27

問 17-2 で「我慢した」と回答した方

問 17-3.その理由は何ですか。あてはまるものを全て選んでください。

我慢した理由では、「嫌とはいえない雰囲気がある」「人間関係が悪くなると困ると思った」がともに 39 件中 20 件と多く、次いで「相手が上司や先生だから」が 10 件となっています。

性別でみると、男性は「嫌とはいえない雰囲気がある」が 5 件中 4 件、女性は「嫌とはいえない雰囲気がある」「人間関係が悪くなると困ると思った」がともに 33 件中 16 件となっています。

【性・年齢別】

項目	嫌とはいえない雰囲気	の抗議は恥ずかしい相談する	思われなくならない	職場や学校、地域に	人間関係が悪くなる	周囲に知られたくない	相手が上司や先生だから	ひりひりすると思つた	仕返しを受けたり、すいめにあつた	相談するところがない	相談するほどつた	その他	回答数	非該当	合計
全体	20 51.3%	2 5.1%	3 7.7%	20 51.3%	6 15.4%	10 25.6%	4 10.3%	5 12.8%	6 15.4%	4 10.3%	39	666	705		
【性別】															
男性	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5	283	288		
女性	16 48.5%	2 6.1%	2 6.1%	16 48.5%	6 18.2%	9 27.3%	3 9.1%	4 12.1%	5 15.2%	4 12.1%	33	379	412		
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1	0	1		
【年齢別】															
18・19歳	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	13	13		
20～29歳	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	5	78	83		
30～39歳	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	9	129	138		
40～49歳	7 46.7%	1 6.7%	1 6.7%	9 60.0%	3 20.0%	4 26.7%	0 0.0%	4 26.7%	1 6.7%	2 13.3%	15	123	138		
50～59歳	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	7	153	160		
60～69歳	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3	139	142		
70歳以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	27	27		

※回答数が少ないため、表のみ掲載

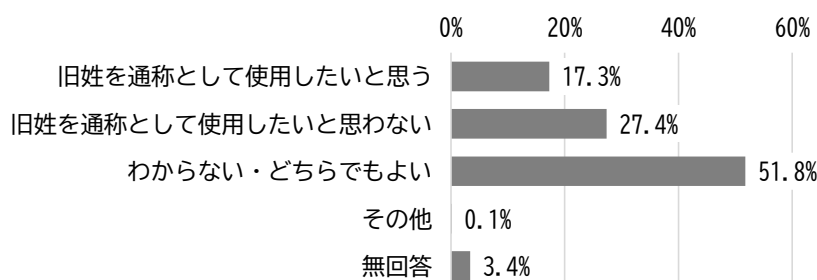
7. 旧姓使用に関する意識について

問 18.あなたは、結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。既婚・未婚に関わらず、次の中から1つ選んでください。

結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思うかでは、「旧姓を通称として使用したいと思う」が 17.3%、「旧姓を通称として使用したいと思わない」が 27.4%、「わからない・どちらでもよい」が 51.8%となっています。

性別でみると、男女とも「わからない・どちらでもよい」が 50%前後で最も多くなっています。

年齢別でみると、「旧姓を通称として使用したいと思う」が 40 歳代で 20%を超えて他の年代よりも多くなっています。



項目	票数	構成比
旧姓を通称として使用したいと思う	122	17.3%
旧姓を通称として使用したいと思わない	193	27.4%
わからない・どちらでもよい	365	51.8%
その他	1	0.1%
無回答	24	3.4%
合計	705	100.0%

【性・年齢別】

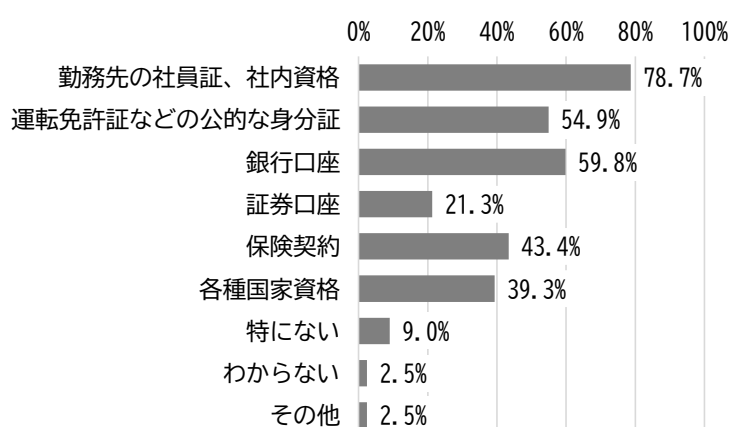
項目	旧姓を通称として使用したいと思う	旧姓を通称として使用したいと思わない	わからない・どちらでもよい	その他	無回答	合計
全体	122 17.3%	193 27.4%	365 51.8%	1 0.1%	24 3.4%	705 100.0%
【性別】						
男性	47 16.3%	66 22.9%	158 54.9%	0 0.0%	17 5.9%	288 100.0%
女性	73 17.7%	126 30.6%	205 49.8%	1 0.2%	7 1.7%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	1 7.7%	3 23.1%	7 53.8%	0 0.0%	2 15.4%	13 100.0%
20～29歳	12 14.5%	12 14.5%	57 68.7%	1 1.2%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	22 15.9%	33 23.9%	78 56.5%	0 0.0%	5 3.6%	138 100.0%
40～49歳	36 26.1%	40 29.0%	60 43.5%	0 0.0%	2 1.4%	138 100.0%
50～59歳	24 15.0%	39 24.4%	92 57.5%	0 0.0%	5 3.1%	160 100.0%
60～69歳	24 16.9%	55 38.7%	57 40.1%	0 0.0%	6 4.2%	142 100.0%
70歳以上	2 7.4%	10 37.0%	12 44.4%	0 0.0%	3 11.1%	27 100.0%

問 18で「旧姓を通称として使用したいと思う」と回答した方

問 18-1.あなたは、どのようなものに旧姓を通称として使用できると良いと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

旧姓を通称として使用できると良いと思うものでは、「勤務先の社員証、社内資格」が78.7%と最も多く、次いで「銀行口座」が59.8%、「運転免許証などの公的な身分証」が54.9%となっています。

性別で見ると、男女とも1～3位は同じですが、「銀行口座」は女性が男性よりも13.3ポイント多くなっています。



項目	票数	比率
勤務先の社員証、社内資格	96	78.7%
運転免許証などの公的な身分証	67	54.9%
銀行口座	73	59.8%
証券口座	26	21.3%
保険契約	53	43.4%
各種国家資格	48	39.3%
特にない	11	9.0%
わからない	3	2.5%
その他	3	2.5%
無回答	0	0.0%
回答数	122	
非該当	583	
合計	705	

【性・年齢別】

項目	勤務先の社員証、社内資格	運転免許証などの公的な身分証	銀行口座	証券口座	保険契約	各種国家資格	特にない	わからない	その他	回答数	非該当	合計
全体	96 78.7%	67 54.9%	73 59.8%	26 21.3%	53 43.4%	48 39.3%	11 9.0%	3 2.5%	3 2.5%	122	583	705
【性別】												
男性	35 74.5%	30 63.8%	24 51.1%	14 29.8%	19 40.4%	20 42.6%	6 12.8%	2 4.3%	1 2.1%	47	241	288
女性	59 80.8%	35 47.9%	47 64.4%	11 15.1%	32 43.8%	26 35.6%	5 6.8%	1 1.4%	2 2.7%	73	339	412
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	0	1
【年齢別】												
18・19歳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	12	13
20～29歳	10 83.3%	6 50.0%	8 66.7%	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	12	71	83
30～39歳	20 90.9%	11 50.0%	12 54.5%	3 13.6%	8 36.4%	10 45.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	22	116	138
40～49歳	29 80.6%	23 63.9%	26 72.2%	7 19.4%	18 50.0%	15 41.7%	1 2.8%	1 2.8%	3 8.3%	36	102	138
50～59歳	19 79.2%	13 54.2%	14 58.3%	7 29.2%	11 45.8%	8 33.3%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	24	136	160
60～69歳	16 66.7%	12 50.0%	10 41.7%	6 25.0%	7 29.2%	9 37.5%	4 16.7%	1 4.2%	0 0.0%	24	118	142
70歳以上	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2	25	27

8. 防災・避難について

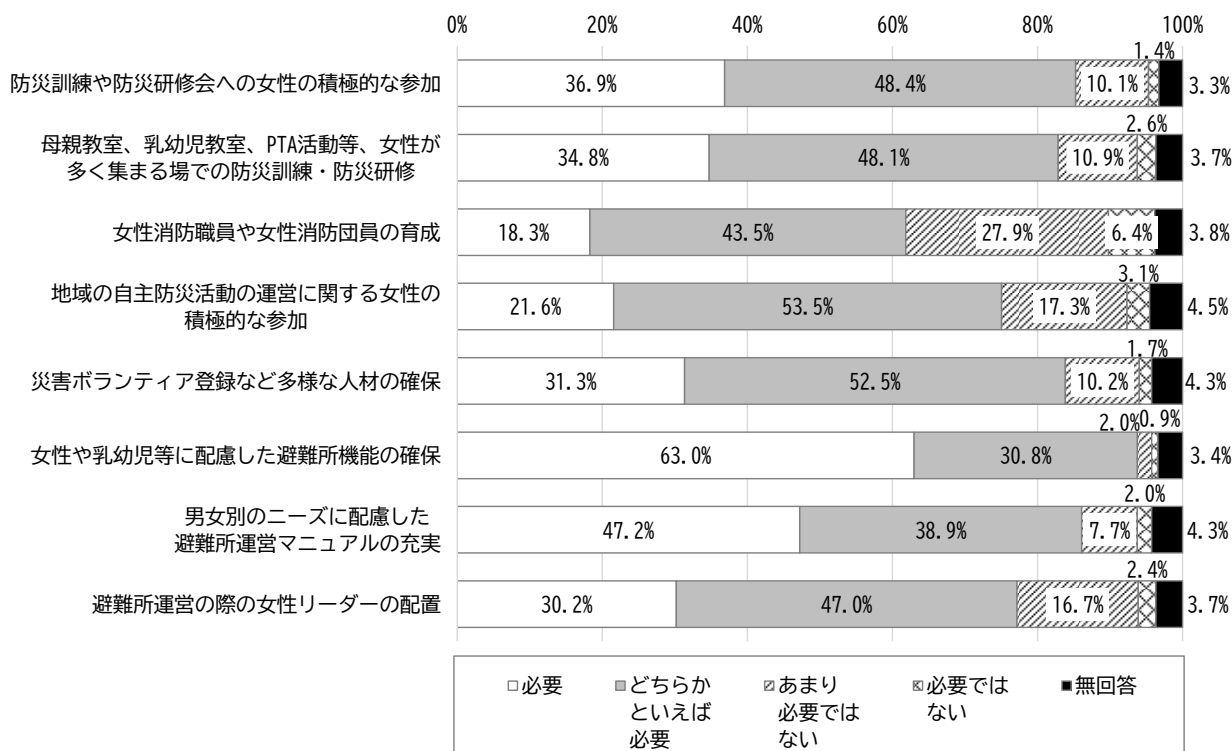
問 19.災害発生に伴う避難について女性の視点を取り入れ、今後の防災(災害復興も含む)活動に関して男女共同参画を推進していくには、特にどのようなことが必要と考えますか。(防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加)から(避難所運営の際の女性リーダーの配置)について、それぞれ1つ選んでください。

災害発生に伴う避難について女性の視点を取り入れ、今後の防災(災害復興も含む)活動に関して男女共同参画を推進していくために必要なことについて、「必要」「どちらかといえば必要」を合わせた『必要』という回答の項目では、「女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保」が最も多く、次いで「男女別のニーズに配慮した避難所運営マニュアルの充実」、「防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加」となっています。

また、「どちらかといえば必要ではない」「必要ではない」を合わせた『必要ではない』という回答の項目では、「女性消防職員や女性消防団員の育成」が最も多く、次いで「地域の自主防災活動の運営に関する女性の積極的な参加」、「避難所運営の際の女性リーダーの配置」となっています。

性別でみると、「地域の自主防災活動の運営に関する女性の積極的な参加」が『必要』との回答は、男性が79.8%に対し女性は71.6%と8.2ポイントの差がありますが、その他について男女の差は3ポイント未満と小さく、ほぼ同様の回答となっています。

また、年齢による傾向はみられません。



項目	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要では ない	無回答	合計
防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加	260 36.9%	341 48.4%	71 10.1%	10 1.4%	23 3.3%	705 100.0%
母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が 多く集まる場での防災訓練・防災研修	245 34.8%	339 48.1%	77 10.9%	18 2.6%	26 3.7%	705 100.0%
女性消防職員や女性消防団員の育成	129 18.3%	307 43.5%	197 27.9%	45 6.4%	27 3.8%	705 100.0%
地域の自主防災活動の運営に関する女性の 積極的な参加	152 21.6%	377 53.5%	122 17.3%	22 3.1%	32 4.5%	705 100.0%
災害ボランティア登録など多様な人材の確保	221 31.3%	370 52.5%	72 10.2%	12 1.7%	30 4.3%	705 100.0%
女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保	444 63.0%	217 30.8%	14 2.0%	6 0.9%	24 3.4%	705 100.0%
男女別のニーズに配慮した 避難所運営マニュアルの充実	333 47.2%	274 38.9%	54 7.7%	14 2.0%	30 4.3%	705 100.0%
避難所運営の際の女性リーダーの配置	213 30.2%	331 47.0%	118 16.7%	17 2.4%	26 3.7%	705 100.0%

【性・年齢別】

■防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加

項目	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要では ない	無回答	合計
全体	260 36.9%	341 48.4%	71 10.1%	10 1.4%	23 3.3%	705 100.0%
【性別】						
男性	132 45.8%	118 41.0%	29 10.1%	2 0.7%	7 2.4%	288 100.0%
女性	126 30.6%	221 53.6%	42 10.2%	8 1.9%	15 3.6%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	3 23.1%	7 53.8%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	28 33.7%	50 60.2%	4 4.8%	1 1.2%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	47 34.1%	66 47.8%	20 14.5%	1 0.7%	4 2.9%	138 100.0%
40～49歳	49 35.5%	64 46.4%	17 12.3%	4 2.9%	4 2.9%	138 100.0%
50～59歳	63 39.4%	69 43.1%	19 11.9%	4 2.5%	5 3.1%	160 100.0%
60～69歳	61 43.0%	70 49.3%	6 4.2%	0 0.0%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	8 29.6%	13 48.1%	3 11.1%	0 0.0%	3 11.1%	27 100.0%

■母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる場での防災訓練・防災研修

項目	必要	どちらか といえ 必要	あまり 必要で ない	必要で ない	無回答	合計
全体	245 34.8%	339 48.1%	77 10.9%	18 2.6%	26 3.7%	705 100.0%
【性別】						
男性	107 37.2%	131 45.5%	37 12.8%	3 1.0%	10 3.5%	288 100.0%
女性	136 33.0%	207 50.2%	39 9.5%	15 3.6%	15 3.6%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	5 38.5%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	32 38.6%	43 51.8%	7 8.4%	1 1.2%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	43 31.2%	68 49.3%	17 12.3%	5 3.6%	5 3.6%	138 100.0%
40～49歳	48 34.8%	63 45.7%	17 12.3%	7 5.1%	3 2.2%	138 100.0%
50～59歳	55 34.4%	79 49.4%	15 9.4%	4 2.5%	7 4.4%	160 100.0%
60～69歳	53 37.3%	65 45.8%	17 12.0%	0 0.0%	7 4.9%	142 100.0%
70歳以上	8 29.6%	14 51.9%	2 7.4%	1 3.7%	2 7.4%	27 100.0%

■女性消防職員や女性消防団員の育成

項目	必要	どちらか といえ 必要	あまり 必要で ない	必要で ない	無回答	合計
全体	129 18.3%	307 43.5%	197 27.9%	45 6.4%	27 3.8%	705 100.0%
【性別】						
男性	64 22.2%	118 41.0%	84 29.2%	12 4.2%	10 3.5%	288 100.0%
女性	65 15.8%	187 45.4%	112 27.2%	32 7.8%	16 3.9%	412 100.0%
その他	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	3 23.1%	5 38.5%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	17 20.5%	44 53.0%	15 18.1%	7 8.4%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	21 15.2%	56 40.6%	42 30.4%	13 9.4%	6 4.3%	138 100.0%
40～49歳	29 21.0%	60 43.5%	40 29.0%	8 5.8%	1 0.7%	138 100.0%
50～59歳	24 15.0%	78 48.8%	40 25.0%	11 6.9%	7 4.4%	160 100.0%
60～69歳	29 20.4%	52 36.6%	49 34.5%	3 2.1%	9 6.3%	142 100.0%
70歳以上	6 22.2%	11 40.7%	7 25.9%	1 3.7%	2 7.4%	27 100.0%

■地域の自主防災活動の運営に関する女性の積極的な参加

項目	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要では ない	無回答	合計
全体	152 21.6%	377 53.5%	122 17.3%	22 3.1%	32 4.5%	705 100.0%
【性別】						
男性	81 28.1%	149 51.7%	41 14.2%	7 2.4%	10 3.5%	288 100.0%
女性	70 17.0%	225 54.6%	81 19.7%	15 3.6%	21 5.1%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	5 38.5%	6 46.2%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	18 21.7%	49 59.0%	12 14.5%	3 3.6%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	37 26.8%	61 44.2%	28 20.3%	7 5.1%	5 3.6%	138 100.0%
40～49歳	23 16.7%	77 55.8%	29 21.0%	5 3.6%	4 2.9%	138 100.0%
50～59歳	37 23.1%	84 52.5%	26 16.3%	5 3.1%	8 5.0%	160 100.0%
60～69歳	30 21.1%	79 55.6%	23 16.2%	1 0.7%	9 6.3%	142 100.0%
70歳以上	2 7.4%	18 66.7%	4 14.8%	0 0.0%	3 11.1%	27 100.0%

■災害ボランティア登録など多様な人材の確保

項目	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要では ない	無回答	合計
全体	221 31.3%	370 52.5%	72 10.2%	12 1.7%	30 4.3%	705 100.0%
【性別】						
男性	97 33.7%	140 48.6%	36 12.5%	3 1.0%	12 4.2%	288 100.0%
女性	123 29.9%	227 55.1%	36 8.7%	9 2.2%	17 4.1%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	6 46.2%	5 38.5%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	24 28.9%	44 53.0%	10 12.0%	3 3.6%	2 2.4%	83 100.0%
30～39歳	47 34.1%	67 48.6%	14 10.1%	5 3.6%	5 3.6%	138 100.0%
40～49歳	41 29.7%	76 55.1%	16 11.6%	2 1.4%	3 2.2%	138 100.0%
50～59歳	55 34.4%	85 53.1%	13 8.1%	1 0.6%	6 3.8%	160 100.0%
60～69歳	44 31.0%	78 54.9%	13 9.2%	0 0.0%	7 4.9%	142 100.0%
70歳以上	4 14.8%	12 44.4%	6 22.2%	0 0.0%	5 18.5%	27 100.0%

■女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保

項目	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要では ない	無回答	合計
全体	444 63.0%	217 30.8%	14 2.0%	6 0.9%	24 3.4%	705 100.0%
【性別】						
男性	174 60.4%	95 33.0%	7 2.4%	3 1.0%	9 3.1%	288 100.0%
女性	268 65.0%	120 29.1%	7 1.7%	3 0.7%	14 3.4%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	10 76.9%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	52 62.7%	29 34.9%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	99 71.7%	27 19.6%	4 2.9%	2 1.4%	6 4.3%	138 100.0%
40～49歳	96 69.6%	34 24.6%	3 2.2%	1 0.7%	4 2.9%	138 100.0%
50～59歳	102 63.8%	49 30.6%	3 1.9%	2 1.3%	4 2.5%	160 100.0%
60～69歳	78 54.9%	57 40.1%	2 1.4%	0 0.0%	5 3.5%	142 100.0%
70歳以上	6 22.2%	17 63.0%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%	27 100.0%

■男女別のニーズに配慮した避難所運営マニュアルの充実

項目	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要では ない	無回答	合計
全体	333 47.2%	274 38.9%	54 7.7%	14 2.0%	30 4.3%	705 100.0%
【性別】						
男性	126 43.8%	122 42.4%	23 8.0%	8 2.8%	9 3.1%	288 100.0%
女性	205 49.8%	151 36.7%	30 7.3%	6 1.5%	20 4.9%	412 100.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	4 30.8%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	44 53.0%	30 36.1%	6 7.2%	3 3.6%	0 0.0%	83 100.0%
30～39歳	71 51.4%	48 34.8%	8 5.8%	5 3.6%	6 4.3%	138 100.0%
40～49歳	73 52.9%	50 36.2%	12 8.7%	1 0.7%	2 1.4%	138 100.0%
50～59歳	75 46.9%	68 42.5%	9 5.6%	3 1.9%	5 3.1%	160 100.0%
60～69歳	59 41.5%	59 41.5%	11 7.7%	2 1.4%	11 7.7%	142 100.0%
70歳以上	6 22.2%	12 44.4%	5 18.5%	0 0.0%	4 14.8%	27 100.0%

■避難所運営の際の女性リーダーの配置

項目	必要	どちらか といえ 必要	あまり 必要で はない	必要で はない	無回答	合計
全体	213 30.2%	331 47.0%	118 16.7%	17 2.4%	26 3.7%	705 100.0%
【性別】						
男性	95 33.0%	123 42.7%	53 18.4%	7 2.4%	10 3.5%	288 100.0%
女性	118 28.6%	204 49.5%	65 15.8%	10 2.4%	15 3.6%	412 100.0%
その他	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
【年齢別】						
18・19歳	2 15.4%	8 61.5%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
20～29歳	23 27.7%	43 51.8%	14 16.9%	2 2.4%	1 1.2%	83 100.0%
30～39歳	49 35.5%	57 41.3%	20 14.5%	7 5.1%	5 3.6%	138 100.0%
40～49歳	44 31.9%	55 39.9%	32 23.2%	3 2.2%	4 2.9%	138 100.0%
50～59歳	45 28.1%	84 52.5%	24 15.0%	3 1.9%	4 2.5%	160 100.0%
60～69歳	44 31.0%	67 47.2%	22 15.5%	1 0.7%	8 5.6%	142 100.0%
70歳以上	6 22.2%	14 51.9%	4 14.8%	1 3.7%	2 7.4%	27 100.0%

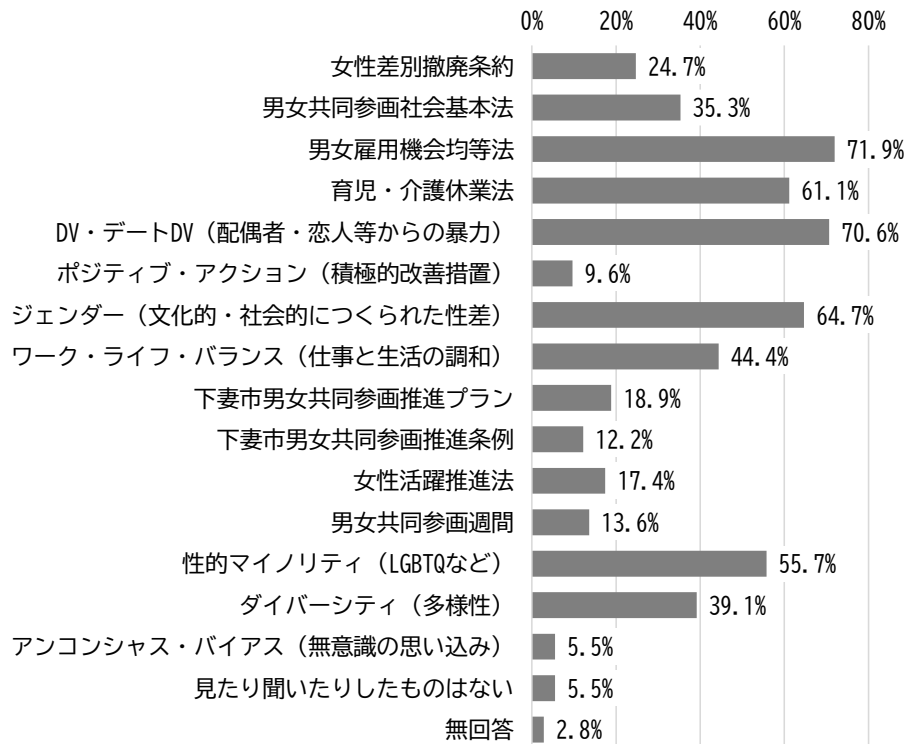
9. 男女共同参画社会について

問 20.あなたは、次にあげた言葉を見たり聞いたりしたことはありますか。見たり聞いたりしたことがあるものを全て選んでください。

見たり聞いたりしたことがあるものでは、「男女雇用機会均等法」が71.9%と最も多く、次いで「DV・デートDV(配偶者・恋人等からの暴力)」が70.6%、「ジェンダー(文化的・社会的につくられた性差)」が64.7%となっています。

性別で見ると、上位3位までの項目は男女同じですが、男性の1位が「男女雇用機会均等法」(70.5%)に対し、女性の1位は「DV・デートDV(配偶者・恋人等からの暴力)」(75.2%)となっています。

年齢別の傾向は顕著ではありませんが、「女性差別撤廃条約」は40歳代以下の年代、「下妻市男女共同参画推進プラン」は40歳代以降の年代が比較的多くなっています。



項目	票数	比率
女性差別撤廃条約	174	24.7%
男女共同参画社会基本法	249	35.3%
男女雇用機会均等法	507	71.9%
育児・介護休業法	431	61.1%
DV・デートDV（配偶者・恋人等からの暴力）	498	70.6%
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	68	9.6%
ジェンダー（文化的・社会的につくられた性差）	456	64.7%
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	313	44.4%
下妻市男女共同参画推進プラン	133	18.9%
下妻市男女共同参画推進条例	86	12.2%
女性活躍推進法	123	17.4%
男女共同参画週間	96	13.6%
性的マイノリティ（LGBTQなど）	393	55.7%
ダイバーシティ（多様性）	276	39.1%
アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）	39	5.5%
見たり聞いたりしたものはない	39	5.5%
無回答	20	2.8%
回答数	705	

【性・年齢別】

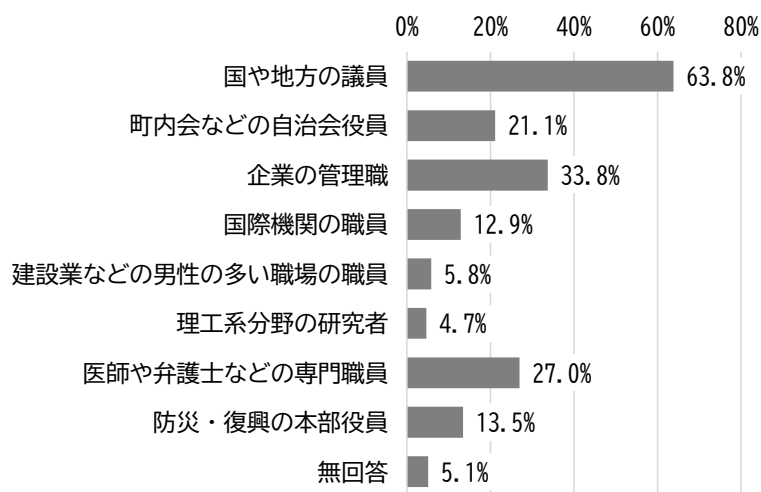
項目	女性差別撤廃条約	男女共同参画社会基本法	男女雇用機会均等法	育児・介護休業法	DV・デートDV（配偶者・恋人等からの暴力）	ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	性差（文化的・社会的につくられた性差）	ジェンダー（仕事と生活の調和）	ワーク・ライフ・バランス	下妻市男女共同参画推進プラン	下妻市男女共同参画推進条例	女性活躍推進法	男女共同参画週間	性的マイノリティ（LGBTQなど）	ダイバーシティ（多様性）	アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）	見たり聞いたりしたものはない	無回答	回答数
全体	174 24.7%	249 35.3%	507 71.9%	431 61.1%	498 70.6%	68 9.6%	456 64.7%	313 44.4%	133 18.9%	86 12.2%	123 17.4%	96 13.6%	393 55.7%	276 39.1%	39 5.5%	39 5.5%	20 2.8%	705	
【性別】																			
男性	59 20.5%	102 35.4%	203 70.5%	158 54.9%	183 63.5%	25 8.7%	166 57.6%	130 45.1%	41 14.2%	34 11.8%	52 18.1%	40 13.9%	147 51.0%	113 39.2%	19 6.6%	23 8.0%	9 3.1%	288	
女性	113 27.4%	144 35.0%	300 72.8%	269 65.3%	310 75.2%	42 10.2%	286 69.4%	179 43.4%	91 22.1%	52 12.6%	71 17.2%	55 13.3%	242 58.7%	159 38.6%	19 4.6%	16 3.9%	11 2.7%	412	
その他	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
【年齢別】																			
18・19歳	6 46.2%	10 76.9%	9 69.2%	8 61.5%	10 76.9%	1 7.7%	10 76.9%	9 69.2%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	1 7.7%	9 69.2%	7 53.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	13	
20～29歳	26 31.3%	44 53.0%	52 62.7%	48 57.8%	63 75.9%	11 13.3%	55 66.3%	40 48.2%	10 12.0%	8 9.6%	12 14.5%	13 15.7%	39 47.0%	27 32.5%	6 7.2%	6 7.2%	1 1.2%	83	
30～39歳	36 26.1%	47 34.1%	94 68.1%	90 65.2%	108 78.3%	14 10.1%	94 68.1%	72 52.2%	19 13.8%	15 10.9%	26 18.8%	18 13.0%	80 58.0%	64 46.4%	14 10.1%	8 5.8%	3 2.2%	138	
40～49歳	39 28.3%	40 29.0%	109 79.0%	77 55.8%	93 67.4%	10 7.2%	102 73.9%	61 44.2%	32 23.2%	18 13.0%	20 14.5%	19 13.8%	85 61.6%	54 39.1%	5 3.6%	7 5.1%	2 1.4%	138	
50～59歳	35 21.9%	49 30.6%	125 78.1%	105 65.6%	118 73.8%	16 10.0%	109 68.1%	71 44.4%	36 22.5%	20 12.5%	32 20.0%	21 13.1%	91 56.9%	71 44.4%	8 5.0%	5 3.1%	3 1.9%	160	
60～69歳	30 21.1%	50 35.2%	99 69.7%	85 59.9%	92 64.8%	14 9.9%	76 53.5%	51 35.9%	30 21.1%	20 14.1%	27 19.0%	22 15.5%	79 55.6%	49 34.5%	6 4.2%	10 7.0%	5 3.5%	142	
70歳以上	1 3.7%	7 25.9%	16 59.3%	15 55.6%	10 37.0%	1 3.7%	7 25.9%	6 22.2%	5 18.5%	5 18.5%	3 11.1%	2 7.4%	7 25.9%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%	5 18.5%	27	

問 21.女性の意見をより反映させるために、女性の参画を進める必要があると考える分野はどれですか。次の中から必要だと思われるものを2つまで選んでください。

女性の意見をより反映させるために、必要があると考える分野では、「国や地方の議員」が63.8%と最も多く、次いで「企業の管理職」が33.8%、「医師や弁護士などの専門職員」が27.0%となっています。

性別で見ると、男性は「国や地方の議員」が60.8%と最も多く、次いで「企業の管理職」が33.3%、「町内会などの自治会役員」が24.0%となっています。女性は「国や地方の議員」が66.3%と最も多く、次いで「企業の管理職」が34.2%、「医師や弁護士などの専門職員」が33.0%となっています。

年齢別では、いずれの分野においても明確な傾向はみられません。



項目	票数	比率
国や地方の議員	450	63.8%
町内会などの自治会役員	149	21.1%
企業の管理職	238	33.8%
国際機関の職員	91	12.9%
建設業などの男性の多い職場の職員	41	5.8%
理工系分野の研究者	33	4.7%
医師や弁護士などの専門職員	190	27.0%
防災・復興の本部役員	95	13.5%
無回答	36	5.1%
回答数	705	

【性・年齢別】

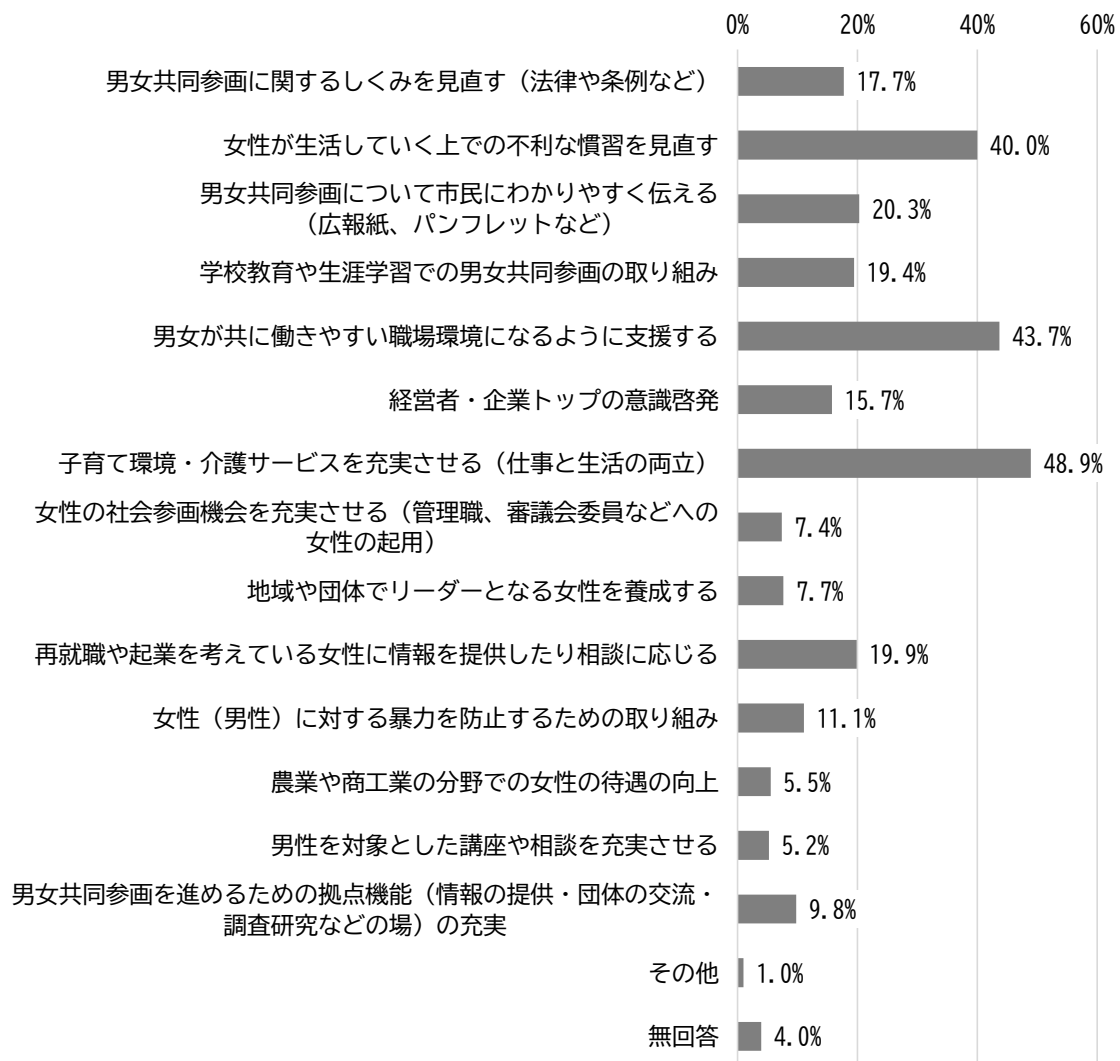
項目	国 や 地 方 の 議 員	自 治 会 会 員 な ど の 役 員	企 業 の 管 理 職	国 際 機 関 の 職 員	建 設 業 の 多 い 職 場 の 職 員	研 究 工 系 分 野 の 職 員	医 師 や 弁 護 士 な ど の 専 門 職 員	本 部 役 員 ・ 復 興 の 職 員	無 回 答	回 答 数
全体	450 63.8%	149 21.1%	238 33.8%	91 12.9%	41 5.8%	33 4.7%	190 27.0%	95 13.5%	36 5.1%	705
【性別】										
男性	175 60.8%	69 24.0%	96 33.3%	33 11.5%	24 8.3%	16 5.6%	52 18.1%	45 15.6%	17 5.9%	288
女性	273 66.3%	78 18.9%	141 34.2%	58 14.1%	16 3.9%	17 4.1%	136 33.0%	49 11.9%	19 4.6%	412
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
【年齢別】										
18・19歳	10 76.9%	2 15.4%	5 38.5%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	13
20～29歳	63 75.9%	16 19.3%	30 36.1%	12 14.5%	4 4.8%	2 2.4%	22 26.5%	4 4.8%	1 1.2%	83
30～39歳	88 63.8%	28 20.3%	52 37.7%	16 11.6%	15 10.9%	12 8.7%	35 25.4%	19 13.8%	6 4.3%	138
40～49歳	95 68.8%	29 21.0%	48 34.8%	17 12.3%	6 4.3%	7 5.1%	35 25.4%	18 13.0%	5 3.6%	138
50～59歳	91 56.9%	36 22.5%	52 32.5%	24 15.0%	6 3.8%	6 3.8%	51 31.9%	21 13.1%	9 5.6%	160
60～69歳	90 63.4%	28 19.7%	44 31.0%	19 13.4%	8 5.6%	5 3.5%	35 24.6%	28 19.7%	12 8.5%	142
70歳以上	12 44.4%	9 33.3%	6 22.2%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	7 25.9%	4 14.8%	2 7.4%	27

問 22.男女共同参画について、下妻市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から重要だと思われるものを3つまで選んでください。

男女共同参画の推進のために、市として力を入れていくべきことでは、「子育て環境・介護サービスを充実させる(仕事と生活の両立)」が 48.9%と最も多く、次いで「男女が共に働きやすい職場環境になるように支援する」が 43.7%、「女性が生活していく上での不利な慣習を見直す」が 40.0%となっています。

性別で見ると、男女とも上位3位までの項目と順位は同じですが、「子育て環境・介護サービスを充実させる(仕事と生活の両立)」は男性 41.0%に対して女性は 54.9%と男性よりも 13.9ポイント多く、「男女が共に働きやすい職場環境になるように支援する」は男性 39.6%に対して女性は 47.1%と男性よりも 7.5ポイント多くなっています。

年齢別で見ると、「女性(男性)に対する暴力を防止するための取り組み」「男性を対象とした講座や相談を充実させる」は、若い年代ほど多くなっています。



項目	票数	比率
男女共同参画に関するしくみを見直す（法律や条例など）	125	17.7%
女性が生活していく上での不利な慣習を見直す	282	40.0%
男女共同参画について市民にわかりやすく伝える（広報紙、パンフレットなど）	143	20.3%
学校教育や生涯学習での男女共同参画の取り組み	137	19.4%
男女が共に働きやすい職場環境になるように支援する	308	43.7%
経営者・企業トップの意識啓発	111	15.7%
子育て環境・介護サービスを充実させる（仕事と生活の両立）	345	48.9%
女性の社会参画機会を充実させる（管理職、審議会委員などへの女性の起用）	52	7.4%
地域や団体にリーダーとなる女性を養成する	54	7.7%
再就職や起業を考えている女性に情報を提供したり相談に応じる	140	19.9%
女性（男性）に対する暴力を防止するための取り組み	78	11.1%
農業や商工業の分野での女性の待遇の向上	39	5.5%
男性を対象とした講座や相談を充実させる	37	5.2%
男女共同参画を進めるための拠点機能（情報の提供・団体の交流・その他）	69	9.8%
その他	7	1.0%
無回答	28	4.0%
回答数	705	

【性・年齢別】

項目	見直す（法律や条例など）	女性が生活していく上での不利な慣習を見直す	（広報紙、パンフレットなど）	男女共同参画の取り組み	学校教育や生涯学習での男女共同参画の取り組み	男女が共に働きやすい職場環境になるように支援する	経営者・企業トップの意識啓発	子育て環境・介護サービスを充実させる（仕事と生活の両立）	女性の社会参画機会を充実させる（管理職、審議会委員などへの女性の起用）	地域や団体にリーダーとなる女性を養成する	再就職や起業を考えている女性に情報を提供したり相談に応じる	女性（男性）に対する暴力を防止するための取り組み	農業や商工業の分野での女性の待遇の向上	男性を対象とした講座や相談を充実させる	男女共同参画を進めるための拠点機能（情報の提供・団体の交流・その他）	無回答	回答数
全体	125 17.7%	282 40.0%	143 20.3%	137 19.4%	308 43.7%	111 15.7%	345 48.9%	52 7.4%	54 7.7%	140 19.9%	78 11.1%	39 5.5%	37 5.2%	69 9.8%	7 1.0%	28 4.0%	705
【性別】																	
男性	65 22.6%	112 38.9%	61 21.2%	53 18.4%	114 39.6%	57 19.8%	118 41.3%	26 9.0%	19 6.6%	40 13.9%	38 13.2%	19 6.6%	14 4.9%	29 10.1%	1 0.3%	14 4.9%	288
女性	59 14.3%	169 41.0%	80 19.4%	83 20.1%	194 47.1%	53 12.9%	226 54.9%	25 6.1%	34 8.3%	98 23.8%	40 9.7%	20 4.9%	23 5.6%	39 9.5%	6 1.5%	13 3.2%	412
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1
【年齢別】																	
18・19歳	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	3 23.1%	5 38.5%	0 0.0%	7 53.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	13
20～29歳	16 19.3%	35 42.2%	12 14.5%	13 15.7%	42 50.6%	8 9.6%	43 51.8%	6 7.2%	4 4.8%	23 27.7%	16 19.3%	3 3.6%	9 10.8%	5 6.0%	2 2.4%	0 0.0%	83
30～39歳	21 15.2%	57 41.3%	21 15.2%	20 14.5%	67 48.6%	19 13.8%	75 54.3%	9 6.5%	13 9.4%	27 19.6%	23 16.7%	9 6.5%	12 8.7%	9 6.5%	2 1.4%	6 4.3%	138
40～49歳	27 19.6%	61 44.2%	22 15.9%	45 32.6%	56 40.6%	29 21.0%	60 43.5%	4 2.9%	12 8.7%	25 18.1%	19 13.8%	9 6.5%	7 5.1%	16 11.6%	2 1.4%	4 2.9%	138
50～59歳	34 21.3%	72 45.0%	36 22.5%	26 16.3%	63 39.4%	27 16.9%	78 48.8%	14 8.8%	12 7.5%	34 21.3%	10 6.3%	9 5.6%	4 2.5%	17 10.6%	0 0.0%	4 2.5%	160
60～69歳	24 16.9%	45 31.7%	37 26.1%	26 18.3%	62 43.7%	23 16.2%	70 49.3%	15 10.6%	10 7.0%	19 13.4%	7 4.9%	7 4.9%	4 2.8%	13 9.2%	1 0.7%	11 7.7%	142
70歳以上	1 3.7%	5 18.5%	12 44.4%	3 11.1%	13 48.1%	4 14.8%	11 40.7%	4 14.8%	2 7.4%	6 22.2%	1 3.7%	2 7.4%	1 3.7%	9 33.3%	0 0.0%	1 3.7%	27

10.自由記述

最後に、男女の平等、男女共同参画社会の実現に向けて、今、何が必要だと思えますか。ご意見をお聞かせください。

主な項目ごとに分類しています。複数の項目にまたがるご意見については、主要な項目に含めて記載しています。

【男女共同参画の意識】に関するもの

- 男女差別は無くなった方が良いが区別はあっても良いと思う。【女性・20～29 歳】
- 男女平等とは性別によって人を判断するものではなく、それぞれ個人が個人の得意なことや、やりたいことが障害や偏見の目を向けられる事なく実現できる事だと思います。力仕事にも女性を、ではなく力仕事で得意な人を自治体の運営に女性の固定籍を、ではなく自治体の運営の手腕が素晴らしい人を誰もが性別の垣根なく、なんの呵責もなく幸せに暮らせることが平等だと私は思います。【女性・20～29 歳】
- 差別と区別の違いと男女を教えるべきだと思います。男性と女性の意見を取り入れるべきです。男性や女性が楽しくできるスポーツを実現した方が、男性が女性に対する偏見がなくなると思いました。学校では、ブラック校則が今も続いています。その中にはセクハラもあると思います。そういうところからなくしていけば男女共同参画社会の実現に向かうと思います。【男性・20～29 歳】
- 問 21(男女共同)参画は進めるべきだが、2(町内会などの自治会役員)以外は各々の能力、資質の問題であり、能力・資質を超えて優遇することは、能力がある者の門扉を狭める行為であり、彼らに対する差別ではないか。問 22・10(再就職や企業を考えている女性に情報を提供したり相談に応じる)について、なぜ女性に限定なのか。男女に門扉を開くのはダメなのか。11(女性(男性)に対する暴力を防止するための取り組み)について、5 番で男女とあるにもかかわらず、男女と書いてはいけない理由があるのか。男女を分けて考えること、女性を特別に扱うことを目標にアンケートをしている時点で男女共同参画について潜在的な差別意識があるように思える。重要なキーワードは適材適所、個の尊重なのではないか。個の意思を尊重すること。個の能力、資質が最大限に生かせるよう、男女、年齢にかかわらず、行政がサポート、支援すべきなのではないだろうか。もちろん、男女、年功序列的な由来の慣習は見直し、柔軟な社会、行政をすべきだ。そのために女性に不利な慣習や若年者が年功序列的な社会におさえられて活躍できないような文化は未来がないから改めなければならない。若年者の意見も風通しよく聞き入れられ、主体的に活躍できる新陳代謝のある街こそが未来のある成長していける街なのではないか。【男性・20～29 歳】
- 法律で男女平等だと言っているのだから平等なんだよ。やられたらやり返す。そうすれば良くなって行くよ。嫌なものは嫌と言う。そうすればそんなもの決めなくともそうなる。国や地方が繁栄する為には、人口を増やす事が一番手っ取り早いと思う。高卒でも出世させる。子育て世帯を増やしたかったら 成功した地域の真似をする。税金を安くしてくれれば住み良い町づくりになるよね。【女性・30～39 歳】
- 問 2 の 2 は、「男性・女性を取り巻く」がより適切な表現に感じます。7 の考え方こそ「男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念」に属するのではないのでしょうか。女性の社会参画と共に男性の家庭生活への参加を問うアンケート項目があってもよかったと思います。(就業関係の男性視点のようなもの)【女性・30～39 歳】

- 世代によって男女平等に関しての認識が異なると感じる。若年層は高齢者世代ほど男女差に敏感ではない(男女差が縮まる、またはなくなりつつある社会がスタンダード)ため、世代別にギャップを埋める方策を変えた方が、効率が良いと考える。古い習慣を語り継ぐような環境を見直すことも必要と思う。(意外に核家族より大家族家庭など)下妻市は他市町村に比べて支援系事業が多少不足していると感じる。特に子育て支援の充実を求める。各保育園の支援センター発足が難しいなら、市管轄(直接)の支援センターが欲しい。育休期間の確保が望めるママが増えること。保育免許保持者の雇用ができる(女性多)などメリットも多い。女性・子にやさしいまちづくりの基盤が見える化できる。子の健診(市主催)で提出する問診票の記入欄にて「子の保育者」の選択肢が「母・祖父母・保育士」のみであった。男女共同参画を謳うためには行政が先立って「父」の選択肢を入れるべき。おそらく過去の慣習のまま変更していないことがあると思うので市民の目に触れる部分は特に見直しをお願いしたい。推進事業と実際の現場との整合性は市民としては、気になるところです。【女性・30～39歳】
- 男女関係なくその人の能力がきちんと評価されれば良いと思います。無理矢理“女性を何人リーダーにしなくてはいけない”と単純に女性であるから昇進したりするのは男女平等ではないと思います。「差別」「区別」を曖昧にせず、男女それぞれの特性などを全ての人が正しく理解できるような指導が必要だと思います。【女性・30～39歳】
- 差別や区別があるからこそ社会は成り立っている。平等な社会ほど違和感がある。回答していて不快になった。【男性・30～39歳】
- 意識改革。【男性・30～39歳】
- 多角的視点からの意見を元に検討するべきである。本アンケートでも「女性が」という前置が多々見受けられ女性に対する意識は十分に感じられるが、反対に男性に対する考え方がないようにも感じる。足並みをそろえるというのは権利を与えるのみでなく、義務も発生することを忘れてはならない。まずは各人の意識を深めるためにも学校教育等で早期に考える機会をつくるべきで。但し、この際に注意すべきこともある。本件に対して教育させる場面において本来教育する内容とは違う思想的なものを説かれてしまう恐れもあることから教育者や講師は良く吟味し、公平な視点で語れるものを選定し保護すべきである。まずは、市民が語り合うための土台を作るべきであり、そこが最も難しいと思う。制度等のフィードバックにはまだまだ遠く今語るべきものではないと考える。【男性・30～39歳】
- 中高年男性の意識改革。【女性・40～49歳】
- 日頃、市民のために様々な取組を考え、実行して下さりありがとうございます。男女平等、男女共同参画について気になることは、女性の管理職登用、男女の募集枠廃止など聞かれるようになったことです。確かに、女性が差別され能力を適正に評価されないことは決して許してはいけません。安易に優遇されることもあってはならないことだと考えています。女性、男性だけでなく、性的マイノリティーの方々など、誰でもが能力を生かせる社会を築いていきたいと思っています。【女性・40～49歳】
- 男女共同参画社会というもの(なにを目指しているのかよくわからない)への正しい理解と一人一人の意識。【男性・40～49歳】
- 古い価値観をもった方の排除をしない限り難しいかと思います。ワイワイドームの活用法を考えるべき。ドライブインシアター・ドライブイン(ドライブスルー)販売所等非接触でできるものを使って対応。何かをする努力をすべきでは。「うえるきつず」の移転に伴い、預けられる時間、曜日が変更され困っています。以前のように戻してほしいです。【男性・40～49歳】
- 現在、多くの自治体が、少子高齢化で急激に変化する中で、自分の老後の不安(社金保障

+年金)などがあります。また、最近では、多様性とかジェンダー平等など耳にする事が多くなりました。すべての人(女性や弱者)が働きやすい社会(職場・家庭・地域・学校)で個人の個性や能力を発揮できる社会になってほしいです。【男性・40～49 歳】

- まずは、男女共に意識を変えていくことが必要だと思う。【女性・50～59 歳】
- 男女平等と言っても、女性が先に立ってリーダーシップを取ったとしてもその人の性格が鼻高になってしまわぬような人なら良いが、女性ってそういう点が誰もがもって生まれた性格があると思いますので、私は男の人が上の方が良いと思っています。【女性・50～59 歳】
- 体のつくり方が違うので平等は出来ないと思っています。地域の企画は女性がするものと思っている男性がいるのでは。税金を納めている年齢層にもう少し目を向けてくれてもいいのではないのでしょうか。高齢者、子育て世代ばかりで税収を納めるのが嫌になる。市長は何をしているかわからない。1票入れたことを悔やみます。消防署の前の一時停止上の文字は必要ないのですか、消えています。【女性・50～59 歳】
- 70 歳以上の男性の女性に対する考え方が 男女共同参画といったことに著しくかけ離れている発言を聞くことが多くあります。例えば森元首相など。市議会においても高齢の男性の議員の方々の意識調査をして、男女共同参画に対して本気で取り組む気持ちがあるのか市民に知らせてほしい。市議会の女性議員の比率を上げられるような制度を作るべきである。優先的に当選させるくらいにしないと比率は上がらない。県西地区は、小中学校の教育活動が県内で最もレベルが低いと言われている。中学校は部活動にばかり力を入れてないで将来の地域社会を支える人々の考え方の構築を担っていることを忘れないでほしい。【女性・50～59 歳】
- 男女平等は必要ですが、無理に女の人を参加させようとするのは違うと思います。その仕事などで実力のある方、男の人、女の人と分けるのではなく、参加はできるよう出来たら良いと思います。【女性・50～59 歳】
- 女性自身が自覚を持つことが必要だと思う。個々が自分を生かせる場で働ければより良くなると思う。【女性・50～59 歳】
- 性別にとらわれず一個人として見る。【女性・50～59 歳】
- 男女平等、男女共同参画社会への関心と行動。【女性・50～59 歳】
- 男女平等については女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたり等身近なところから見直すことが必要だと思います。下妻市のサンビーチが無くなってしまい残念ですが、跡地に下妻市が活性化するような施設ができるといいと思います。【女性・50～59 歳】
- 男女～との発想がすでに時代遅れでは。【男性・50～59 歳】
- あまりにも女性の今後についての質問が多く、男性の処遇の改善や民間と公務員の差など平等に力を入れるべき。その中で女性のいろいろな方面での改善をしていくべきと感じる。【男性・50～59 歳】
- 時代が変わらないと無理かと思います。男性のある一定の年代の方が退き、女性も自立心を持ち合わせた方々が増え、男性を認めることができ男性は女性を認めていければ社会は変わると考えます。男性の良さ、女性の良さをたくさん学び合える環境が必要。【女性・60～69 歳】
- 男女の平等は、それぞれの特性を生かし、お互いを尊重し、思いやりを持って過ごしていくことが大切だと思います。男女の人数が同じとか仕事の量や内容を同じにするとかではなく、得意な人が受け持ち、互いに助け合っていくことが人間的で良いのではないかと思います。【女性・60～69 歳】

- まず、家族でお互いに助け合いの誠心でそれを社会へつなげることが必要と思う。【男性・60～69 歳】
- 多くの生物はもともと性差による体格の違いなどあるのに、「男」と「女」が同じようにと考えるのはどうかと思う。人にはそれぞれの役割があるものなのでお互いにそれらを尊重し合っ
てコミュニティを作っていくという考えがこれからは必要だと思う。「男女共同参画」ではなく「全市民が共同して街づくりをする」ことを考えるべき。【男性・60～69 歳】
- 多様性の理解。異なる他者への寛容さ。高齢者も生活しやすい町づくりを期待する。【男性・60～69 歳】
- 私個人が今の男女共同参画社会の構築において重要と考えることは、時代で作られた男女差別を改善していく主張・主義よりも、男性、女性が共に同じ人間であることを認め、尊敬し、励まし合える事に重点を置いた社会であってほしいと願っています。そのためには、男女の性の違いをお互いが認め、できることやできないことの限界を知り、お互いが補い合えることが理想です。男女ではなく人としての豊かな人間性が必要不可欠と考えます。男女の違いを理解できることやできることを生かし、できないことを補えること等は、すべて豊かな人間性に由来すると思います。主義・主張では、望む社会の構築は難しいと感じています。【男性・60～69 歳】
- 世間では、男性と女性の就業比率を名目上気にしているようですが、真の平等とは、危険度・責任の重さ等に対して支払われる賃金が本当の意味の平等だと思います。現在、独身ではありますが、夫婦においても男女の差がなく収入が少ない方が家事を多めに担当すべきだと思います。【男性・60～69 歳】
- 人として男とか女とか区別しないことが一番。男だからやる、女だからできないという考えをしない。同じ人間として一緒であると思います。【男性・60～69 歳】
- 女性自身の自覚も必要だと思われま。男性の女性に対する思いやり、尊敬、感謝の念などが最も必要ではないでしょうか。【男性・70 歳以上】

【男女共同参画の施策】に関するもの

- 女性の生理休暇の充実化。生理用ナプキンの配布。または安く買える制度。男性の生理に対する知識不足が多い気がします。もう少し女性の体について理解していただきたいです。【女性・20～29 歳】
- 犯罪のない安心して暮らせる町づくり。10～20 代の若い女の子は、性犯罪に巻き込まれやすい。性犯罪がない世の中になってほしい。助けを求めている人に耳を傾けて、その人のために何ができるかを考えて、大切な命を失うまえに、救える大人の力が必要だと思う。正直、今の世の中は生きづらいと思っている若者は多い。だから、私達大人がその生きづらい世の中を変えていかなければ、きっと自殺者は減らない。私はこの 17 年で何度も自殺したくなるような辛いことがたくさんあった。だから、気軽に頼れる(困ったときに)場所があったら、人の心は少しでも救われると思う。社会にでて生きていくための知識をもっと学校で教えるべき。あと生きやすい世の中になったら、少子高齢化社会も改善されると思う。人と人が助け合う、明るく元気のあるエネルギーに満ち溢れた社会にしていきたいと思います。【女性・30～39 歳】
- 何でも男女平等にするべきだと思う。固定観念にならないように注意は必要だと思う。子どもに対しての支援は惜しまないでほしいです。【女性・30～39 歳】

- 男女平等を謳いつつ、女性が有利になるようなことを施策するような人を多く見かけるので、そういった意見を見極められるように活動していくことが必要かと。【男性・30～39 歳】
- 下妻市は子供、高齢者には手厚いが、その間の一番働いて税金を払っている市民には厳しいと思う。平等をお願いします。コロナ禍、全員がんばっています!差別ダメ!下妻市は予防接種の進みも遅いと思う。予約がとれません。【女性・40～49 歳】
- 男女共同参画についての広報誌やパンフレットの作成のみで市として対応したことにしてほしくない。年配の男性で古い考えを持つ方(例えば国会議員の森さんのような)が多く占める市議会であってほしくない。男女平等の考えを持つ若手の男性や実行力、発言力のある女性が議会や市役所、市の様々な機関で活躍できるようにしてほしい。そのためには幼少期からのそのような教育が必要だと思う。【女性・40～49 歳】
- 女性の議員を増やす。【女性・40～49 歳】
- 市政及び地域活動内における個々の活動の充実。規則制の敷居を払い。【男性・40～49 歳】
- 話し合いの場や機会を設ける。男女共に感情論は極力避ける。【男性・40～49 歳】
- 無駄(特に金銭面)のない取組でお願いしたい。やらされている感の活動はやめてほしい。(市民の税金を大切にしてください)よろしくをお願いします。【女性・50～59 歳】
- 女性の声、意見を取り入れること。ビアスパークのお風呂をきれいにしてほしい。【女性・50～59 歳】
- 相談、要望等あった際の市による迅速、積極的な対応、解決までの粘り強い対応を望む。その人材の育成を願います。【男性・50～59 歳】
- 議員など、市政を担う女性の割合を増やす。特に若い女性を増やし、女性視点の市政が活かせるようにすべき。そのための育成プログラムを作るなどの施策が必要。【男性・50～59 歳】
- 人口の減少。人との結びつきの薄さ。昔は、物がなかったが、豊かな人間関係があった。しかし、男女平等がなかった。性差別のない、人格を尊重される職場、地域、家庭、学校。家庭における負担の均等。社会における自由と平等を目指し、家庭を支援・援助、女性の働きやすい職場。家庭生活を楽しみ社会に貢献できる機会をすべての人に。市は公の機関を持っているのだから、それらをフル稼働させて人のふれあいの場を提供し、家庭に埋もれている人達を交流させる機会のある場を与えてほしい。【女性・60～69 歳】

【男女共同参画についての教育・学習】に関するもの

- 世代の違いで、子育て、経済、教育の環境は変化しているのに、自分の世代の常識を基準に考え、若い世代に押し付ける世代への教育が必要だと思います。【女性・30～39 歳】
- 子どもの教育のなかで、男女共同参画の考え方を伝えていけるとよいと思う。【女性・40～49 歳】
- 障害者や病気の人に対する偏見やいじめのない社会を作るため、これからの学校教育で命の大切さ、性教育を深く取り上げた授業を作してほしい。これからの教育現場は、道徳的

な分野を広げ、子供に胸を張って教えられる教育者が必要だと思う。【女性・40～49 歳】

- 大人になってからでは、男女差別の習慣性を修正するには難しい。保育園、幼稚園からの子供教育でアイデンティティーを教育しつつ男女平等の社会作りを教える必要があると思う。【女性・40～49 歳】
- 年金受給世代(特に男性)の意識改革。認知、理解してもらうための機会の場を設ける。若い年代の人達よりも世代が上の人達の方が固定観念で固まった考え方をする人が多いと思われる。上の世代の人達の意識や考え方が変わらないかぎり男女平等などの実現はできないと思います。市のコミュニティサイクルを使用する人達のマナーがとても悪いと思います。コンビニやスーパーに置きっぱなしにされていたり、一部の人達が私物化しており、このような事をされている自転車には自分は乗りたくないなと思います。手軽に使えるようにされているのは良いと思いますがもっと都会のレンタルサイクルのように管理をしっかりした方がいいと思います。自転車にGPSをつけたり、スマホで手続きをしてレンタルできる様にするなどにすれば悪い使い方をする人達も減るでしょうし、GPS やスマホなどを連動させることによってコミュニティサイクルを利用する人達の年代や利用目的なども分かって今後の観光や市のピーアールのヒントになるのではないかと思います。観光大使の前野智昭さんをもっと使って下さい。PR 動画などに使ってもらえればファンの方や SNS などで話題になり閲覧数が増えると思います。【女性・40～49 歳】
- 子どもたちへの教育だと思います。大人の意識を変えるのは時間がかかるし、価値観を変えるのは難しいからです。男女平等の教えを家庭や学校の中で教わっていく。同時に大人も学んでいく必要があると思います。私たち大人は男女平等を学んでいない人が多く、それが子どもたちへの悪影響を与えてしまっていると思います。【女性・40～49 歳】
- 今、社会全体で男女平等が高まってきていますが、やはり年配者が多い地域や昔からの根強い考えがある田舎はなかなかすぐ理解してもらうには難しいと思います。長い目で見てこれからの子供達から教育していくのがよいと私は思います。【女性・40～49 歳】
- 昔ながらの男尊女卑が残っている地域が多く中でも60歳以上の男やその子供もやはり女性蔑視の傾向が強い。啓発などすべきだと感じます。「女性は」的考えが多いので、女性が声を上げにくい環境だと思います。また、教育は生きていく上で必要だと思うので子供のころからすべての勉強を平等にすることが大切だと思います。特に家庭生活など子供のうちから理解させることが必要と感じます。【女性・40～49 歳】
- 子供たちに自己(性別も含め)を大切にせる教育が必要。(※性別については LGBTetc. のこともあるので見た目の性別ではなく本人の感じている性を大切にするようにする)。自分を大切にせる心を持つことができれば自ずと他者への優しさ、思いやりが芽生えるようになる。そういった意味では男女平等教育の前に自己肯定力を上げること、コミュニケーションスキルなど、子供への教育と同時に親が子供に対して教育できるよう親の学びの場が必要かもしれない。この概念を多くの人が持つことができれば形だけの男女平等ではなく本質的な男女平等にしていくことができるように思う。【女性・50～59 歳】
- 60 代以上の年代の男尊女卑の考え方を改めさせる。国会をみても口では平等と言っているが、その年代は男尊である。その年代の考え方を改めさせる。見たことはないが比較的どこでも、下妻でもそうなのでは…。50 代以下の人たちは同じような人もいるが世の中の的に勉強する機会、もしくは女性が強くなっているの、なんとなく身に付いているので体で男女平等はわかっていると思う。【男性・50～59 歳】
- 男女共同参画の勉強会等をもっとやってほしい。性別、年齢を問わず参加できるようにしてほしい。【女性・60～69 歳】

- やはり幼少期からの教育が必要であると思います。男女が平等だからといって女の人が言葉づかいや行動が男っぽくなるのは困りますが。難しいですね。(ジェンダーとかありますものね)【女性・60～69 歳】
- 公・民・個人の意識改革が必要。女性を積極的に社会において活躍できるよう学校教育など企業に多様性を認めさせる取組(女性は能力がある)の継続。【女性・60～69 歳】
- 年配者の古いしきたりや、男女平等とかの意識の改善が必要だと思います。【女性・60～69 歳】
- 義務教育から取り組まないと実現できないのではと思います。【男性・60～69 歳】
- 教育の意識の改革。【男性・60～69 歳】
- 経営者として未熟な面ばかりなので苦しい時こそ、学びたいと思うことがあります。経営者に対しても気軽に学習できる環境があればありがたいです。思うように進まない毎日を過ごしておりますので、よろしく願い致します。【男性・60～69 歳】
- 年配者への説明。【男性・60～69 歳】
- 子どもの教育のなかで、男女共同参画の考え方を伝えていけるとよいと思う。【性別不明・年齢不明】

【女性活躍の促進】に関するもの

- 男女平等・女性の社会での活躍。だいぶ前から言われている事でこのアンケートをどうしたいのかよくわからなかった。私は、自分のやりたいことの為に工業高校へ進学し、土木・都市工学を学びたかったから、何のためらいもありませんでしたが、やはり周りには女の子なのに工業？という方もたくさんいました。高校も40人クラスで10人は女子。学年でも240人中30人位は女子がいたので女子が工業に行くのは不思議でもなんでもないので。仕事も土木を勉強していたので、鉄道会社の土木部の技術で働いています。女子だからと優遇されたことは高校の時から一度もなく、男性社員と同じ内容の仕事をしています。土木施工管理士、床上クレーン、高所作業車、小型クレーの資格を取るときも女子は私だけでした。女性が活躍する場を作るのは行政の仕事だけれど、そのチャンスを生かすもつづすのも自分次第だと思う。【女性・20～29 歳】
- 女性の積極的な参加。【男性・40～49 歳】
- 男子に負けない能力と力を持つこと。【女性・50～59 歳】
- 職業安定所の職業の公開の場所を広げる。保育園など預けやすい取組。子育てしやすい環境、介護のサービスや在宅での介護相談など。【女性・50～59 歳】
- リーダーとなるかたが積極的になることが重要。【男性・50～59 歳】
- 男女平等といってもまだまだ女性の進出は「出を抗は打たれる」傾向はあるように見受けられます。女性をもっと社会に目を向け視野を広げ自分の考えをしっかりと身に着けることも大事だと思います。それには女性のための勉強会などあったらたら良いかなと思います。シモンチャンバスの事ですが、あまり利用されていないように思います。地区ごとに曜日と時間を決め走らせるのはいかがでしょうか。【女性・70 歳以上】

【子育て・介護】に関するもの

- 子育て支援。【女性・20～29 歳】
- もう少し、保育園や幼稚園が子どもを預かってくれる場所を増やしていただきたい。新築祝い金を筑西市、桜川市みたいにほしいです。道路に飛び出ないように草刈りや整備をしていただきたいです。筑西市みたいに出産祝い金を20万円にいただきたいです。【女性・20～29 歳】
- 子育てしやすい市にしてほしいです。もっと住宅街の近くには空き地を利用して公園等安心して遊ばせられる場所がほしいです。特に学童なんかも遊べるところがほしい。女性が働きやすくなります。(子どもを安心して預けられると)結局女性は家族を1番に考えてしまうので独身の頃のように働けないことが少しストレスに感じたりしてしまう。【女性・30～39 歳】
- 子育ての環境をもっと充実させてほしい。サービスや月 3,000 円おむつ代の無料がない。他の市では取り組んでいる。もう少し子供がいる家庭を考えて支援してほしい。医療者として、保育も日曜はやっておらず困っている。税金だけとられて収入は減り、もう少し環境を整えてほしい。【女性・30～39 歳】
- 職場でも、女性の役職者を推進する為に昇進を促されますが、育児、家庭、仕事を抱え、負担が大きくなるのが目に見えている。小さい子供を保育園に預けて仕事をしているが、睡眠時間を削っての家事生活に精一杯です。配偶者は手伝ってくれるので多少の負担は軽減されるが、世の中のメインは確実に女性。家事、出産、育児、介護…平等は無理だと思います。将来的に子供が増えるよう、手厚い子育て政策をお願いします。【女性・30～39 歳】
- 下妻市では多子世帯に対して力が少なすぎます。うちでは来年から子供が 5 人になりますが、もう少し子供が多い世帯に何かあってもいいんじゃないかと思います。【女性・30～39 歳】
- コロナで乳幼児を育てるのが大変。遊べる所がありません。子育ての悩みなどを話す場がなく、孤立してしまう。【女性・30～39 歳】
- 子育て手当等の充実。子どもを育てやすい環境作り。【男性・30～39 歳】
- 男性の育児参加。子育てについて。妻のお手伝いという意識の改善。ゴミすての収集車が今まで 10 時すぎに来ていたのに急に早く来た時があり、ほとんどの方がゴミが出せずに困った。袋には 8 時までに出して下さいと記してあるが、あまり早く出すとカラスに乱されてしまう(ネットをかけて石でおさえたり、カラス予防していますが)。運転手さんにはいつも収集していただき、ありがたく思っています。今はまた元の時間帯に戻った。以前、死産した時に、市民課、保険年金課、保健センターなど泣きながら何回も同じことを伝えるのがとてもつらかったので、課から課へ伝えてもらえるとありがたいです(約 10 年前の事なのでもう改善されたいらすみません)。【女性・40～49 歳】
- 学童の無償化、マル福の所得制限撤廃。【女性・40～49 歳】
- 家事育児の多くは、女性がかかっているが男性の家事育児は参加しているが時間は増えていないのでは？男性の 30 代・40 代の労働時間が問題で働き方の見直しが重要だと思います。【男性・40～49 歳】

- 子育て、介護が女性の負担になっているうちは地域、社会等への参加は負担にしかならないと思います。【女性・50～59 歳】
- 男性が育児休暇、介護休暇を取りやすくしてほしい。まだ、男女の差別意識が強いので地域や学校職場での意識の改善が必要だと思う。身体的に、まったく男女が同じにはなれないと思うので性差を考慮した上での平等であってほしいと思う。【女性・60～69 歳】
- 子供を育てる費用の大幅な低減。夫婦で働かなくても生活できる環境。子供を産む、多く生めるようになる。税収増加、老人一人を支える若い人の負担低減による若者向上。夫婦で使える時間が増える。気持ちのゆとり大。【男性・60～69 歳】
- 男女の平等。家庭内では、大部分の家事育児を女性がやり、男性の負担が少ないと思う。特に共働きでは、女性が仕事と家事、育児に費やす時間が多く大変。もっと男性が家庭内での家事の協力ができるように市としても方向づけやよくやっている男性の例を紹介したりして明るい家庭づくりのお知らせなどをしてはどうでしょう。高齢者が多い社会で、男性で一人暮らしの人は、女性よりも会話や出掛けるのが少なくなると思われるので、小集団(各組合等)で 2～3 カ月に 1 回位集って情報交換や家庭の心配等を話し合うことがよいと思う。でもなかなか初めの一歩が出ないので、市の方から進めるのはどうでしょう。【女性・70 歳以上】

【就労・職場】に関するもの

- 女性の雇用を増やす。【女性・30～39 歳】
- 男性が働く職業が下妻市は比較的多いと思います。建設業、鉄工、電気工などが多いため、女性の登用が可能な職場づくりを進めればよいのではないかと思います。所々、暗い夜道になる場所がまだまだにあります。外灯などの整備はこれからも進めていただきたいです。waiwai ドームはだれでも遊べる施設にはなっていません。砂沼サンビーチの整備に費用を当てた方が良かったのでは？といまだに思っています。【男性・30～39 歳】
- 子供が体調不良で休む時にどうしても女性ばかりが休んでしまう傾向があると思うが、本来ならば男性も休めるような体制ができれば良いのではないかと思います。女性社員の時短勤務体制の方はいるが、男性の時短勤務している方がいないので男女平等はあまり感じられない。祝日であってもゴミの回収はしていただくとありがたい。飲食店の少ないまちだと思っているので、もう少しあるとありがたい。【女性・40～49 歳】
- 企業誘致に注力して市民の雇用促進につなげてほしい。また、そのために道路整備を積極的に行いショッピングモールを充実させるなど 20～30 代が住みやすいまちづくりを目指してほしい。男女平等を目標にするのであれば厚生年金の第 3 号は撤廃すべきと考える。【女性・40～49 歳】
- 女性が働きやすい社会になってほしいです。また、女性の働き口が増えることを望みます。【女性・50～59 歳】
- ブラック企業をなくし、男女が平等に賃金を所得し、安定した生活ができることで町の消費を伸ばし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを望みます。【女性・50～59 歳】
- 生活の為に収入は必要。日曜日以外の休みも欲しい。法律で定めてほしい。せめて年間

100日は休みたい。【女性・50～59歳】

- コロナウイルスの影響もあり、経済活動が低下してくると、職場環境を悪化させる企業経営者が多すぎると思いますし、違反をしている企業への指導、罰則が甘く多くの人が泣き寝入りしなければならない状況で、特に女性に対しての風当たりが厳しい事があります。行政の指導に従わない企業経営者に対しては厳しい対応をしていただき、安心して働ける社会づくりを強く望んでいます。【男性・50～59歳】
- 女性が高収入を得られる専門職、管理職等で働く職場を増やし斡旋をして生活するまで男性の収入に頼らず平等性を保ち格差をなくす。【男性・60～69歳】

【暴力・人権】に関するもの

- 私は性的なDVを小さい頃から受けてきました。それによって同性になったかはわかりませんが、同性パートナーがいます。茨城県はパートナーシップを入れてくれています。下妻市としての支援は無いに等しいと思います。国への働きかけはもちろんです。男女平等と言うならば、同性パートナーへの理解と協力が必要だと思います。ジェンダーへの支援や理解は、男女平等にもつながることだと思います。男性が子育てをやれない会社。女性が昇進できず安い給料で働く。これらに市内からアプローチしてもらいたいと思います。女性同士のパートナーですと生活面でやはり不利になることが多いのが会社です。そして、司法です。家族の理解を得るにも大変なのに社会すら見捨てては私たちが生きる力がありません。男女平等と共にジェンダーへの理解と協力をお願いします。【女性・30～39歳】
- 一時期イベント業をしていました。コロナ禍により休業していますが、定期的にイベント等を行い市民の交流と商業の発展を図るのも必要かと思います。DVやパワハラなどを受けている人たちの相談をイベント時に一席用意して気軽に受けてもらうなど家族以外に人とのふれあいが助けになることもあると思います。私自身相談はしていませんが、イベント業に参加して沢山のひとたちと触れ合うことで気持ちを助けてもらっているので、他の人たちも助けてあげたいと思っています。【女性・50～59歳】
- DV相談窓口、引きこもり相談窓口の開設。【男性・50～59歳】

【防災・復興】に関するもの

- 男性も育児に積極的に取り組めるような社会づくりを切に願います。火災の防災放送ですがピンポイントで場所特定はできないのでしょうか？火事なのに曖昧過ぎて困っています。旧戸叶のT字路に子供たちの通学時間だけでも見守り隊のようなことができれば安心です。警察署の方にも掛け合いましたが市の方でも動いていただけると心強いです。ご検討の程よろしくお願ひ致します。【女性・40～49歳】
- 災害への準備。【女性・50～59歳】

【その他のこと】に関するもの

- 10 年ほど前に途中で終わった道路改修工事で、未だに舗装されずに残っている道路があるので、早く舗装して欲しい。せめて大きな水溜まりになっている部分を何かしらで埋めて欲しい。【女性・18・19 歳】
- 男女平等はあまりわからず学校生活を終えたので、これから意識したいと思いました。市への要望ですが、常総市がカスミと力を合わせて、カスミの移動販売をやっています。私のばあちゃんは車にのれず足も不自由なので、下妻でも移動販売をしてほしいです。コロナで買い物も人の多く集まる場所に行きづらいので、移動販売で回ってもらえるとすごくありがたいと思います。それと、女性、男性ともにできる検査、子宮ガンや子供ができるかの検査の支援をやっているのも最近知ったので毎年 1 回はがきなどを送ってみんなに知ってもらうのも大事だと思います。(検査の支援を行っていると思ったのは子宮ガンだけです。)【女性・20～29 歳】
- 築西市では若い人の対策で結婚した際のお祝い金の対策(収入が一定未満の人)、家を建てた際の資金の援助、出産・育児の資金の援助がありますが、下妻市にもそのような対策があるのでしょうか?少子高齢化のため。若い人が市に住んでくれるような対策とすでにあるならその対策の普及活動をしてほしいです。【女性・20～29 歳】
- 下妻市内に公園をつくってほしいです。(歩いていける距離のところにほしい)【女性・20～29 歳】
- アンケートが無駄にならないようにしっかりと進めてほしい。表向きだけなら誰でもできること。【男性・20～29 歳】
- 要望になってしまうのですが、125 号線沿いの発展がいまいちなので、様々な店がつかなくなる環境になっていけばいいかなと思っています。【男性・20～29 歳】
- 結婚し、下妻市に引っ越してきたが、とても住みやすく、良い町だと感じています。市役所のみなさんもいつ行っても親切にしてください。これからも市民に真摯に向き合い、丁寧にご対応いただけますと嬉しいです。【女性・30～39 歳】
- 意見を元に、すぐに行動に移す。【女性・30～39 歳】
- 先日、コロナワクチン接種対策室に質問、相談をしました。その時に対応してくれた人の態度に腹が立ちました。色々わからないので聞いたのに。文章にしなからまた腹が立ってきました。もう少し、親身な対応はできないのでしょうか。下妻市は住みにくいと初めて感じてしまいました。他の市に相談したところ、他の市は親身に話を聞いてくれました。違った方法もあると教えてくれました。やはり、住むところによって対応が違うのかと実感しました。【女性・30～39 歳】
- 県道 15 号結城下妻線において、夜間早朝に大型トラックのスピード超過による地響きが酷いです。道路を凸型に舗装する等、何か対策をしていただけないでしょうか。宜しく願い致します。【女性・30～39 歳】
- サンビーチ跡地利用について。雨天の際でも利用できる屋根付き遊具施設、大人も参加できるエリア設置。(セグウェイ、電動キックボード、二人乗り自転車等)老若男女世代を問わずに利用できる施設に。【男性・30～39 歳】
- やっているのを知らないのもっと具体的に人に伝わるようにした方が良い。【男性・30～39 歳】

歳】

- 簡単な所から言えば、性別の質問を医療的問題がない限りなくす。男女関係なく意見を正直に聞きたいなら、SNS などの文字のみで特定できない空間を作る。市民で具体約意見が出ない場合、成功している市町村の取り組みを一先ず導入し、ダメなら止められる仕組みにする。近場に筑波大があるので研究者がいるのなら助言をもらおう。【女性・40～49 歳】
- 街中に落ちている犬のフンを何とかしてほしい。公園とか犬のフンだらけでマナー悪すぎ。看板たてるとか、防犯カメラつけるとか何か対策をとってほしい。そこに税金使って。子育て世代が住みたくなるまちじゃないと、まちの発展はない。医療、教育機関の充実をはかってほしい。そこに税金使って。【女性・40～49 歳】
- 道路脇や土手の除草作業を定期的に行って欲しい。野焼きの巡回、定期的な地域のパトロール。【女性・40～49 歳】
- 女性一人でも男性と同じような生活が出来る経済力と言うのはどうしたら持てるのか。同じ時間働いてきていても男性の方が給金が多いと養ってやってると言うのはなぜなのか。シングルマザーでも持ち家を建てられる保証。アパートや市営住宅は自分の物にならないので、シングルの人用のローンが組める建売もしくはマンションなどは無理なのかな？離婚率が増えている中、老後の心配を無くす為にも男女関係なく低所得家庭用に販売も出来る住まいを提供しても良いのではないか。【女性・40～49 歳】
- 市への要望。祝祭日のゴミの収集をしてほしい。クリーンポートへの搬入も。祝祭日が休みの仕事なのでクリーンポートを一度も使用したことがありません。いつ利用したらいいですか。市内を走っているバスいらぬですね。空気は運んでいるだけです。維持の方が大変じゃないですか。回答用の封筒糊付けもできるといいですね。【女性・50～59 歳】
- 朝 7 時に鳴る目覚ましチャイムみたいな音楽を 6 時に戻すことはできないのでしょうか。7 時に鳴っても意味がなさそうです。なぜ、7 時になるのか不思議でした。ゴミの収集が休日に来ないのでその日も来てほしいです。【女性・50～59 歳】
- こういったアンケートは市民の生の声なので重要だと思います。ありがたい企画です。今、街作りとしてマイナスだなと感じることは、寂れた空店倉庫など、大通りのものは目立つので何とかできると景観が良くなると思うのと「陸の孤島」と呼ばれる“何もない所”というイメージを払拭するためにも近隣の街にあって下妻にないものを考えてもらえればと思います。外国人が簡単にお店を聞いて、裏でなんやら怪しかったり、迷惑だったりするのも街としてはマイナスです。沿道の雑草も刈らないと治安が悪いイメージになります。投げ捨てられたゴミも多く民度の低さも気になります。犬を散歩させる人がとても多いです。案ですが、せっかく田舎なので、広めのドッグランを作ってはどうか。入場を安価にし、近隣の住民(と犬)も来られるようにし市の収入にすれば良いと思います。大型犬用地・小型犬用地に分ければ飼主も安心です。市の運営する小さなカフェでもあれば尚、良いと思います。(下事市は驚くほどカフェが少ないので)。【女性・50～59 歳】
- 男女問わずに各人が持つスキル(料理、大工等、なんでも)集約させて適材適所で活用させる。(特に有事の時など)そのためにデータベース化させる。随時登録させて良いと思います。【女性・50～59 歳】
- 老若男女が住みやすい町を作してほしい。【女性・50～59 歳】
- 団地の件ですが、障害者の方が住めるように保証人が下妻市内の方でなくても団地を住めるようにしてほしい。障害者のためのお仕事も障害者のレベルをわけるようにしてほしい。障害者たちの住むところの料金を安くしてほしい。障害者のグループホーム、犬などいる施設を作り障害者たちのふれあいのできるグループホームをつくってほしい(下妻にも作ってほしい)。※自分の犬も飼えるようにしてほしい。障害者も介護士のお仕事につける。あと犬の指

導の学校など色々の職場つけるようにしてほしい。障害者差別なしに希望のお仕事につけることを考えてほしい。【女性・50～59 歳】

- ゴミの不法焼却が多すぎる。通報したくても通報すると犯人探しが始まり通報した人が悪者になる。不法焼却に対してもっと厳しい対応をし、見まわりを市と警察でやってほしい。地区ごとにあるごみの収集場に個人名を出しているところがある。個人名を出すことで名を出されている人に対して嫌がらせが多い。個人情報に厳しい時代なのに外に名前をさげておくなどあり得ない。地区長もそんなことに気が付かない老人ばかり。市が全地区に共通してやり方を決めるべきだと思う。【女性・50～59 歳】
- このアンケート集計結果よりも改善した点をホームページでお知らせしてほしい。【男性・50～59 歳】
- 通院できない人のために、訪問医療を充実させてもらいたい。【男性・50～59 歳】
- 現在の生活をしている上ではあまり気にしていなかった質問でした。だからこそ、本当は考えるべきことだと気づきました。悩んでいると思われる方のためにもぜひ、続けてください。【男性・50～59 歳】
- 男女平等も一歩間違えると独身者を増やすことが考えられる。男女共同参画と共に出会いの場を設け、子供人口減少に取り組む仕組み作りをお願いしたい。【男性・50～59 歳】
- YouTube などに素晴らしい下妻市の魅力などを積極的に PR し、人口減少を食い止めてもらいたいです。【男性・50～59 歳】
- 街路灯に飾られているプラスチックの花等がついた枝の飾り物について。風、雨等により劣化したプラスチック製の葉や花びらが周囲に散乱し、ゴミとなっていくのはいかがなものでしょうか。問題視されているマイクロプラスチックの元となっているのではないかと思います。廃止していただきたく申し上げます。【女性・60～69 歳】
- 梨の木が減ってとても寂しい思いです。下妻の梨は知人に送っても、とても喜ばれるものでした。若い方で農業をやりたい方もいると思います。(市民に限らず)市が農業にもっと力を入れてほしい。支援をしてほしいです。前略、智昭さんのツイッターにも下妻の梨(恵水)ありましたね。【女性・60～69 歳】
- 市への要望としては、文化芸術方面での力を入れてほしい。コンサートなど開かれる会館が閉鎖されてとても寂しく思います。何とか将来的にホールのような建物を復活してほしいと思います。【女性・60～69 歳】
- 制度をうまく利用している方と知らずに苦勞している方の差をうめてほしい。【女性・60～69 歳】
- アンケートの内容が細かい。専門的言葉が多く理解できない。アンケートなのになぜ ID が記入されてるのか。コロナ禍で収入が減少している。税金を下げてほしい。コロナワクチンは早い対応で良かった。3 回目も早い対応を期待しています。【男性・60～69 歳】
- 鬼怒川の堤防をサイクリングロードとして活用する計画があるようですが、沿線の住民の中からは堤防から家の中の様子をのぞかれる。空き家が増えるなどと不安の声があがっています。市内外の交流機会の増大、地域活性化、災害からの復興などのメリットはありますが、地域住民の不安を払拭し、真の地域発展につながるような事となるよう、舵取りをお願いします。集落内の主要道路の傷みがひどいので早急に舗装の打ち直しをしていただきたい。防犯灯を LED 化にいただき、明るくなりました。【男性・60～69 歳】
- シモンバス運行にかかる予算を老人福祉にあてた方がいいと思います。(タクシー券などに)【男性・60～69 歳】
- デリカシーのある女性市長を求む。【男性・60～69 歳】

- もう少し、下妻市へのアピールそして下妻市への全人口に向けて(ようこそ下妻)など他県より来県してもらいたく大きな立て看板を作成してほしいです。下妻駅ビルなど商業化してほしいです。市内砂沼でたくさんのイベントがほしいです。連合大人みこしを開催してほしいです。(夏祭り)【男性・60～69 歳】
- ゲーム的なイベント。ボランティアの義務化。【男性・70 歳以上】